

**Panasonic<sup>®</sup>**

取扱説明書  
インストール編

---

デジタルサイネージソリューション NMstage  
管理サーバーソフト 3.2

品番 **AF-NMSV32**

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●この取扱説明書は、大切に保管してください。

# はじめに

デジタルサイネージソリューション NMstage（以下、本システム）は、コンテンツやスケジュールをネットワーク経由でコントローラー端末に配信し、プラズマディスプレイ（以下、PDP）等の表示装置にて放映するシステムです。管理サーバー、操作端末、コントローラー端末等の専用ソフトウェアをパソコンにインストールし、ネットワーク接続することによりシステムを構築します。ご使用になる前に必ず一読し、正しい使い方をしていただきますようお願いします。

## ■ パッケージの内容

NM-SVR/NM-OPE（CD-ROM）	.....	1 枚
取扱説明書（インストール編）	.....	1 部
ライセンス証書	.....	1 部

## ■ 関連ソフトウェア及びドキュメント

本システムの関連ソフトウェア及びドキュメントは以下のとおりです。

- 管理サーバーソフト 取扱説明書（操作編）  
取扱説明書（NM-WebOperator 編コントローラー版）  
取扱説明書（NM-WebOperator 編タブレット版）
- コントローラーソフト 取扱説明書
- エッジサーバーソフト 取扱説明書
- FTP サーバーソフト 取扱説明書

## ■ 商標

- Microsoft、Windows、Windows Media、Power Point、Power Point Viewer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Xeon、Pentium は、米国 Intel Corporation の登録商標です。
- Adobe、Adobe Reader、Flash は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標または登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。
- 本製品に含まれているソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、ならびに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。
- NMstage は、パナソニック株式会社の登録商標です。

## ■ 著作権

本製品には、ログ検索など一部の機能でデータを圧縮・解凍するため、UNLHA32.DLL for Win32 Ver 1.86c を使用しており、著作権は Micco が保有しています。それ以外のソフトウェアは、パナソニック株式会社が著作権を保有しております。

## ■ 弊社以外のソフトウェア

弊社以外のソフトウェアは、予告なしに変更される場合があります。ソフトウェアの動作が本書の内容と異なる場合、本書記載内容に準じた設定を行ってください。またご不明な点は、当該ソフトウェアの購入先にお問い合わせください。

# もくじ

1 本システムの構成	5
1.1 機器の名称と概要について	6
1.1.1 管理サーバー	6
1.1.2 操作端末	6
1.1.3 FTPサーバー [オプション]	6
1.1.4 コントローラー端末	6
1.1.5 エッジサーバー [オプション]	6
1.1.6 Web操作PC (Webアプリケーション)	6
1.1.7 タブレット端末 [オプション]	6
1.2 システム構成例	7
1.2.1 端末接続数 10 台以下の場合	7
1.2.2 端末接続数 100 台規模の場合	9
1.2.3 端末接続数 1,000 台規模の場合	11
1.2.4 NM-WebOperator 機能を利用する場合	14
2 管理サーバーの設置	16
2.1 管理サーバー設置フロー	17
2.2 FTPサーバー設置フロー (オプション機能)	17
2.3 エッジサーバー設置フロー (オプション機能)	18
2.4 操作端末設置フロー	18
2.5 センター側システムの動作確認	19
2.6 各装置に関する前提条件および準備	20
2.6.1 本製品以外に必要なソフトウェア	20
2.6.2 管理サーバーの設定に必要な情報	20
2.6.3 操作端末の設定に必要な情報	21
3 管理サーバーのインストール	22
3.1 Windows Server 2003(Windows XP)へのインストール	23
3.1.1 ディスクのパーティション割り当て	23
3.1.2 インストール時の設定	23
3.1.3 ログオンユーザーの追加	24
3.1.4 ネットワークの設定	27
3.1.5 セキュリティポリシーの設定	29
3.1.6 イベントログの設定	31
3.1.7 ウイルス対策機能設定	32
3.1.8 ファイアウォール機能設定	32
3.2 Windows Server 2008(Windows 7)へのインストール	33
3.2.1 ディスクのパーティション割り当て	33
3.2.2 インストール時の設定	33
3.2.3 ログオンユーザーの追加	34
3.2.4 ネットワークの設定	37
3.2.5 セキュリティポリシーの設定	39
3.2.6 IIS (Internet Information Service) の追加	41
3.2.7 デスクトップエクスペリエンス機能の追加	44
3.2.8 ウイルス対策機能設定	47
3.2.9 ファイアウォール機能設定	47
3.3 NM-SVR のインストール	48
3.4 NM-WebOperator 機能のインストール	55
3.5 フォルダ共有設定	59
3.5.1 Windows Server 2003 (Windows XP) の場合	59
3.5.2 Windows Server 2008 (Windows 7) の場合	61
4 操作端末のインストール	63
4.1 Windows XP Professional へのインストール	64

4.1.1	プラグインソフトウェアのインストール	64
4.1.2	ネットワークの設定	65
4.1.3	セキュリティポリシーの設定	67
4.1.4	ウイルス対策機能設定	69
4.1.5	ファイアウォール機能設定	69
4.1.6	ログオンユーザーの追加	70
4.1.7	システム時刻変更のポリシー設定	73
4.1.8	画面の設定	76
4.2	Windows 7 Professional へのインストール	78
4.2.1	プラグインソフトウェアのインストール	78
4.2.2	ネットワークの設定	79
4.2.3	セキュリティポリシーの設定	81
4.2.4	ウイルス対策機能設定	83
4.2.5	ファイアウォール機能設定	83
4.2.6	ログオンユーザーの追加	84
4.2.7	システム時刻変更のポリシー設定	87
4.2.8	画面の設定	90
4.3	NM-OPE のインストール	93
5	各機器の操作方法	98
5.1	NM-SVR の操作方法	99
5.1.1	起動方法	99
5.1.2	終了方法	99
5.1.3	設定変更	100
5.2	NM-OPE の操作方法	104
5.2.1	起動方法	104
5.2.2	コントローラー端末の接続確認方法	104
5.2.3	終了方法	105
5.2.4	設定変更	106
6	トラブルシューティング	107
7	付録	108
7.1	Adobe Acrobat Reader インストール	108

# 1 本システムの構成

## 1.1 機器の名称と概要について

### 1.1.1 管理サーバー

本システムのセンター側に配置されている中核のサーバー装置です。すべての端末の制御・管理を行います。以降、管理サーバーソフト(以下、NM-SVR)がインストールされている装置を管理サーバーとします。管理サーバーにはプライマリサーバーとセカンダリサーバーがあり、特に指定のない場合はプライマリサーバーを指します。セカンダリサーバーは保守を目的とし、オプション機能として設置することが可能です。

### 1.1.2 操作端末

管理サーバーに対して、コンテンツや運用管理情報の登録・配信などの指示を行ったり、運用状況をモニターしたりするための操作作用端末です。1台の管理サーバーに最大4台接続が可能です。以降、オペレーションソフト(以下、NM-OPE)がインストールされている装置を操作端末とします。

### 1.1.3 FTPサーバー [オプション]

コンテンツや運用管理情報など、各種ファイルのコントローラー端末への配信をサポートします。標準構成では管理サーバーで機能を兼用します。大規模システムを構築する場合、オプションとして、FTPサーバーを最大3台まで別途設置することも可能です。FTPサーバーに関する設定は、お客様のシステム構成に合わせて設定してください。以降、FTPサーバーソフト(以下、NM-FTP)がインストールされている装置をFTPサーバーとします。

### 1.1.4 コントローラー端末

FTPサーバーから操作端末上で登録したスケジュールやマルチメディアコンテンツを受信し、放映スケジュールに従って、PDPなどのディスプレイに放映する再生用端末です。以降、コントローラーソフト(以下、NM-PLR)がインストールされている装置をコントローラー端末とします。

### 1.1.5 エッジサーバー [オプション]

コントローラー端末への配信をサポートします。大規模システムを構築する場合のオプション機能です。管理サーバーの配信時の負荷を軽減するために設置します。以降、エッジサーバーソフト(以下、NM-ES)がインストールされている装置をエッジサーバーとします。

### 1.1.6 Web操作PC (Webアプリケーション)

NMstageの操作ソフトウェア(NM-Operator)から機能を絞った簡易版操作ソフトウェアであるNM-WebOperator機能を利用するための端末です。管理サーバーに対して、コンテンツやプレイリスト、スケジュールの登録・配信などの指示を行います。また配信結果を確認して、失敗した配信の再登録を行ったり、NMコントローラーの制御が可能です。システムに接続された端末のうち、ログインIDごとに設定された端末グループの端末のみが操作対象となります。

また、タブレット端末で表示するためのコンテンツ、プレイリスト、スケジュール等の登録、編集を行います。

### 1.1.7 タブレット端末 [オプション]

企業向けタブレット端末であるBizPadを使用した再生端末です。管理サーバーからコンテンツ、スケジュール等のファイルを取得し、スケジュールに従ってタブレットの画面上にコンテンツを表示します。

## 1.2 システム構成例

本システムの構成を以下に示します。管理サーバーや操作端末のスペックは参考値です。お客様の使用するコンテンツの種類や配信する情報量、運用形態などにより、要求されるスペックが変わる場合があります。



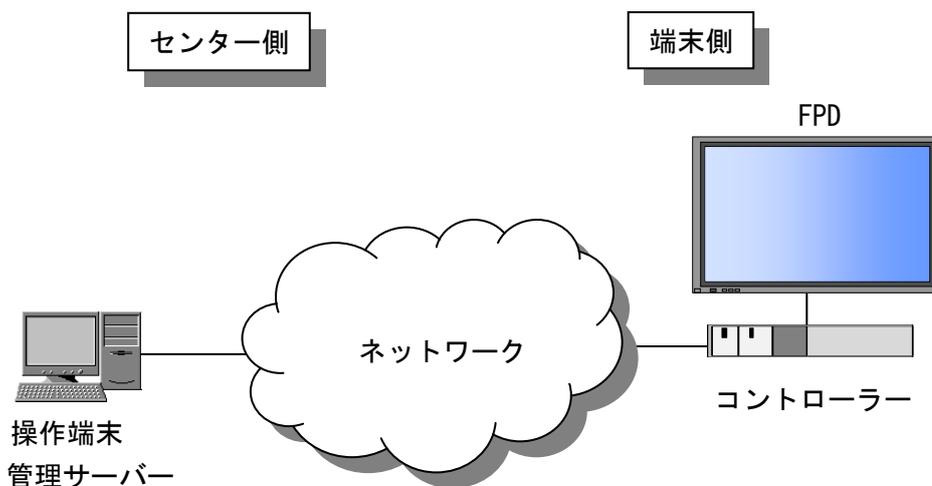
- インターネットなどの公衆網をご利用になる場合、ネットワーク環境は VPN の構築を推奨しています。VPN を構築いただけない場合は、購入先にご相談ください。
- 管理サーバーならびに操作端末は、管理された場所に設置してください。



- データ用の HDD 容量はご利用になるコンテンツにより選定する必要があります。  
[参考] 8 Mbps、60 秒の MPEG コンテンツの容量は約 60 MByte になります。
- 操作端末にはシステム構成に関わらず、DirectX に対応したサウンドカード、およびビデオカードが必要です。
- 操作端末では、解像度 SXGA (1280X1024) で、画像の色が最高(32 ビット)フルカラーの設定でご利用ください。ハードウェアの性能により、画像の乱れや、プレビューができない場合があります。

### 1.2.1 端末接続数 10 台以下の場合

端末接続数が 10 台以下の場合、管理サーバーと操作端末を同一装置にインストールし、運用することが可能です。



#### i) 管理サーバーのスペック

(a) Windows XP を使用する場合

##### ハードウェア

- CPU : Pentium4 3.4 GHz 以上
- RAM : 1 GByte 以上
- データ用 HDD : 80 GByte 以上
- 画面の解像度 : XGA(1024×768)以上、SXGA (1280×1024) を推奨

##### ソフトウェア

- OS : Windows XP Professional SP2
- ブラウザ : Internet Explorer 6.0 SP2
- コントローラー : Windows Media Player 9、PowerPoint Viewer 2007
- プラグイン : Flash Player 10、MPEG2 デコーダ

(b)Windows 7 を使用する場合

ハードウェア

- CPU : Core2Duo 2.0 GHz 以上
- RAM : 1 GByte 以上 (NM-WebOperator 機能を使用する場合は 2 GByte 以上)
- データ用 HDD : 80 GByte 以上
- 画面の解像度 : XGA(1024×768)以上、SXGA (1280×1024) を推奨

ソフトウェア

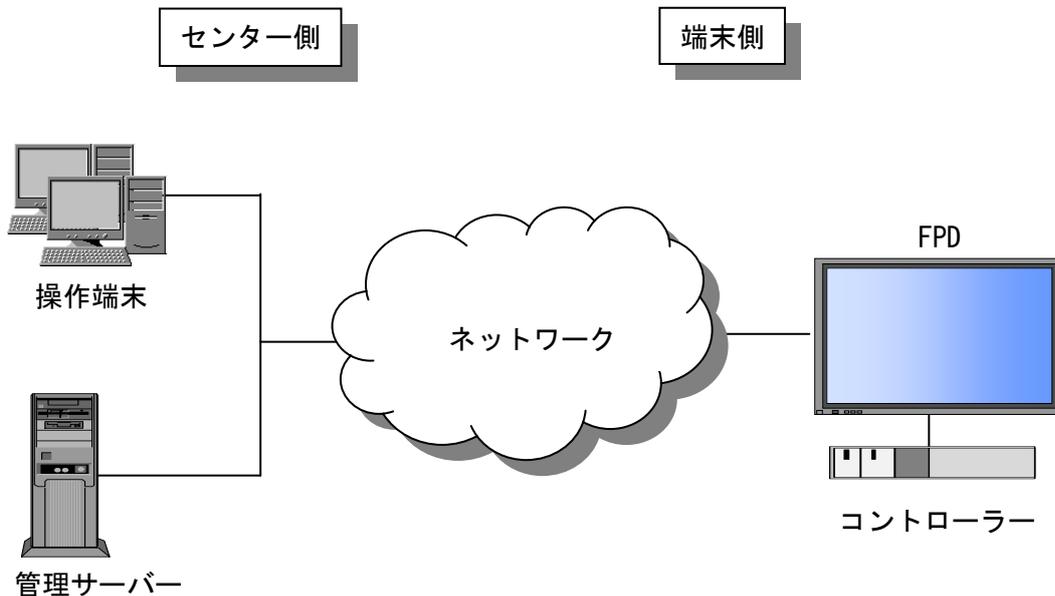
- OS : Windows 7 Professional
- ブラウザ : Internet Explorer 8.0
- コントローラー : Windows Media Player 12、PowerPoint Viewer 2007
- プラグイン : Flash Player 10、MPEG2 デコーダ



- 管理サーバーと操作端末を兼用して使用する場合、OS は WindowsXP または Windows7 を推奨します。
- WindowsXP で MPEG2 コンテンツをご使用になる場合、MPEG2 デコーダソフトが別途必要となります。ご使用可能な MPEG2 デコーダソフトに関しては、ご購入先にお問い合わせください。
- NM-WebOperator 機能を使用する場合、OS は Windows7 をご使用ください。

## 1.2.2 端末接続数 100 台規模の場合

端末接続数が 100 台規模の場合、管理サーバーと操作端末を別途構築します。ファイル配信時の同時配信数は 10 台(初期値)を想定しています。



### i) 管理サーバーのスペック

#### (a) Windows Server 2003 を使用する場合

##### ハードウェア

CPU	: Xeon 2.8 GHz 以上
RAM	: 1 GByte 以上
データ用 HDD	: 80 GByte 以上

##### ソフトウェア

OS	: Windows Server 2003 SP1、R2
----	------------------------------

#### (b) Windows Server 2008 を使用する場合

##### ハードウェア

CPU	: Xeon 2.8 GHz 以上
RAM	: 1 GByte 以上 (NM-WebOperator 機能を使用する場合は 4 GByte 以上)
データ用 HDD	: 80 GByte 以上

##### ソフトウェア

OS	: Windows Server 2008 R2
Web サーバー	: IIS7.5 (NM-WebOperator 機能を使用する場合)



- 管理サーバーに Windows Server 2003 を使用する場合は、操作端末には Windows XP を使用するよう to してください。
- 管理サーバーに Windows Server 2008 を使用する場合は、操作端末には Windows 7 を使用するよう to してください。
- NM-WebOperator 機能を使用する場合、OS は Windows Server 2008 をご使用ください。

## ii) 操作端末のスペック

### (a) Windows XP を使用する場合

#### ハードウェア

CPU	: Pentium4 3.0 GHz 以上
RAM	: 512 MByte 以上
データ用 HDD	: 80 GByte 以上
画面の解像度	: XGA(1024×768)以上、SXGA (1280×1024) を推奨

#### ソフトウェア

OS	: Windows XP Professional SP2
ブラウザ	: Internet Explorer 6.0 SP2
コントローラー	: Windows Media Player 9、PowerPoint Viewer 2007
プラグイン	: Flash Player 10、MPEG2 デコーダ

### (b) Windows 7 を使用する場合

#### ハードウェア

CPU	: Core2Duo 2.0 GHz 以上
RAM	: 1 GByte 以上
データ用 HDD	: 80 GByte 以上
画面の解像度	: XGA(1024×768)以上、SXGA (1280×1024) を推奨

#### ソフトウェア

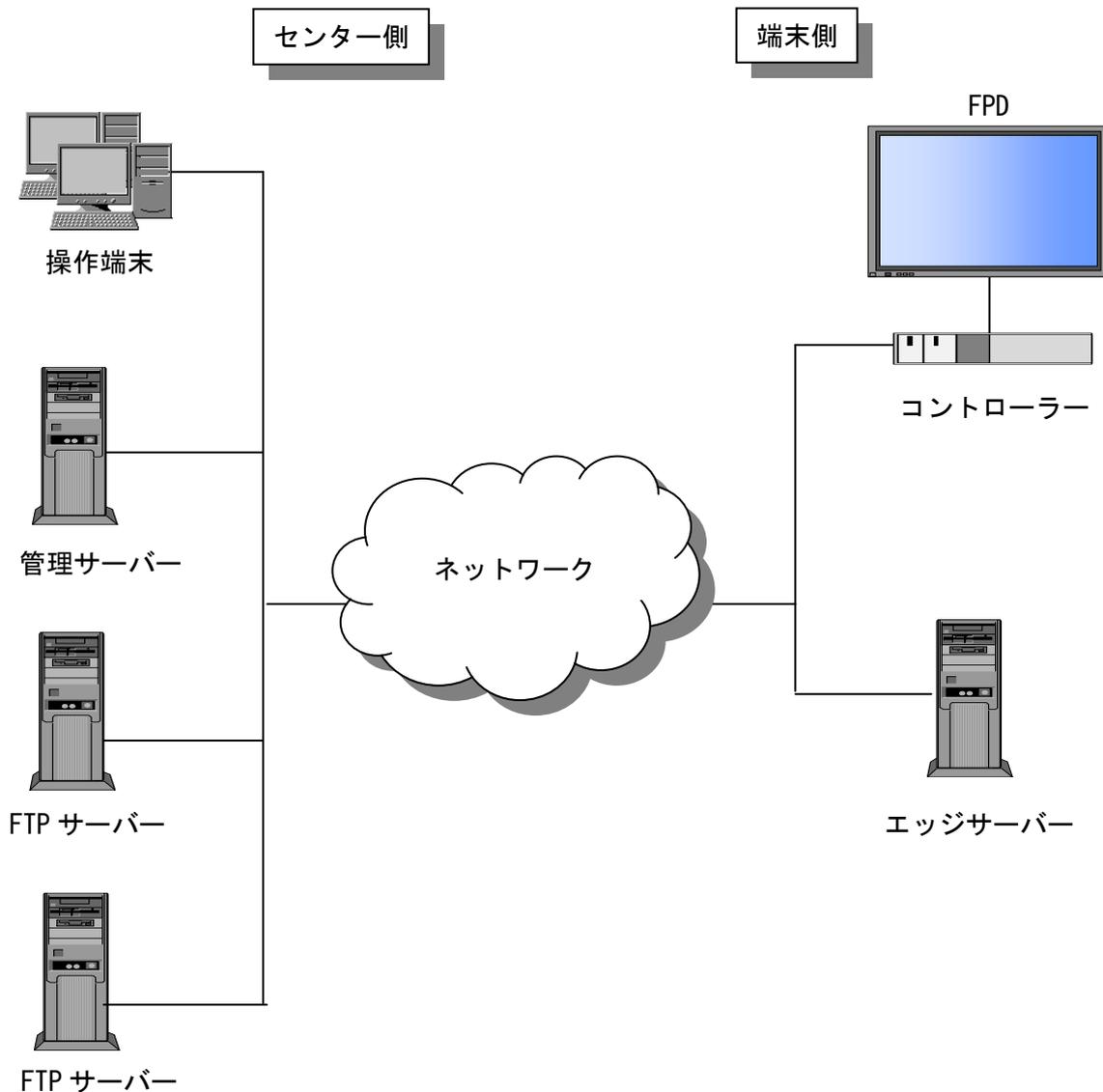
OS	: Windows 7 Professional
ブラウザ	: Internet Explorer 8.0
コントローラー	: Windows Media Player 12、PowerPoint Viewer 2007
プラグイン	: Flash Player 10、MPEG2 デコーダ



- WindowsXP で MPEG2 コンテンツをご使用になる場合、MPEG2 デコーダソフトが別途必要となります。ご使用可能な MPEG2 デコーダソフトに関しては、ご購入先にお問い合わせください。

### 1.2.3 端末接続数 1,000 台規模の場合

管理サーバー、操作端末の他に、FTP サーバーを別途構築します。また、端末側のコントローラー端末台数に応じてエッジサーバーを配置します。



#### i) 管理サーバーのスペック

(a) Windows Server 2003 を使用する場合

ハードウェア

CPU : Xeon 3.6 GHz 以上  
RAM : 2 GByte 以上  
データ用 HDD : 80 GByte 以上

ソフトウェア

OS : Windows Server 2003 SP1、R2

(b) Windows Server 2008 を使用する場合

ハードウェア

CPU : Xeon 3.6 GHz 以上  
RAM : 2 GByte 以上 (NM-WebOperator 機能を使用する場合は 4 GByte 以上)  
データ用 HDD : 80 GByte 以上

## ソフトウェア

OS : Windows Server 2008 R2  
Web サーバー : IIS7.5(NM-WebOperator 機能を使用する場合)



- 管理サーバーに Windows Server 2003 を使用する場合は、FTP サーバー、エッジサーバーには、Windows Server 2003 を、操作端末には Windows XP を使用するようになっています。
- 管理サーバーに Windows Server 2008 を使用する場合は、FTP サーバー、エッジサーバーには、Windows Server 2008 を、操作端末には Windows 7 を使用するようになっています。
- NM-WebOperator 機能を使用する場合、OS は Windows Server 2008 をご使用ください。

## ii) FTP サーバーのスペック

### ハードウェア

CPU : Xeon 3.0 GHz 以上  
RAM : 2 GByte 以上  
HDD : 80 GByte 以上

### ソフトウェア

OS : Windows Server 2003 SP1、R2 または Windows Server 2008 R2

## iii) エッジサーバーのスペック

### ハードウェア

CPU : Core2Duo 2.0 GHz 以上  
RAM : 1 GByte 以上  
HDD : 80 GByte 以上

### ソフトウェア

OS : Windows Server 2003 SP1、R2 または Windows Server 2008 R2



- エッジサーバー1台あたりの配下のコントローラー端末は30台を想定しています。

## iv) 操作端末のスペック

### (a) Windows XP を使用する場合

#### ハードウェア

CPU : Pentium4 3.0 GHz 以上  
RAM : 1 GByte 以上  
データ用 HDD : 80 GByte 以上  
画面の解像度 : XGA(1024 × 768)以上、SXGA (1280 × 1024) を推奨

#### ソフトウェア

OS : Windows XP Professional SP2  
ブラウザ : Internet Explorer 6.0 SP2  
コントローラー : Windows Media Player 9、PowerPoint Viewer 2007  
プラグイン : Flash Player 10、MPEG2 デコーダ

### (b) Windows 7 を使用する場合

#### ハードウェア

CPU : Core2Duo 2.0 GHz 以上  
RAM : 1 GByte 以上  
データ用 HDD : 80 GByte 以上  
画面の解像度 : XGA(1024×768)以上、SXGA (1280×1024) を推奨

#### ソフトウェア

OS : Windows 7 Professional  
ブラウザ : Internet Explorer 8.0  
コントローラー : Windows Media Player 12、PowerPoint Viewer 2007  
プラグイン : Flash Player 10、MPEG2 デコーダ

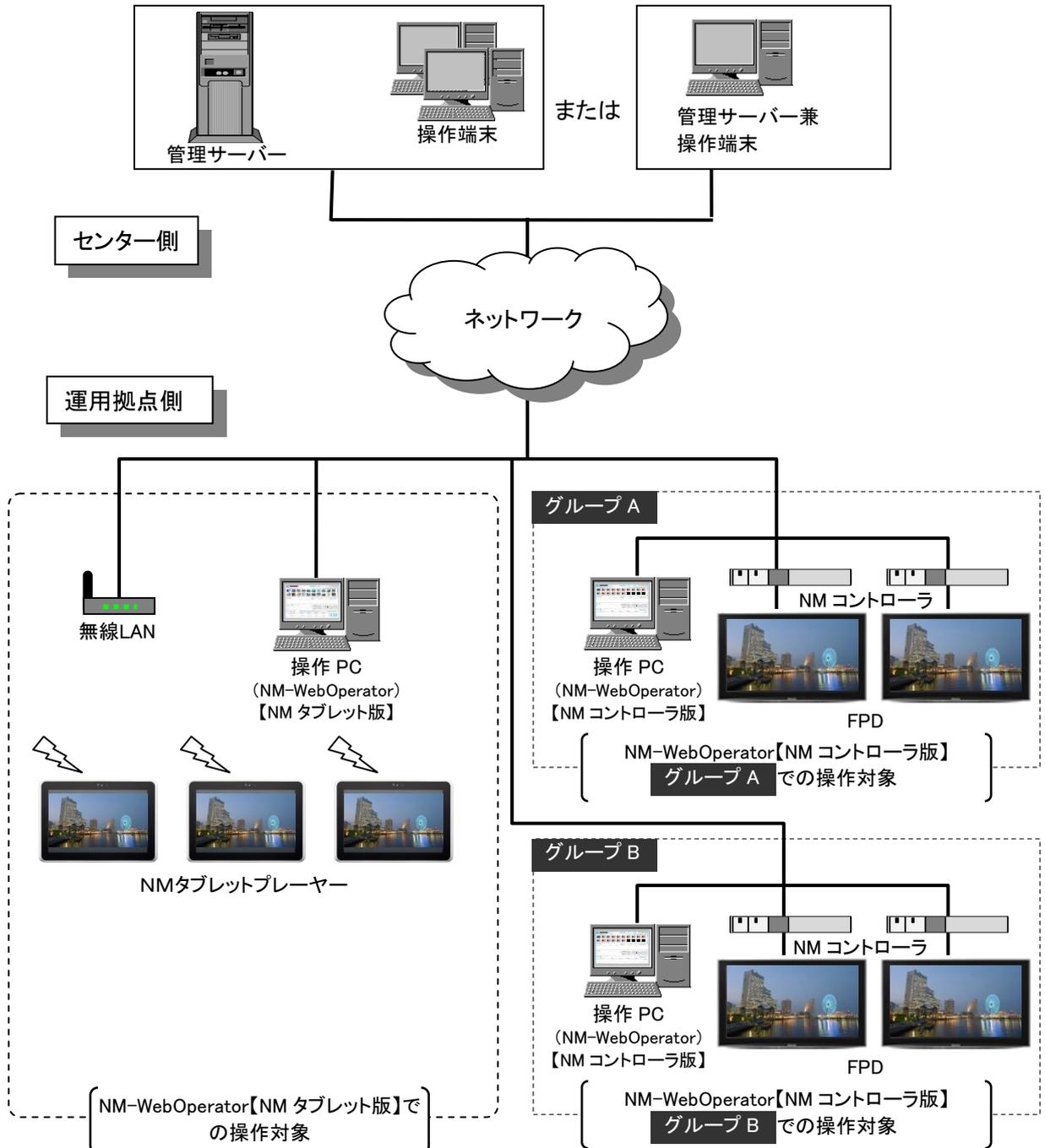


- WindowsXP で MPEG2 コンテンツをご使用になる場合、MPEG2 デコーダソフトが別途必要となります。ご使用可能な MPEG2 デコーダソフトに関しては、ご購入先にお問い合わせください。

## 1. 2. 4 NM-WebOperator 機能を利用する場合

管理サーバーに NM-WebOperator 機能をインストールすることで、管理サーバーにアクセス可能なネットワークに接続された Web 操作 PC より Internet Explorer 経由で Web アプリケーションにログインしてコンテンツやスケジュールの登録など一部の運用機能がご利用いただけます。

さらに NM タブレットプレーヤーライセンスを設定することで、企業向けタブレット端末 BizPad をプレーヤーとしてご利用いただけます。



- NM-WebOperator 機能をご利用の際のサーバー OS は規模に合わせて、Windows Server 2008 R2 または Windows 7 Professional を使用してください。



- 管理サーバーや操作端末、管理サーバー兼操作端末のスペックは、端末接続数の規模に合わせてご用意ください。

#### i) Web 操作 PC のスペック

##### ハードウェア

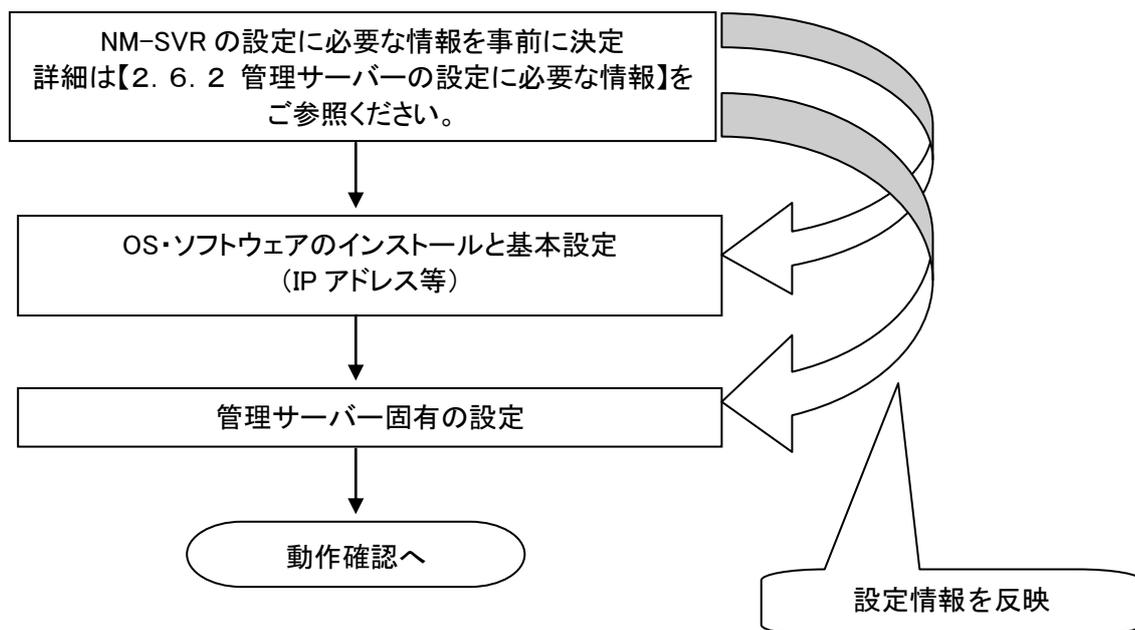
CPU	: Core2Duo 2.0 GHz 以上
RAM	: 2 G Byte 以上
データ用 HDD	: 80 G Byte 以上
ネットワーク	: 100Base-TX 以上
画面の解像度	: XGA(1024×768)以上、SXGA (1280×1024) を推奨

##### ソフトウェア

OS	: Windows 7 Professional 64bit
ブラウザ	: Internet Explorer 8.0
コントローラー	: Windows Media Player 12、PowerPoint Viewer 2007
プラグイン	: Flash Player 11 64bit 版、MPEG2 デコーダ

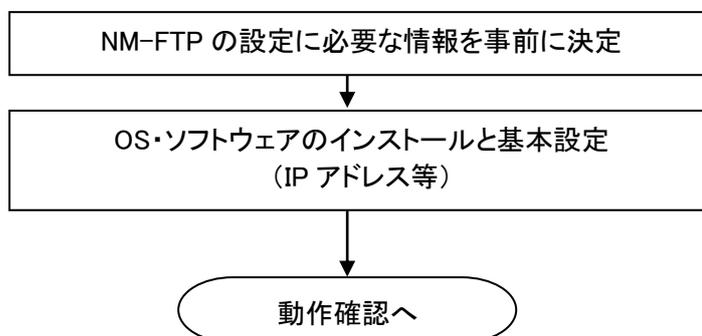
## 2 管理サーバーの設置

## 2.1 管理サーバー設置フロー



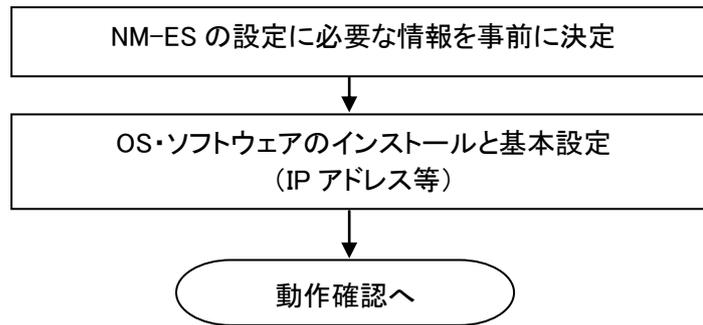
各フローの詳細は、【3管理サーバーのインストール】をご参照ください。

## 2.2 FTP サーバー設置フロー（オプション機能）



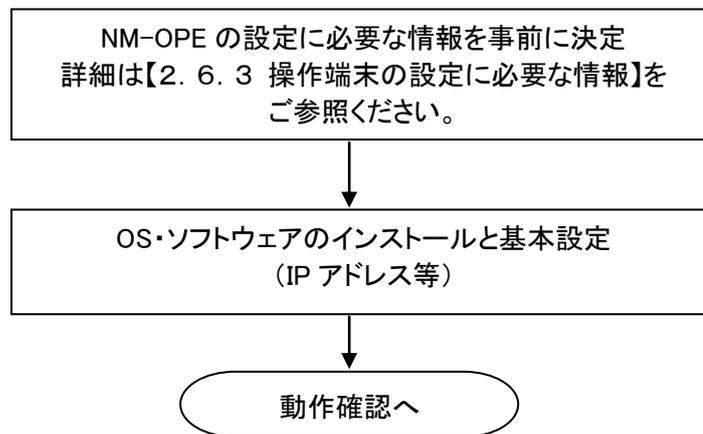
各フローの詳細、インストール手順については、別途「FTP サーバソフト 取扱説明書」を参照してください。

## 2.3 エッジサーバー設置フロー（オプション機能）



各フローの詳細、インストール手順については、別途「エッジサーバーソフト 取扱説明書」を参照してください。

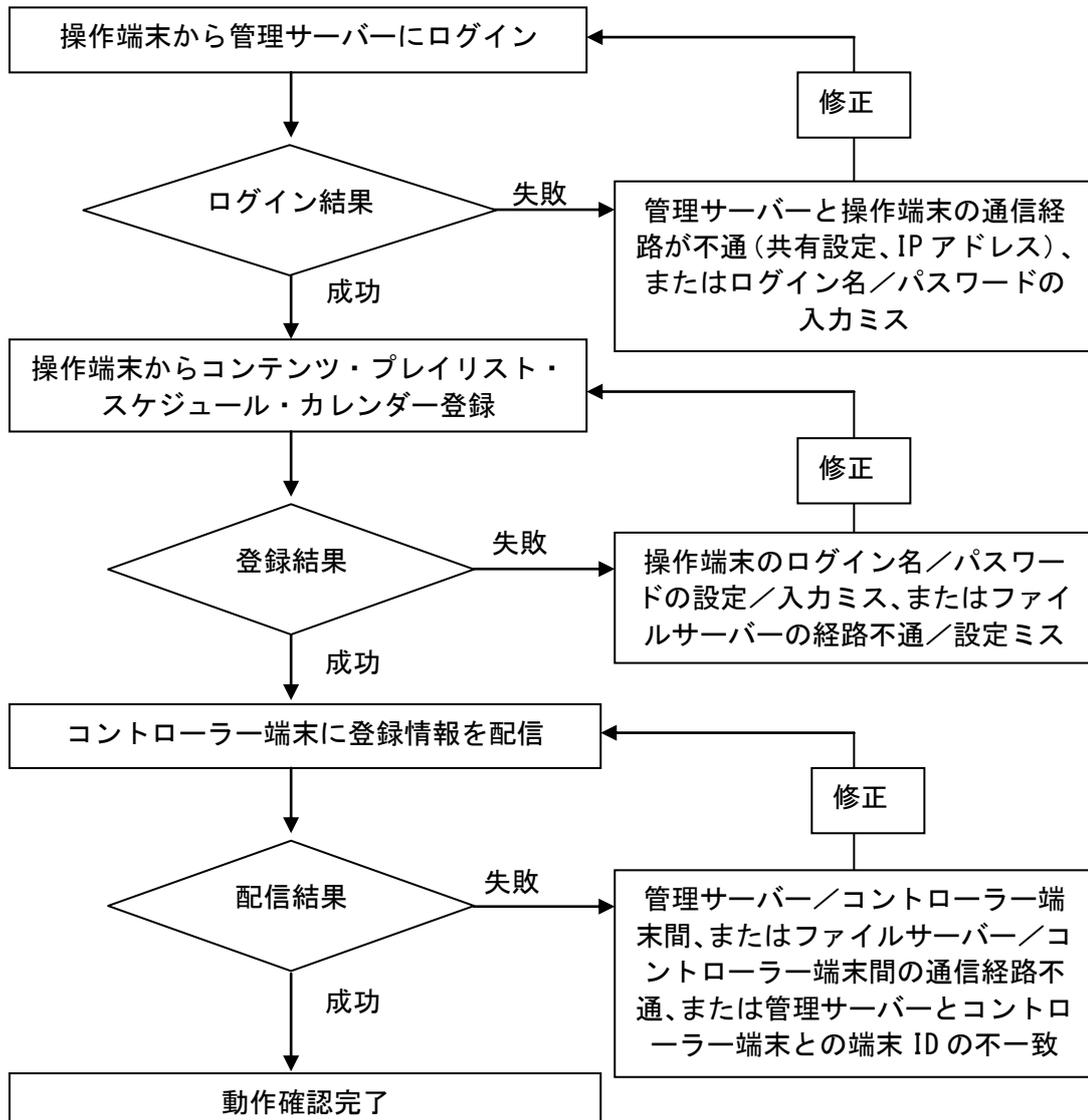
## 2.4 操作端末設置フロー



各フローの詳細は、「4操作端末のインストール」で解説します。

## 2.5 センター側システムの動作確認

各種サーバー、操作端末、コントローラ端末の設定が完了したら、以下の手順で動作確認を行います。



## 2.6 各装置に関する前提条件および準備

### 2.6.1 本製品以外に必要なソフトウェア

以下のソフトは、別途購入、またはインターネット等で事前に入手していただく必要があります。

- Windows XP Professional SP2、または Windows 7 Professional<sup>※1</sup>
- Windows Server 2003 SP1,R2、または Windows Server 2008 R2<sup>※1</sup>
- Flash Player 10(Flash コンテンツをご利用になる場合に必要) <sup>※2</sup>
- MPEG2 デコーダソフト(WindowsXP で、MPEG2 コンテンツをご利用になる場合に必要)<sup>※3</sup>
- PowerPoint Viewer 2007(パワーポイントコンテンツをご利用になる場合に必要)



※1: NM-WebOperator 機能を使用する場合は、Windows 7 Professional(64bit)版か Windows Server 2008 R2 をご用意ください。

※2: NM-WebOperator 機能を使用する場合は、Flash Player 11(64bit)版をご使用ください。

※3: ご使用可能な MPEG2 デコーダソフトに関しては、ご購入先にお問い合わせください。

### 2.6.2 管理サーバーの設定に必要な情報

以下の情報はネットワーク責任者等にお問い合わせの上、事前に入手していただく必要があります。

No.	項目	種別	解説	備考
1	管理サーバーの TCP/IP プロパティ	管理サーバー固有	IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ	
2	NM-SVR 起動用ログオンユーザー名/パスワード	管理サーバー固有	管理サーバーを起動するためのログオンユーザー設定	
3	NM-OPE リモートアクセス用ログオンユーザー名/パスワード	管理サーバー、操作端末で共通	操作端末から管理サーバーにリモートアクセスするためのログオンユーザー名・パスワードと各種設定	
4	ライセンスコード	管理サーバー固有	運用のためのライセンスコード ※ライセンス追加購入については購入先までお問い合わせください。	半角 24 文字
5	ユーザコード	管理サーバー固有	管理サーバー識別のためのユーザコード	半角英数字 4 文字 半角英字は大文字 (ex.SVR1)
6	管理サーバーの端末 ID	管理サーバー固有	管理サーバーを識別するための端末 ID	半角英数字 4 文字 半角英字は大文字 (ex.0001)
7	リモートコマンドポート番号	管理サーバー、操作端末で共通	操作端末と管理サーバー間のコミュニケーションポート番号	30438(初期値)
8	PRD1 型通信用ポート番号 PRD2 型通信用ポート番号	管理サーバー、操作端末で共通	操作端末と管理サーバー間の監視を行うための通信用ポート番号	50005(初期値) 50006(初期値)
9	NM-OPE 通信用ポート番号	管理サーバー、操作端末で共通	操作端末と管理サーバー間の制御を行うための通信用ポート番号	10012(初期値)
10	PV 通信用ポート番号	管理サーバー、全端末で共通	管理サーバーと端末間の通信を行うためのポート番号	30435(初期値)
11	FTP 通信用ポート番号	管理サーバー、全端末で共通	FTP サーバーと端末間のコンテンツ配信を行うためのポート番号	30437(初期値)
12	ユーザ数/ユーザコード/ユーザ名	管理サーバー、コントローラー端末で共通	ユーザ(顧客)の数と識別のためのコード・ユーザ名	ユーザコード:半角英数字 4 文字(ex.NM01)

13	NM-OPE ログインユーザー ログイン名/パスワード	管理サーバー、 操作端末で共通	操作端末にログインするための各種情 報	半角英数字 8 文字ま で
14	NTP サーバーの IP アドレス	管理サーバー固有	時刻補正サーバーの IP アドレス	時刻補正時に参照す る NTP サーバー



- 「端末監視」機能にて、管理サーバーと操作端末を同一監視画面上で管理する場合は、同一のユーザコードで登録してください。

### 2.6.3 操作端末の設定に必要な情報

以下の情報はネットワーク責任者等にお問い合わせの上、事前に入手していただく必要があります。

No.	項目	種別	解説	備考
1	操作端末の TCP/IP プロパティ	操作端末固有	IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ	
2	NM-OPE リモートアクセス用 ログオンユーザー名/パスワード	管理サーバー、 操作端末で共通	操作端末から管理サーバーにリモート アクセスするためのユーザー名・パス ワードと各種設定	
3	サーバーID	管理サーバー固有	管理サーバーのサーバーコードと端末 ID	半角英数字 8 文字 (ex.SVR10001)
4	管理サーバー名	操作端末固有	操作端末上での表示名称	
5	管理サーバーの IP アドレス	管理サーバー固有	管理サーバーの IP アドレス	
6	接続先サーバーパス	管理サーバー固有	管理サーバー上の共有フォルダのパス	
7	リモートコマンドポート番号	管理サーバー、 操作端末で共通	操作端末と管理サーバー間のコミュニ ケーションポート番号	30438(初期値)
8	PRD1 型通信用ポート番号 PRD2 型通信用ポート番号	管理サーバー、 操作端末で共通	操作端末と管理サーバー間の監視を 行うための通信用ポート番号	50005(初期値) 50006(初期値)
9	NM-OPE 通信用ポート番号	管理サーバー、 操作端末で共通	操作端末と管理サーバー間の制御を 行うための通信用ポート番号	10012(初期値)
10	NTP サーバーの IP アドレス	操作端末固有	時刻補正サーバーの IP アドレス	時刻補正時に参照す る NTP サーバー

# 3 管理サーバーのインストール

## 3.1 Windows Server 2003(Windows XP)へのインストール

Windows Server 2003 インストール手順の詳細については、「Windows Server 2003 ファーストステップガイド」やその他関連ドキュメントを参照してください。ここでは、要点のみ説明します。



- 必ず、新規インストールを行ってください。他の OS からのアップグレード等を行った場合、正常に動作しない場合があります。
- NM-WebOperator 機能を使用する場合は、Windows Server 2008R2 か Windows 7 Professional(64bit)版へインストールしてください。



- NM-SVR を Windows XP にインストールする場合、特に記載のない項目は同様の設定を行ってください。手順の詳細については、「Windows XP Professional ファーストステップガイド」やその他関連ドキュメントを参照してください。ここでは、要点のみ説明します。

### 3.1.1 ディスクのパーティション割り当て

以下のように、ディスクの割り当てを行います。

ドライブ名	記憶媒体	最低容量	使用用途
C:	Hard Disk Drive	10G Byte	Windows Server 2003 等
D:	CD-ROM Drive		システムバージョンアップ・データ交換等
E:	Hard Disk Drive	70G Byte	デジタルサイネージソリューション用



- ディスクの割り当てを行わず、すべて C ドライブに設定しても運用することが可能です。以降、NM-SVR を E ドライブで使用する場合を前提にご説明致します。

### 3.1.2 インストール時の設定

インストール時、下記の設定を必ず行ってください。

- ホスト名
- DC(ドメイン・コントローラー)を設定しない
- Active Directory(アクティブ・ディレクトリ)を設定しない
- IIS(Internet Information Service)をインストールしない。

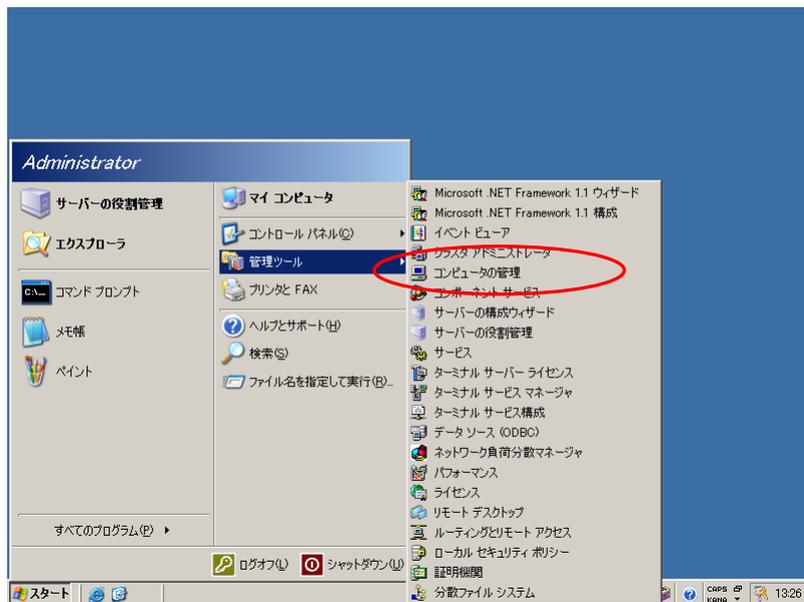
### 3.1.3 ログオンユーザーの追加

管理サーバーの起動用ログオンユーザーと、操作端末から管理サーバーにリモートアクセスするためのログオンユーザーを追加する必要があります。以下の手順で行ってください。

#### ■ 追加するユーザーと所属するグループ

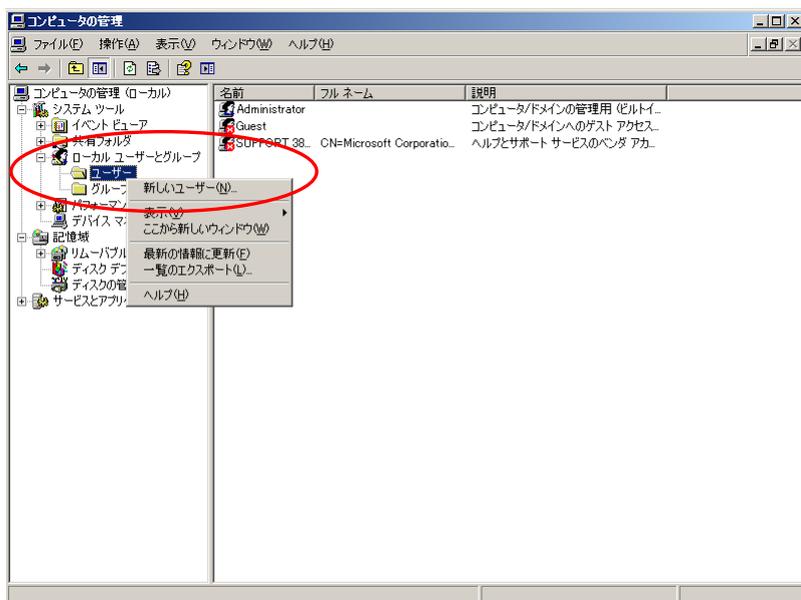
ユーザー	所属グループ	条件
NM-SVR 起動用ログオンユーザー (例: NM-SVR)	Administrators	このユーザー名・パスワードを知らないとNM-SVRを起動できません。
NM-OPE リモートアクセス用ログオンユーザー(例: NM-OPE)	Administrators	操作端末のNM-OPE 起動用ログオンユーザーと同じ名前・パスワードに設定してください。

**STEP 1** 「スタート」→「管理ツール」→「コンピュータの管理」を選択します。

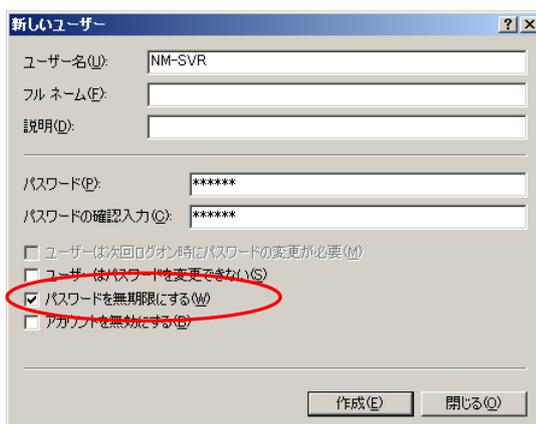


- Windows XP の場合は以下の手順で設定してください。  
「スタート」→「コントロール パネル(C)」→「パフォーマンスとメンテナンス」→  
「管理ツール」→「コンピュータの管理」の順に選択。

**STEP 2** 「ローカル ユーザーとグループ」→「ユーザー」にカーソルを合わせ、右クリックメニューから、「新しいユーザー(N)」を選択します。



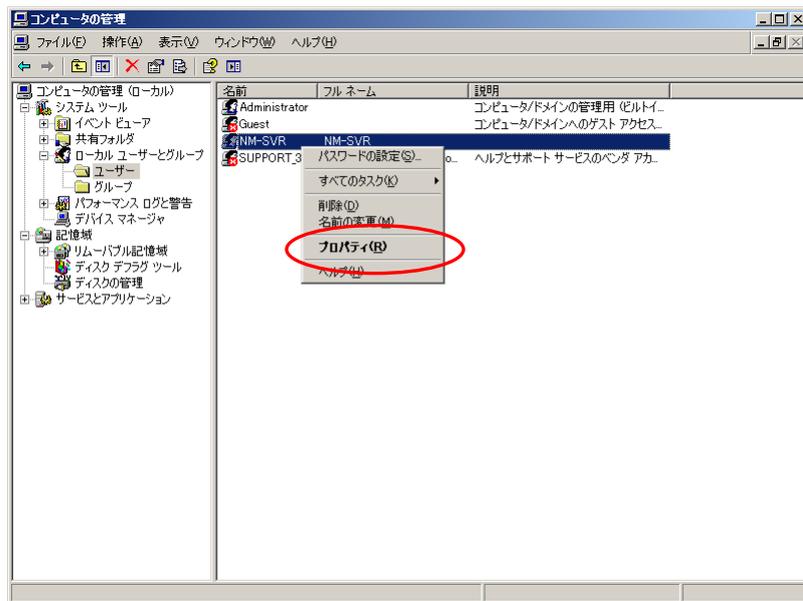
**STEP 3** 「ユーザー名(U)」・「パスワード(P)」を入力し、「パスワードを無期限にする(W)」のみチェックを入れ、「作成(E)」をクリックしてください。作成が完了したら、「閉じる(O)」をクリックします。



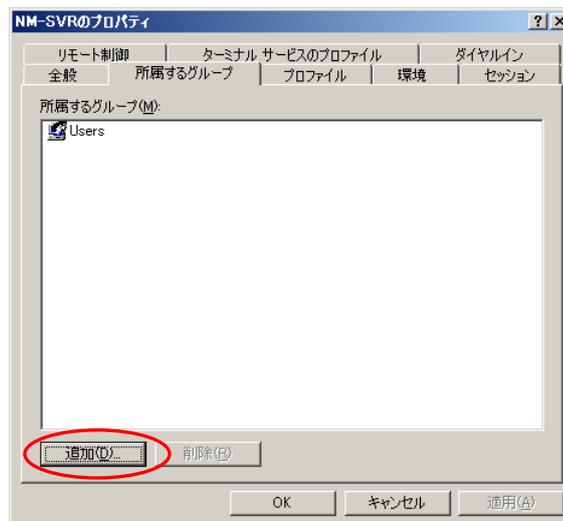
- 「フル ネーム(F)」・「説明(D)」は必要に応じて適宜入力してください。
- ユーザー名・パスワードは「追加するユーザーと所属するグループ」の条件を考慮して設定し、関係者に通知してください。

**STEP 4** **STEP 2**、**STEP 3** を繰り返し、運用に必要なユーザーを登録してください。

**STEP 5** 新しく作られたユーザーにカーソルを合わせ、右クリックメニューから、「プロパティ(R)」を選択します。



**STEP 6** 「<ユーザー名>のプロパティ」から「所属するグループ」タブを選択し、「追加するユーザーと所属するグループ」の表を参考にして、所属するグループを設定します。設定が完了したら、「OK」をクリックします。



**STEP 7** STEP 5、STEP 6 を繰り返し、登録したすべてのユーザーの所属グループを設定します。

**STEP 8** 管理サーバーを再起動し、NM-SVR 起動用ログオンユーザーでログオンします。

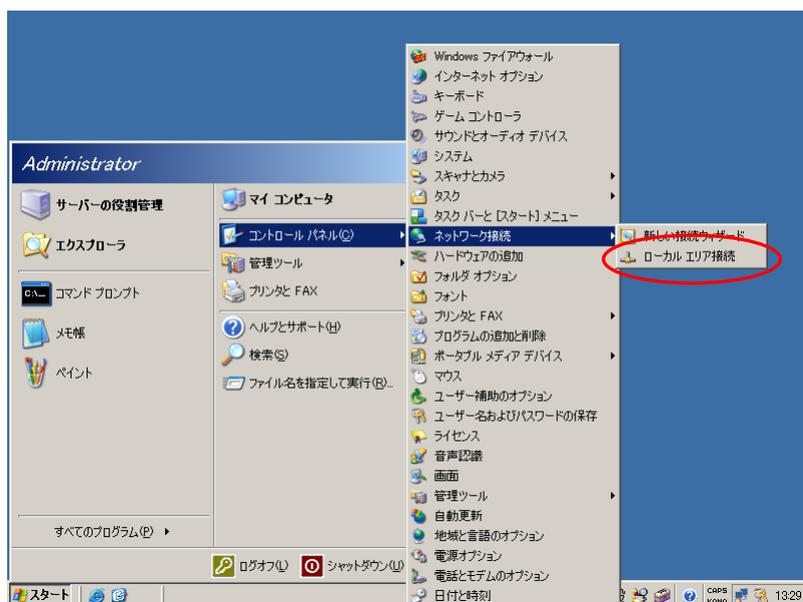
### 3.1.4 ネットワークの設定

ネットワークの設定を、以下の手順で行ってください。



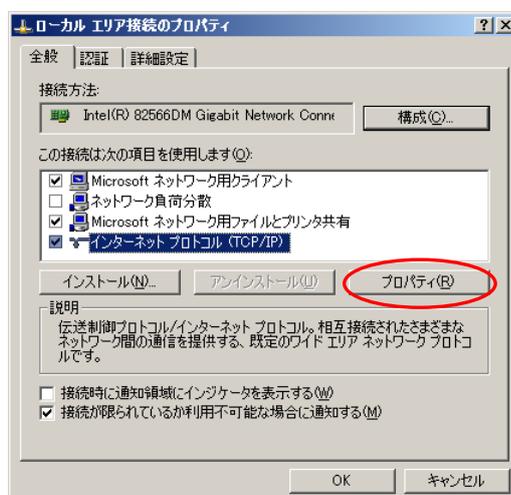
- 本項以降の設定は、必ず NM-SVR 起動用ログオンユーザーでログオンして実施してください。

**STEP 1** 「スタート」→「コントロールパネル(C)」→「ネットワーク接続」→「ローカルエリア接続」を選択します。



- Windows XP の場合は以下の手順で設定してください。  
「スタート」→「コントロール パネル(C)」→「ネットワークとインターネット接続」→「ネットワーク接続」の順にクリック、「ローカルエリア 接続」の右クリックメニューから「プロパティ(R)」を選択。

**STEP 2** 「全般」タブを表示し、「インターネット プロトコル (TCP/IP)」を選択し、「プロパティ(R)」をクリックします。



**STEP 3** 「インターネット プロトコル (TCP/IP)のプロパティ」で以下の設定を行ってください。

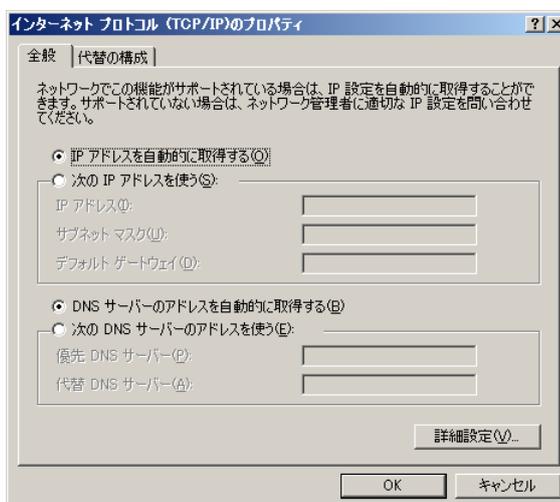
設定が完了したら、「OK」をクリックします。

「次の IP アドレスを使う(S)」を選択し、以下の項目を入力します。

IP アドレス(I) : 管理サーバーの IP アドレス

サブネットマスク(U) : 管理サーバーが接続されている環境のサブネットマスク

デフォルトゲートウェイ(D) : ルーターの IP アドレス



### 3.1.5 セキュリティポリシーの設定

管理サーバーのセキュリティ設定を、以下の手順で行ってください。本システムの運用上、本項の設定は必須ではありませんが、セキュリティ向上のため以下の設定を推奨しております。



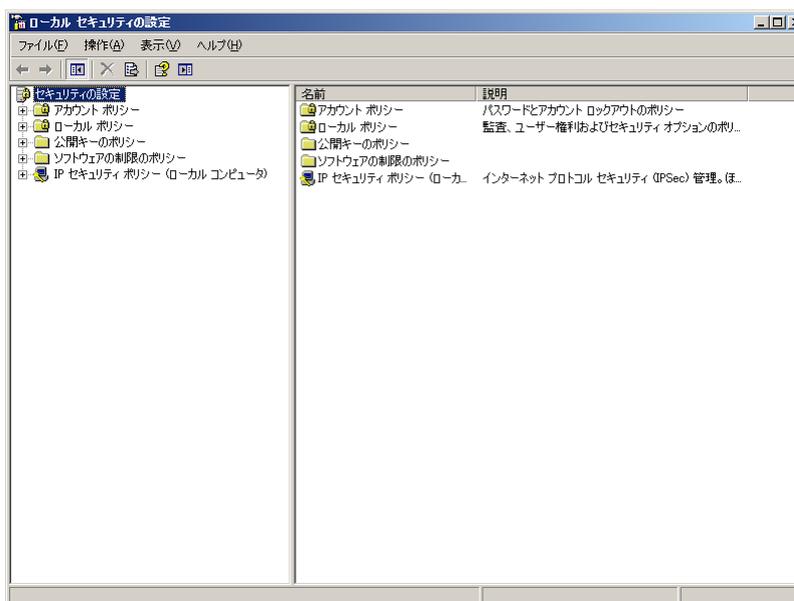
- NM-SVR を Windows XP にインストールする場合は、【4.1.3セキュリティポリシーの設定】をご参照ください。

**STEP 1** 「スタート」→「管理ツール」→「ローカル セキュリティ ポリシー」を選択します。



- Windows XP の場合は以下の手順で設定してください。  
「スタート」→「コントロールパネル(C)」→「パフォーマンスとメンテナンス」→  
「管理ツール」→「ローカル セキュリティポリシー」の順に選択。

**STEP 2** セキュリティポリシーの各項目を設定します。  
次ページ以降に示す表に沿って、セキュリティポリシーの設定を行ってください。  
設定値に変更のある項目のみ記載しております。



設定項目		NM-SVR	初期設定	
アカウント ポリシー	パスワードのポリシー	パスワードの有効期間	0 日	42 日
	アカウントロックアウト のポリシー	アカウントのロックアウトのしきい値	5 回ログインに失敗	0 回ログインに失敗
		ロックアウト カウントのリセット	30 分後	該当なし
		ロックアウト期間	99 分	該当なし
ローカル ポリシー	監視ポリシー	アカウント ログオンイベントの監査	失敗	成功
		システム イベントの監査	失敗	監査しない
		プロセス追跡の監査	失敗	監査しない
		ログオン イベントの監査	失敗	成功
	ユーザー権利の割り 当て	サービスとしてログオン	—	NETWORK SERVICE
		セキュリティ監査の生成	Administrators	LOCAL SERVICE NETWORK SERVICE
		ネットワーク経由でコンピュータへア クセス	Administrators Users Power Users Backup Operators	Administrators Users Power Users Backup Operators Everyone
		バッチジョブとしてログオン	—	LOCAL SERVICE SUPPORT_3889 45a0
		プロセス レベル トークンの置き換え	—	LOCAL SERVICE NETWORK SERVICE
		ローカルでログオンを拒否する	—	SUPPORT_3889 45a0
	セキュリティ オプショ ン	システムオブジェクト: Administrator グループのメンバーに よって作成されたオブジェクトの既定 の所有者	Object creator	Administrators Group
		シャットダウン: システムをシャットダウンするのにロ グオンを必要としない	有効	無効
		ネットワークセキュリティ: ログオン時間を経過した場合はユー ザーを強制的にログオフさせる	有効	無効

### 3.1.6 イベントログの設定

NM-SVR を Windows XP にインストールする場合に、イベントログの設定を、以下の手順で行ってください。

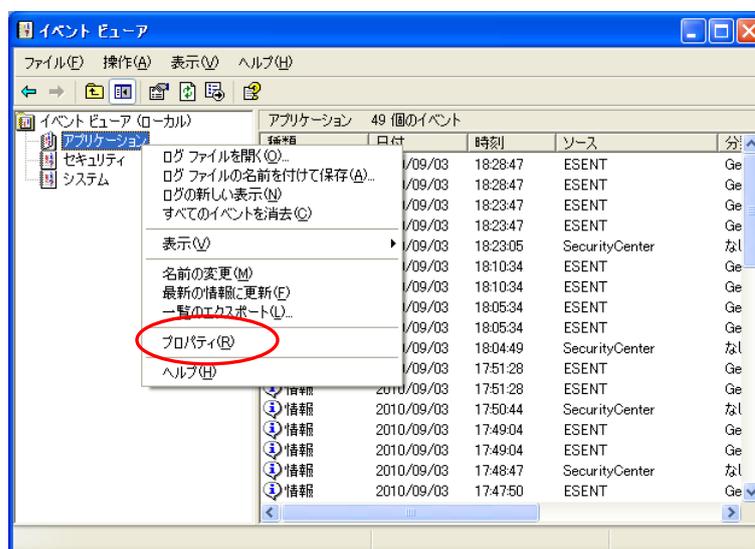


- Windows Server 2003 では、インストール時に自動で設定されているため、本項目の設定は必要ありません。

**STEP 1** 「スタート」→「コントロール パネル(C)」を選択し、「パフォーマンスとメンテナンス」→「管理ツール」の順にクリックします。

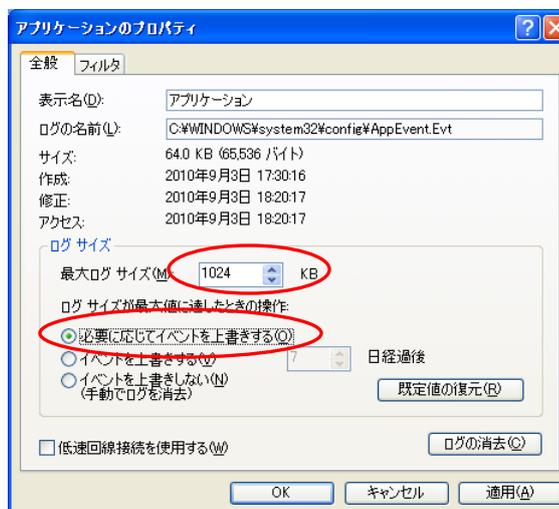
**STEP 2** 「イベント ビューア」をダブルクリックします。

**STEP 3** 「アプリケーション」にカーソルを合わせ、右クリックメニューから、「プロパティ(R)」を選択します。



**STEP 4** 「アプリケーションのプロパティ」が開きます。以下の設定を行ってください。

- 最大ログサイズ(M) : 1024 KB  
ログサイズが最大値に達したときの操作 : 必要に応じてイベントを上書きする(O)



**STEP 5** セキュリティログ/システムログについても同様に設定を行ってください。

### 3.1.7 ウイルス対策機能設定

本ソフトウェアではウイルス対策ソフトと共存した場合の検証を行っていないため、ウイルス対策ソフトの導入によって予期しないエラーが生じる可能性があります。そのため、導入には事前検証が必要になります。その他の詳細設定は、設置先の環境に依存しますので、ネットワーク責任者にお問い合わせください。

### 3.1.8 ファイアウォール機能設定

本システムの運用上、センター内のファイアウォールの設定は必須ではありません。セキュリティを向上させるため、ファイアウォールを設定する場合は、下表に示す通信を許可するよう設定してください。設定時にはIPアドレスやポート番号を、インストール時に設定した内容に合わせてください。

通信の種類	NM-SVR	I/O	NM-OPE
OPE 通信用ポート	10012	←	不定
PRD1 型通信用ポート	50005	←	不定
PRD2 型通信用ポート	50006	←	不定
リモートコマンドポート	30438	←	不定
ネットワークドライブ	139	←	不定

通信の種類	NM-SVR	I/O	全端末
PV 通信用ポート	30435	←	不定
FTP 通信用ポート	30437	←	不定

通信の種類	NTP サーバー	I/O	全端末
NTP サーバー用ポート	123	←	123

※ インストーラーで NTP サーバーによる時刻補正を設定した場合のみ必要です。



- 警告ウィンドウが表示される場合、以下の手順でセキュリティセンターのファイアウォール対策設定を変更してください。  
「スタート」→「コントロール パネル(C)」→「セキュリティセンター」の順にクリック、  
「ファイアウォール」エリアの「推奨される対策案(R)」をクリック、  
「自分でファイアウォール対策を行い、管理します(I)」にチェックし、「OK」をクリック。

## 3.2 Windows Server 2008 (Windows 7) へのインストール

Windows Server 2008 インストール手順の詳細については、Windows Server 2008 付属の関連ドキュメント、インストーラーのヘルプを参照してください。ここでは、要点のみ説明します。



- 必ず、新規インストールを行ってください。他の OS からのアップグレード等を行った場合、正常に動かない場合があります。
- NM-WebOperator 機能を使用する場合は、Windows Server 2008 R2 または、Windows 7 Professional(64bit 版)へインストールしてください。



- NM-SVR を Windows 7 にインストールする場合、特に記載のない項目は同様の設定を行ってください。手順の詳細については、Windows 7 Professional 付属の関連ドキュメント、インストーラーのヘルプを参照してください。ここでは、要点のみ説明します。

### 3.2.1 ディスクのパーティション割り当て

以下のように、ディスクの割り当てを行います。

ドライブ名	記憶媒体	最低容量	使用用途
C:	Hard Disk Drive	10G Byte	Windows 2008 Server 等
D:	CD-ROM Drive		システムバージョンアップ・データ交換等
E:	Hard Disk Drive	70G Byte	デジタルサイネージソリューション用



- NM-WebOperator 機能を使用する場合は、パーティション分割せず C ドライブに本ソフトウェアをインストールしてください。



- ディスクの割り当てを行わず、すべて C ドライブに設定しても運用することが可能です。以降、NM-SVR を E ドライブで使用する場合を前提にご説明致します。

### 3.2.2 インストール時の設定

インストール時、下記の設定を必ず行ってください。

- ホスト名
- DC(ドメイン・コントローラー)を設定しない
- Active Directory(アクティブ・ディレクトリ)を設定しない
- NM-WebOperator 機能を使用しない場合は IIS(Internet Information Service)をインストールしない

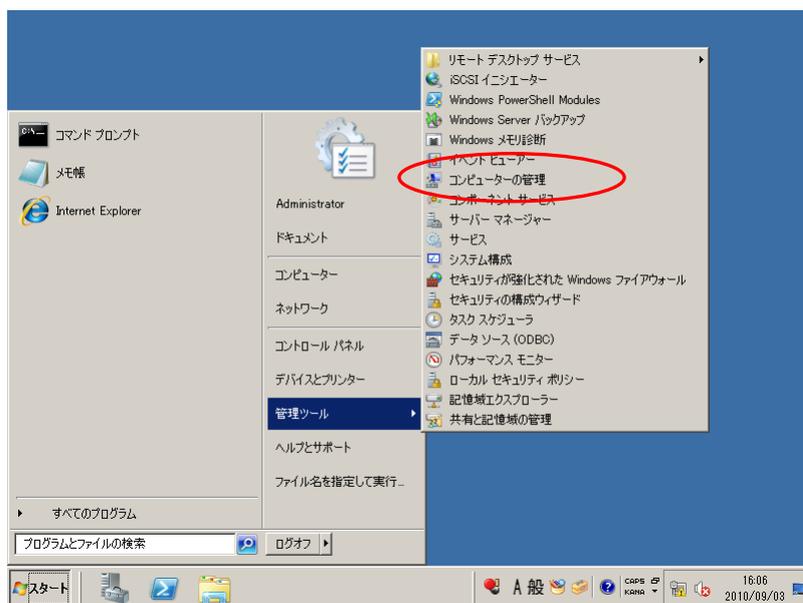
### 3.2.3 ログオンユーザーの追加

管理サーバー起動用ログオンユーザーと、操作端末から管理サーバーにリモートアクセスするためのログオンユーザーを追加する必要があります。以下の手順で行ってください。

#### ■ 追加するユーザーと所属するグループ

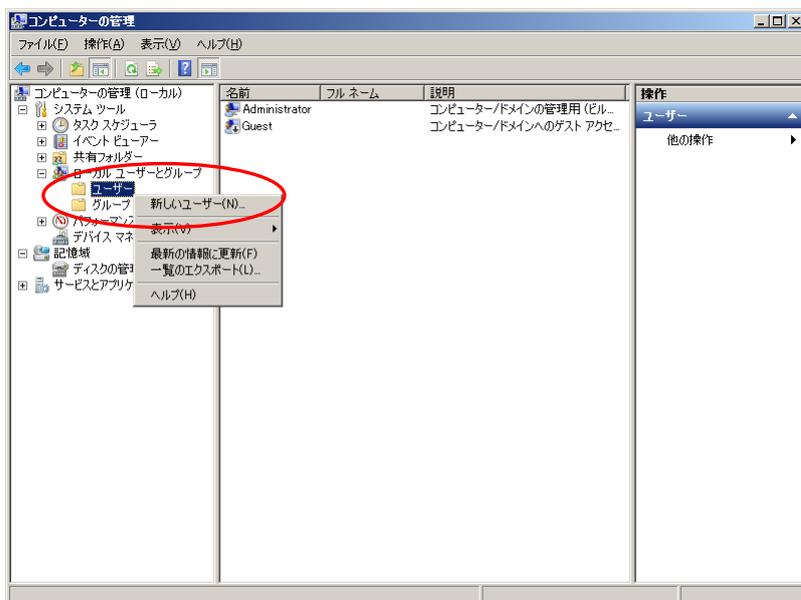
ユーザー	所属グループ	条件
NM-SVR 起動用ログオンユーザー (例: NM-SVR)	Administrators	このユーザー名・パスワードを知らないとNM-SVRを起動できません。
NM-OPE リモートアクセス用ログオンユーザー(例: NM-OPE)	Administrators	操作端末のNM-OPE 起動用ログオンユーザーと同じ名前・パスワードに設定してください。

**STEP 1** 「スタート」→「管理ツール」→「コンピュータの管理」を選択します。

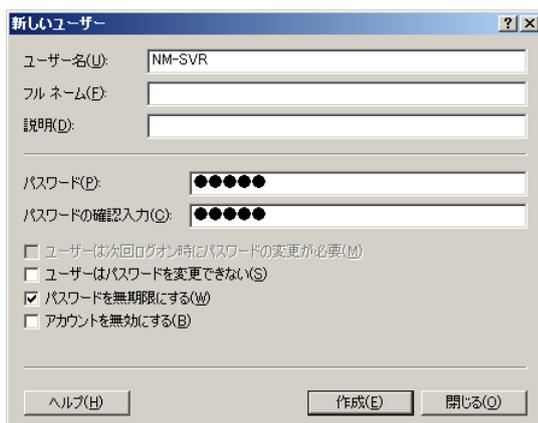


- Windows 7 の場合は以下の手順で設定してください。  
「スタート」→「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「管理ツール」→  
「コンピュータの管理」の順に選択。

**STEP 2** 「ローカル ユーザーとグループ」→「ユーザー」にカーソルを合わせ、右クリックメニューから、「新しいユーザー(N)」を選択します。



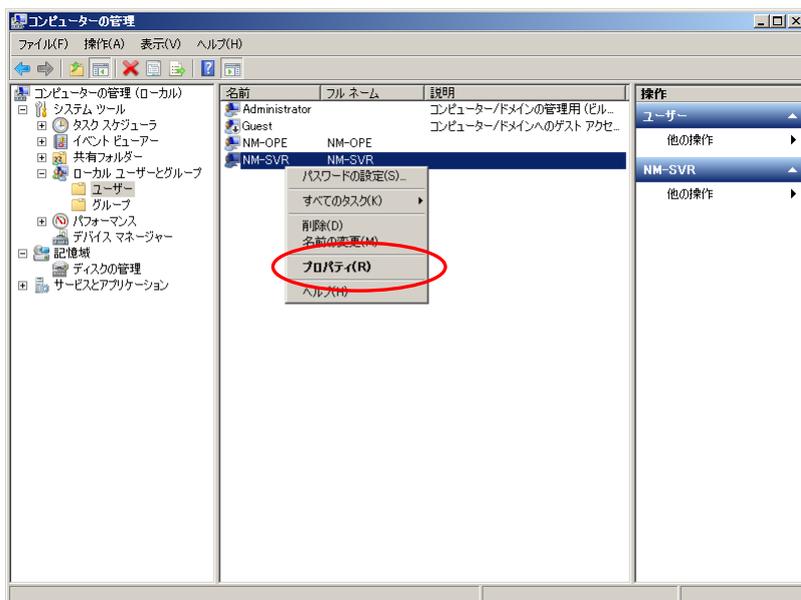
**STEP 3** 「ユーザー名(U)」・「パスワード(P)」を入力し、「パスワードを無期限にする(W)」のみチェックを入れ、「作成(E)」をクリックしてください。作成が完了したら、「閉じる(O)」をクリックします。



- 「フル ネーム(F)」・「説明(D)」は必要に応じて適宜入力してください。
- ユーザー名・パスワードは「追加するユーザーと所属するグループ」の条件を考慮して設定し、関係者に通知してください。

**STEP 4** **STEP 2**、**STEP 3** を繰り返し、運用に必要なユーザーを登録してください。

**STEP 5** 新しく作られたユーザーにカーソルを合わせ、右クリックメニューから、「プロパティ(R)」を選択します。



**STEP 6** 「所属するグループ」タブを選択し、「追加するユーザーと所属するグループ」の表を参考にして、所属するグループを設定します。設定が完了したら、「OK」をクリックします。



**STEP 7** STEP 5、STEP 6 を繰り返し、登録したすべてのユーザーの所属グループを設定してください。

**STEP 8** 管理サーバーを再起動し、NM-SVR 起動用ログオンユーザーでログオンしてください。

### 3.2.4 ネットワークの設定

ネットワークの設定を、以下の手順で行ってください。



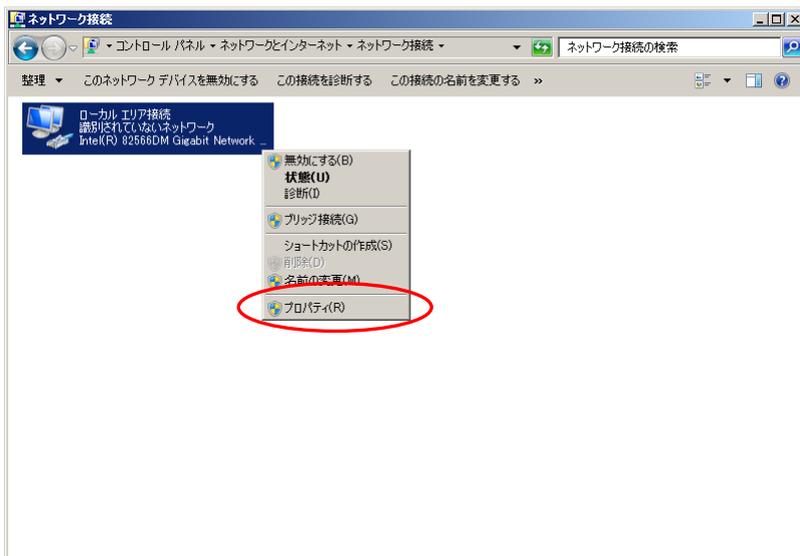
- 本項以降の設定は、必ず NM-SVR 起動用ログオンユーザーでログオンして実施してください。

**STEP 1** 「スタート」→「コントロールパネル」を選択し、「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」の順にクリックします。

**STEP 2** 「アダプターの設定の変更」をクリックします。

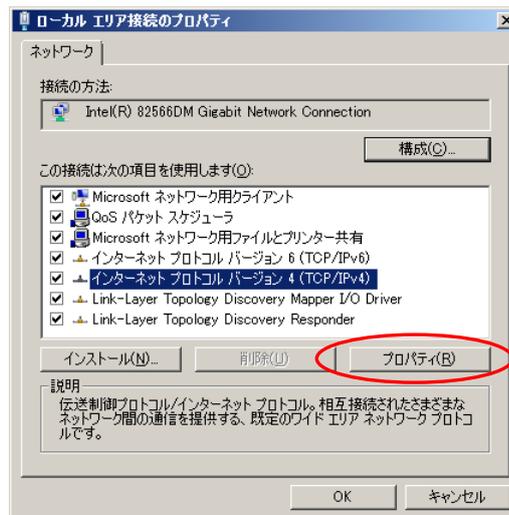


**STEP 3** 「ローカルエリア接続」にカーソルを合わせ、右クリックメニューから、「プロパティ(R)」を選択します。



- Windows 7 の場合は以下の手順で設定してください。  
「スタート」→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」→「アダプターの設定の変更」の順に選択、「ローカルエリア 接続」の右クリックメニューから、「プロパティ(R)」を選択。

**STEP 3** 「ネットワーク」タブを表示し、「インターネット プロトコル (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ(R)」をクリックします。



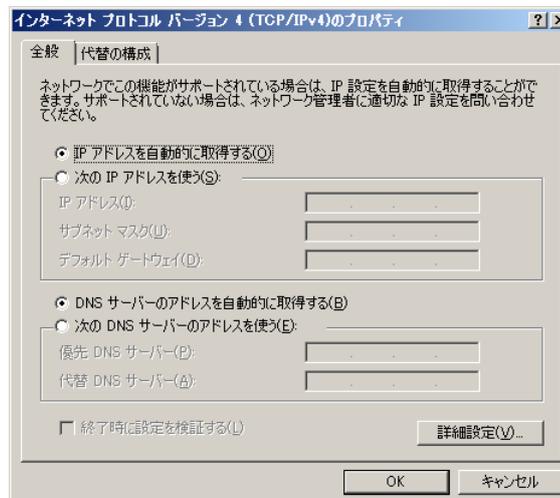
**STEP 4** 「インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)のプロパティ」で以下の設定を行ってください。設定が完了したら、「OK」をクリックします。

「次の IP アドレスを使う(S)」を選択し、以下の項目を入力します。

IP アドレス(I) : 管理サーバーの IP アドレス

サブネットマスク(U) : 管理サーバーが接続されている環境のサブネットマスク

デフォルトゲートウェイ(D) : ルーターの IP アドレス



### 3.2.5 セキュリティポリシーの設定

管理サーバーのセキュリティ設定を、以下の手順で行ってください。本システムの運用上、本項の設定は必須ではありませんが、セキュリティ向上のため以下の設定を推奨しております。



- NM-SVR を Windows 7 にインストールする場合は、【4.2.3セキュリティポリシーの設定】をご参照ください。

**STEP 1** 「スタート」→「管理ツール」→「ローカル セキュリティ ポリシー」を選択します。



- Windows 7 の場合は以下の手順で設定してください。  
「スタート」→「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「管理ツール」の順に選択、「ローカル セキュリティポリシー」をダブルクリック。

**STEP 2** セキュリティポリシーの各項目を設定します。  
次ページ以降に示す表に沿って、セキュリティポリシーの設定を行ってください。  
設定値に変更のある項目のみ記載しております。

名前	説明
アカウント ポリシー	パスワードとアカウント ロックアウトのポリシー
ローカル ポリシー	監査、ユーザー権限およびセキュリティ オプションのポリ...
セキュリティが強化された Windows ファイアウォール	セキュリティが強化された Windows ファイアウォール
セキュリティが強化された Windows ファイアウォール	セキュリティが強化された Windows ファイアウォール
ネットワーク リスト マネージャー ポリシー	ネットワーク名、アイコム、および場所のグループ ポリシ...
公開キーのポリシー	公開キーのポリシー
ソフトウェアの制限のポリシー	ソフトウェアの制限のポリシー
アプリケーション制御ポリシー	アプリケーション制御ポリシー
IP セキュリティ ポリシー (ローカル コンピューター)	インターネット プロトコル セキュリティ (IPsec) 管理。ほ...
監査ポリシーの詳細な構成	監査ポリシーの詳細な構成

設定項目		NM-SVR	初期設定	
アカウント ポリシー	パスワードのポリシー	パスワードの有効期間	0 日	42 日
	アカウントロックアウト のポリシー	アカウントのロックアウトのしきい値	5 回ログオンに失敗	0 回ログオンに失敗
		ロックアウト カウントのリセット	30 分後	該当なし
		ロックアウト期間	99 分	該当なし
ローカル ポリシー	監視ポリシー	アカウント ログオンイベントの監査	失敗	監査しない
		システム イベントの監査	失敗	監査しない
		プロセス追跡の監査	失敗	監査しない
		ログオン イベントの監査	失敗	監査しない
	ユーザー権利の割り 当て	サービスとしてログオン	—	NT SERVICE ¥ALL SERVICES
		セキュリティ監査の生成	Administrators	LOCAL SERVICE NETWORK SERVICE
		ネットワーク経由でのアクセス	Administrators Users Backup Operators	Administrators Users Backup Operators Everyone
		バッチジョブとしてログオン	—	Administrators Backup Operators Performance Log Users
		プロセス レベル トークンの置き換え	—	LOCAL SERVICE NETWORK SERVICE
		ローカルでログオンを拒否する	—	—
	セキュリティ オプショ ン	シャットダウン: システムをシャットダウンするのにロ グオンを必要としない	有効	無効
		ネットワークセキュリティ: ログオン時間を経過した場合はユー ザーを強制的にログオフさせる	有効	無効

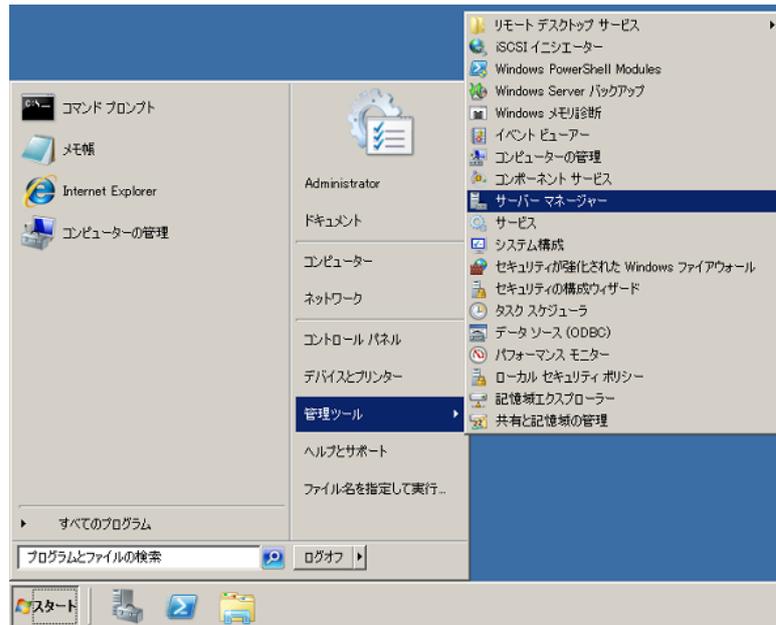
### 3.2.6 IIS (Internet Information Service) の追加

NM-WebOperator 機能を使用する場合のみ、IIS の機能を有効にしてください。  
NM-WebOperator 機能を使用しない場合は、本項の設定は必要ありません。

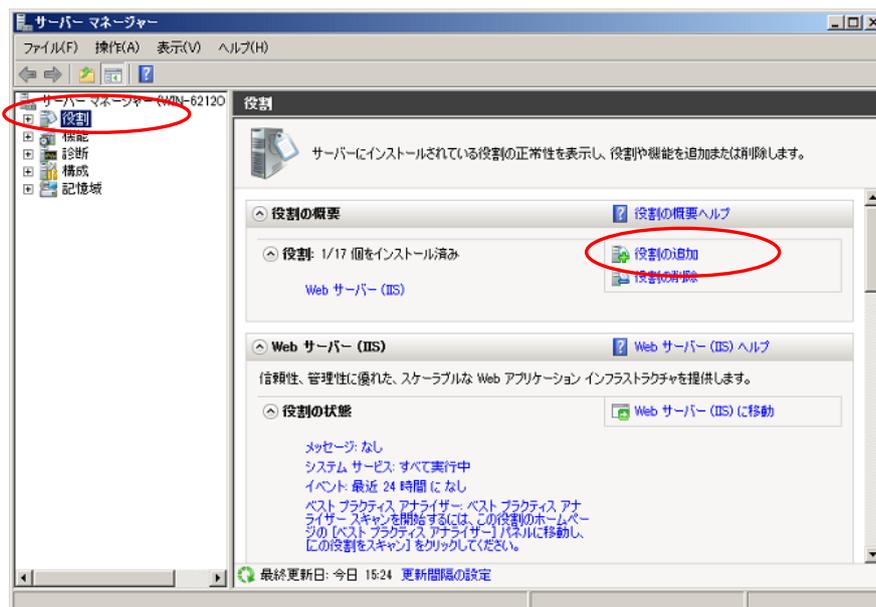


- Windows7 では、インストール時に自動で設定されるため、本項目の設定は必要ありません。

**STEP 1** 「スタート」→「管理ツール」→「サーバーマネージャー」を選択します。

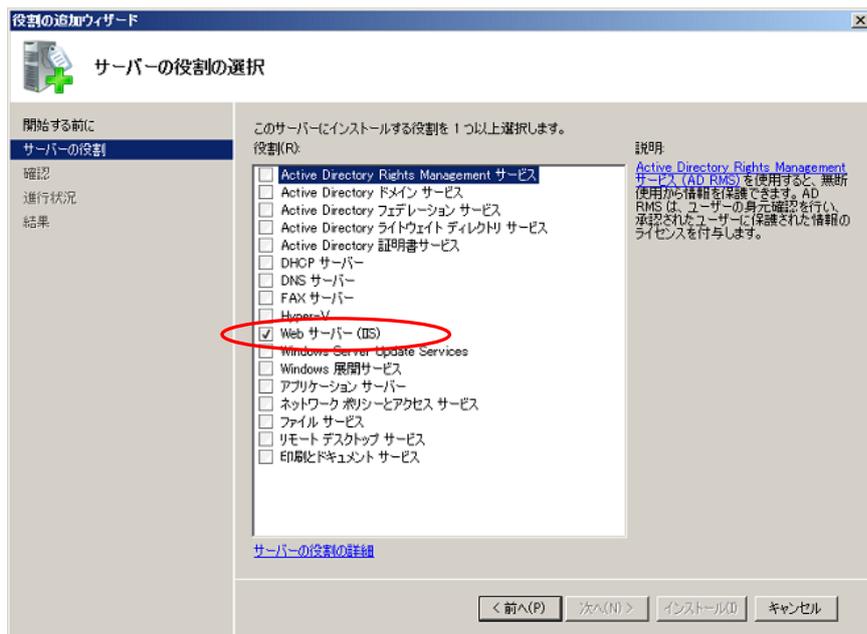


**STEP 2** サーバーマネージャー画面で、「サーバーマネージャー」の「役割」を選択して、「役割の追加」をクリックします。



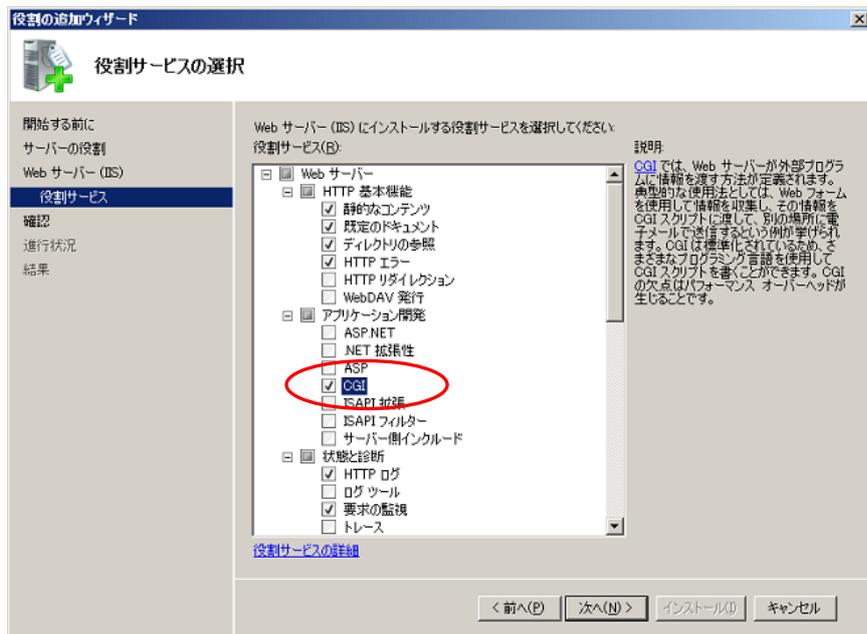
- 「役割の追加ウィザード」で「開始する前に」が表示された場合は、そのまま「次へ(N)」をクリックしてください。

**STEP 3** 「Web サーバー(IIS)」を選択してください。選択後、「次へ(N)」をクリックします。

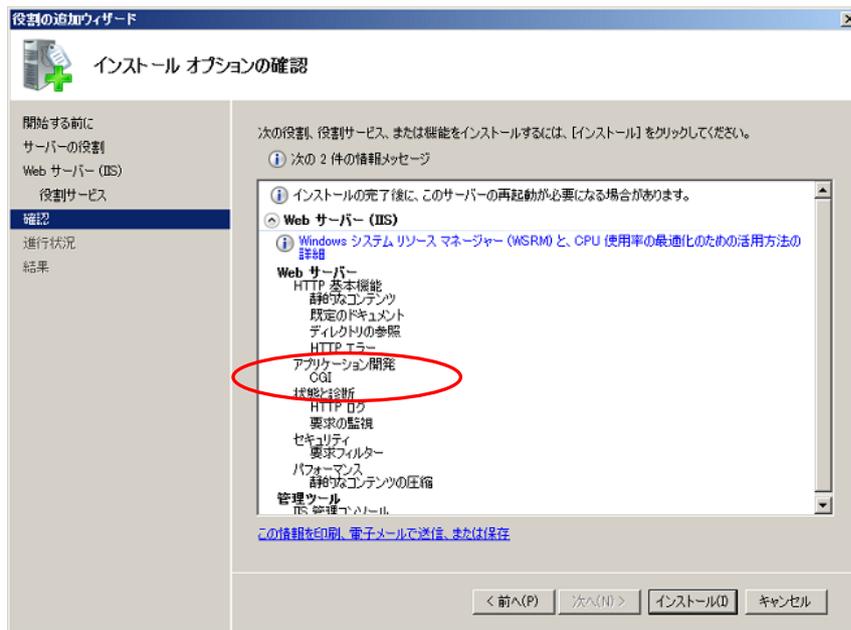


**STEP 4** 「Web サーバー(IIS)」の説明が表示されますので、そのまま「次へ(N)」をクリックします。

**STEP 5** 「アプリケーション」の「CGI」を選択してください。選択後、「次へ(N)」をクリックします。



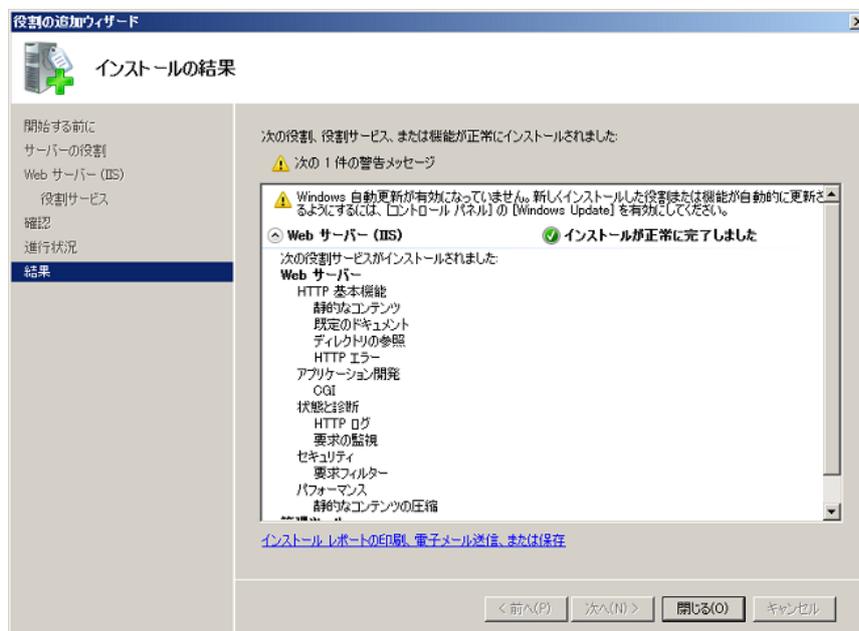
**STEP 6** インストールオプションの確認画面で、「Webサーバー」→「アプリケーション開発」の「CGI」が追加されていることを確認して「インストール(I)」をクリックしてください。



**STEP 7** インストールが始まり、数分で完了画面が表示されます。「Webサーバー(IIS)」が正常にインストールされたことを確認して、「閉じる(O)」をクリックします。



- WindowsUpdate の警告が表示されることがありますが、インストールには問題はありませんので、そのまま続行してください。



### 3.2.7 デスクトップエクスペリエンス機能の追加

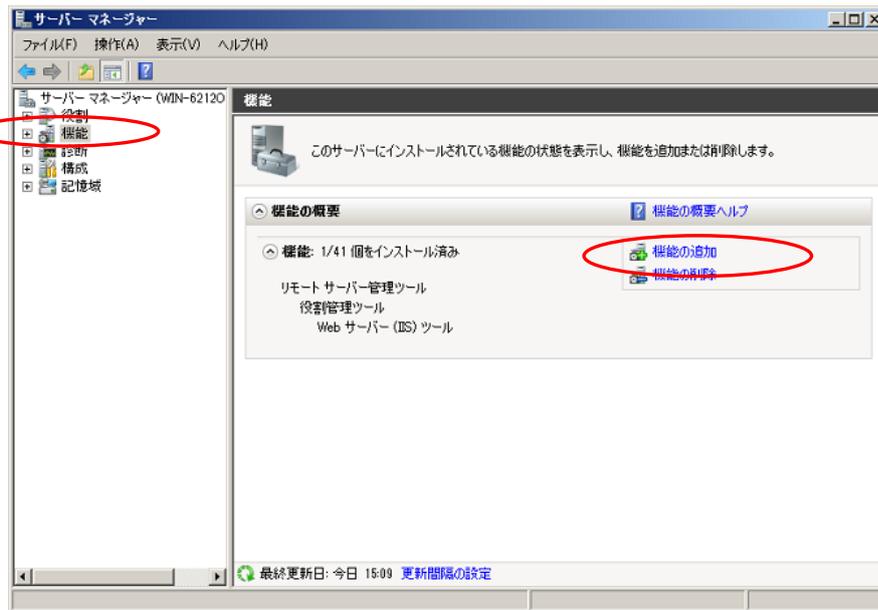
NM-WebOperator 機能を使用しない場合は、本項の設定は必要ありません。



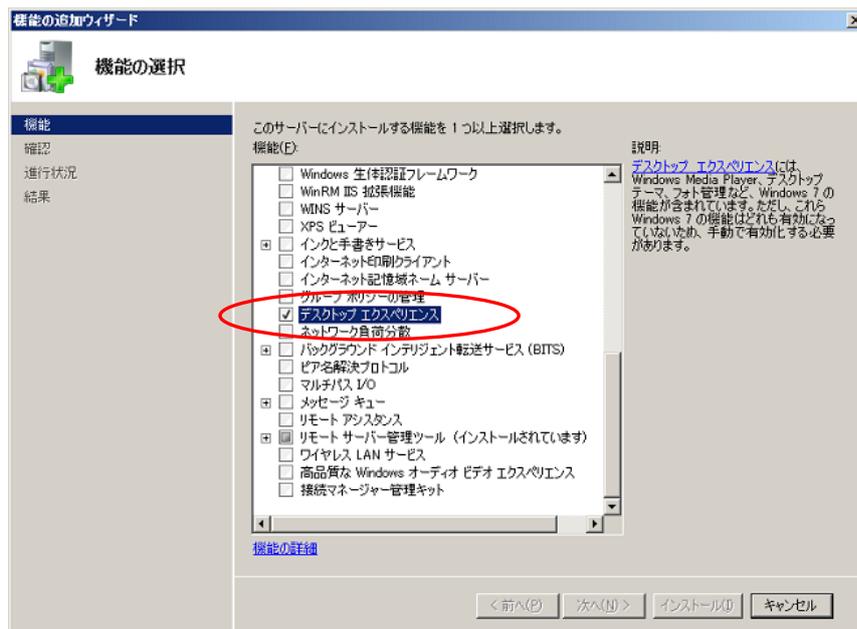
- Windows7 では、インストール時に自動で設定されているため、本項目の設定は必要ありません。

**STEP 1** 「スタート」→「管理ツール」→「サーバermaneージャー」を選択します。

**STEP 2** サーバermaneージャー画面で、「サーバermaneージャー」の「機能」を選択して、「機能の追加」をクリックします。

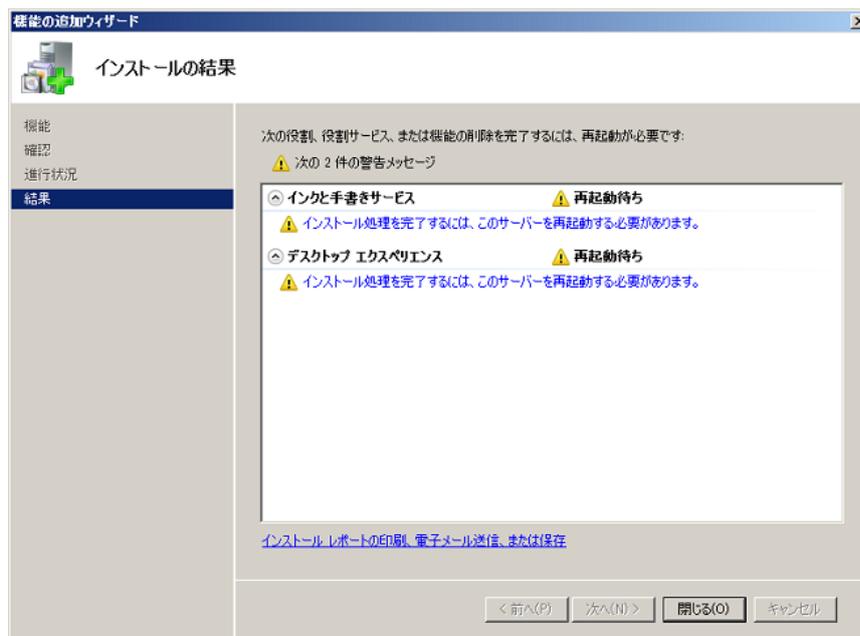


**STEP 3** 機能の追加ウィザード画面で「デスクトップエクスペリエンス」を選択してください。

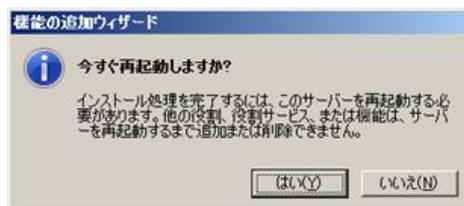




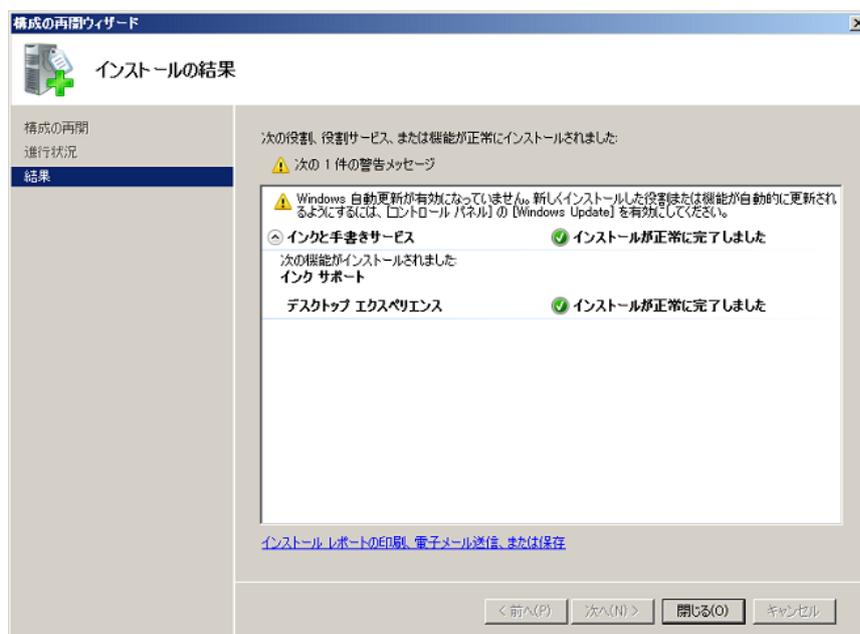
**STEP 7** インストールが始まり、数分で結果画面(再起動待ち)が表示されますので、「閉じる(O)」をクリックします。



**STEP 8** 再起動の確認画面が表示されますので、「はい(Y)」をクリックします。



**STEP 9** 再起動後にインストールが始まり、正常に終了するとインストール結果が表示されます。「デスクトップエクスぺリエンス」が正常にインストールされたことを確認して、「閉じる(O)」をクリックします。



### 3.2.8 ウイルス対策機能設定

本ソフトウェアではウイルス対策ソフトと共存した場合の検証を行っていないため、ウイルス対策ソフトの導入によって予期しないエラーが生じる可能性があります。そのため、導入には事前検証が必要になります。その他の詳細設定は、設置先の環境に依存しますので、ネットワーク責任者にお問い合わせください。

### 3.2.9 ファイアウォール機能設定

本システムの運用上、センター内のファイアウォールの設定は必須ではありません。セキュリティを向上させるため、ファイアウォールを設定する場合は、下表に示す通信を許可するよう設定してください。設定時にはIPアドレスやポート番号を、インストール時に設定した内容に合わせてください。

通信の種類	NM-SVR	I/O	NM-OPE
OPE 通信用ポート	10012	←	不定
PRD1 型通信用ポート	50005	←	不定
PRD2 型通信用ポート	50006	←	不定
リモートコマンドポート	30438	←	不定
ネットワークドライブ	139	←	不定

通信の種類	NM-SVR	I/O	全端末
PV 通信用ポート	30435	←	不定
FTP 通信用ポート	30437	←	不定

通信の種類	NTP サーバー	I/O	全端末
NTP サーバー用ポート	123	←	123

※インストーラーで NTP サーバーによる時刻補正を設定した場合のみ必要です。

通信の種類	Web 操作	I/O	Web 操作 PC
HTTP	80	←	不定

通信の種類	Web 操作	I/O	タブレット端末
HTTP	80	←	不定
HTTP(ダウンロード用)	8080	←	不定

### 3.3 NM-SVR のインストール

NM-SVR のインストールを、以下の手順で行います。



- インストールには.NET Framework が必要です。.NET Framework がインストールされていない端末に NM-SVR をインストールする場合、インストール途中に.NET Framework のインストーラーが起動しますので、画面の指示に従ってインストール処理を実行してください。
- 初回以降の新規インストール時に、NM-SVR フォルダ(以前の環境)が残っている場合は、NM-SVR フォルダを削除し、インストールを実行してください。

**STEP 1** NM-SVR の CD-ROM を CD ドライブに挿入すると以下の画面が自動的に表示されます。この画面の Install NM-SVR の「Install」ボタンをクリックしてください。



- Windows Server 2008 または、Windows7 において、インストーラー起動時に、ユーザーアカウント制御の許可画面が表示された場合、「はい(Y)」をクリックしてください。



**STEP 2** インストール準備が終了すると、以下の画面が表示されます。実行中のプログラム等があれば終了させてから「次へ」をクリックしてください。



**STEP 3** ソフトウェア使用許諾契約書の内容をご確認の上、「はい」をクリックしてください。



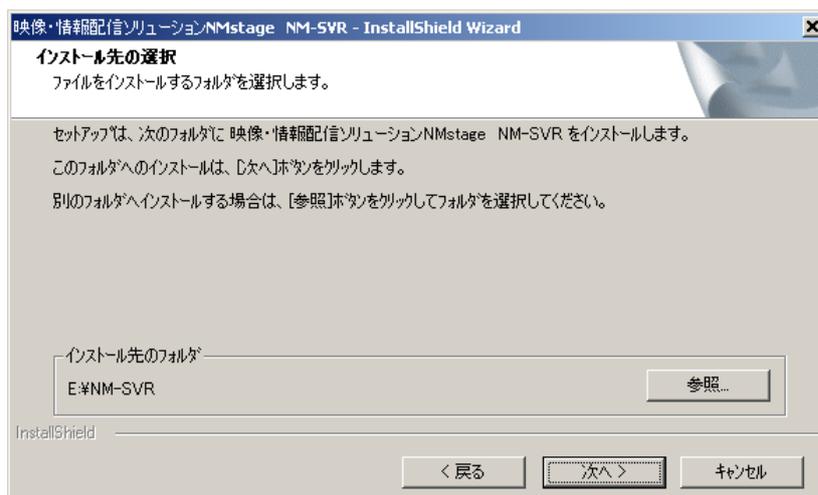
**STEP 4** 購入先より発行されたライセンスコードを半角 24 文字、管理サーバーのユーザコードと端末 ID を半角英数字 4 文字 (半角英字は大文字) で入力し、「次へ>」をクリックしてください。



**STEP 5** 接続可能な台数を確認して、「OK」をクリックしてください。



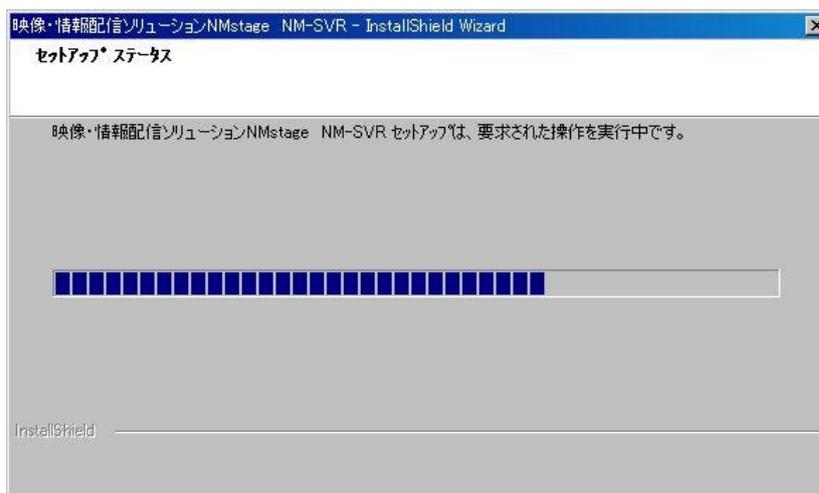
**STEP 6** インストール先のフォルダを選択します。インストール先を確認し、「次へ」をクリックしてください。



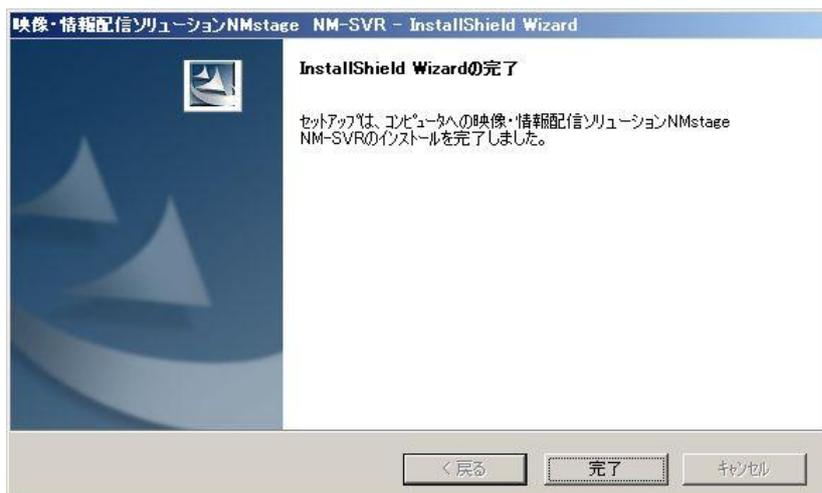
**STEP 7** インストールを開始します。「インストール」をクリックしてください。



**STEP 8** 以下の画面が表示されインストールが実行されます。何も操作を行わないでください。次画面の表示までは数分間かかる場合があります。



**STEP 9** 以上でインストール完了です。「完了」をクリックしてください。  
設定変更ツールが起動されますので、引き続き、環境設定を行ってください。



**STEP 10** NM-SVR の情報設定を行います。以下を参考に情報を入力し、「次へ(N)」をクリックしてください。



- 必要があれば「アドバンス設定」をチェックし、全項目の設定が可能ですが、通常は初期値で構いません。

入力項目	解説
サーバーの IP	管理サーバーの IP アドレス
リモートコマンドポート	管理サーバーと操作端末間の通信ポート番号
NM-OPE 通信用ポート	同上
PRD1 型通信用ポート	同上
PRD2 型通信用ポート	同上
PV 通信用ポート	管理サーバーと端末間の通信ポート番号
FTP 通信用ポート	FTP サーバーと端末間の通信ポート番号

**STEP 11** 時刻補正時に参照する NTP サーバーのアドレス、またはホスト名を入力し、「次へ(N)」をクリックしてください。NTP サーバーがない場合は初期値を適用してください。

NM-SVR 初期設定

### NTPサーバー情報設定

NTP(時刻補正)サーバーに関する情報を入力して下さい。

ヒント: NTPサーバーがない場合は初期設定の値を適用して下さい。

アドレス1:

戻る(B) 次へ(N) キャンセル(C)

**STEP 12** 管理サーバーのユーザコードを半角英数字 4 文字(半角英字は大文字)と、ユーザ名(任意)を入力し、「次へ(N)」をクリックしてください。ユーザコードを管理サーバー専用にする場合は「サーバー専用」にチェックしてください。



- サーバー専用の設定が行われているユーザでは、操作端末による操作範囲が端末監視、端末登録画面のみに制限されます。本 STEP 実施の際には、最低 1 ユーザは「サーバー専用」ではないユーザを登録して下さい。



- 複数のユーザを登録し、コンテンツやスケジュールなどすべての情報をユーザ毎に別管理することが可能です。ASP サービスを行うような場合に使用しますが、通常運用ではユーザを複数登録する必要はありません。

NM-SVR 初期設定

### ユーザ情報設定

ユーザコード(英数字4桁)とユーザ名を入力して下さい。

ヒント: ユーザとは?

ユーザコード	ユーザ名	サーバー専用
SV01	NMUser	<input type="checkbox"/>

追加(A) 削除(D)

戻る(B) 次へ(N) キャンセル(C)

**STEP 13** アカウント情報の設定を行います。アカウントとは、操作端末でログインする名前です。必要があれば、編集を行ってください。編集が完了したら「次へ(N)」をクリックします。



- 操作端末のアカウント毎に権限を設定することが可能です。以下の画面を操作することが可能です。  
 管理者：すべての機能画面  
 編集者：コンテンツ、プレイリスト、スケジュール、カレンダー、配信管理、ログ参照画面  
 監視者：端末監視画面のみ

**STEP 14** 同時配信設定を行います。

入力項目	解説
複数端末へ同時に配信する際の上限数に規定の値を用いる。	チェックしていると、同時配信数を10端末に固定します。使用帯域によって、同時配信を行う端末数を自動調整し、効率よく配信する場合は、チェックをはずしてください。
ネットワークインスタンス名	使用しているインスタンス名を選択してください。
上限帯域	帯域を設定する場合は、入力してください。

- STEP 18** 祝日を登録する年を選択し、「追加」をクリックしてください。追加された空欄行に、祝日に設定する日を設定します。「毎年」にチェックすると、対象の祝日設定が10年後まで反映されます。「対象年」を選択し、「前年度複写」をクリックすると、前年の設定が複写されます。

対象年:	2007	祝日(M/D)	毎年
		1/1	<input checked="" type="checkbox"/>
		1/8	<input type="checkbox"/>
		2/12	<input type="checkbox"/>
		3/21	<input type="checkbox"/>
		4/30	<input type="checkbox"/>
		5/3	<input type="checkbox"/>
		5/4	<input type="checkbox"/>
		5/5	<input type="checkbox"/>
		7/16	<input type="checkbox"/>

- STEP 19** 「保存(S)」をクリックしてください。保存の確認メッセージが表示されますので、「OK」をクリックしてください。

- STEP 20** 以下のメッセージが表示されますので、NM-SVR を起動する場合は、「はい」を後で起動する場合は、「いいえ」をクリックしてください。

- !** ● NM-WebOperator 機能をインストールする場合は、再起動せずに NM-WebOperator 機能のインストールを行ってください。

### 3. 4 NM-WebOperator 機能のインストール

NM-WebOperator 機能のインストールを、以下の手順で行います。



- NM-WebOperator 機能を使用する場合は、Windows Server 2008 R2 または、Windows 7 Professional(64bit 版)へインストールしてください。

**STEP 1** インストールメニュー画面から、Install NM-WebOPE の「Install」ボタンをクリックしてください。



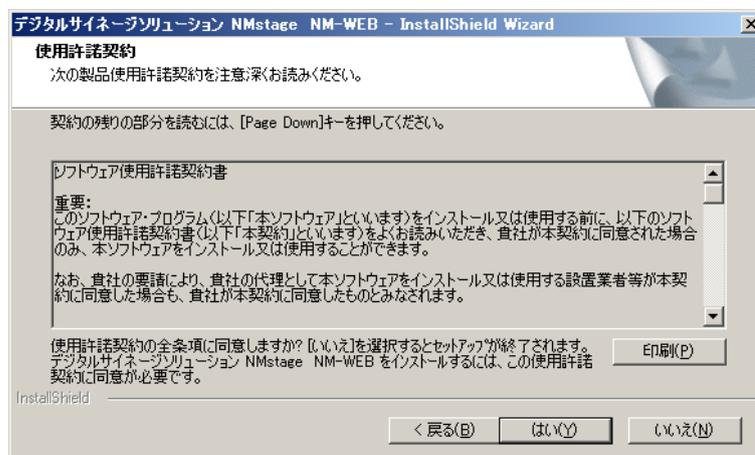
- インストーラー起動時に、ユーザーアカウント制御の許可画面が表示された場合、「はい」をクリックしてください。

**STEP 2** VC9.0 ランタイムのインストール画面が表示された場合、「OK」をクリック後、画面の案内に従って、VC9.0 ランタイムのインストールを行ってください。



- Windows7 の場合、VC9.0 ランタイムのインストール画面が表示されないことがあります。

**STEP 3** ソフトウェア使用許諾契約書の内容をご確認の上、「はい」をクリックしてください。



**STEP 4** インストールが始まり、数分で完了します。再起動確認が表示されますので、「はい、今すぐコンピューターを再起動します。」を選択されていることを確認して、「完了」をクリックし、再起動を行います。



**STEP 5** 引き続き、設定変更ツールを起動し、環境設定を行います。設定変更ツールの詳細については、「取扱説明書 NM-WebOperater 編」を参照してください。ここでは、要点のみ説明します。Windows の「スタート」→「すべてのプログラム」→「NMstage」→「NM-WEB 設定変更」の順に選択します。



- STEP 6** Web 操作のログインアカウントを編集します。「アカウント」タブをクリックします。「NM コントローラー」用、および、「NM タブレット」用のアカウントについて、必要に応じて、追加を行ってください。

ID	パスワード	端末グループ	タブレット
admin	*****	NMコントローラユーザー	<input type="checkbox"/>
nmstage	*****	NMコントローラユーザー	<input type="checkbox"/>
controller1	*****	NMコントローラ1	<input type="checkbox"/>
controller2	*****	NMコントローラ2	<input type="checkbox"/>
tablet1	*****	NMタブレット	<input checked="" type="checkbox"/>
tablet2	*****	NMタブレット	<input checked="" type="checkbox"/>
tablet3	****	NMタブレット	<input checked="" type="checkbox"/>



- 作成した NM コントローラー用の一つのアカウント ID で、そのアカウントに設定された端末グループに所属する端末の操作が可能となります。
- NM タブレット用のアカウントでは、登録されている NM タブレット全ての操作が可能となります。
- 登録済みのアカウントは、後からでもパスワードと端末グループの変更が可能です。詳細については、「取扱説明書（操作編）」を参照してください。



- 登録済アカウントは、利用者共通で使用可能であるため、不正使用された場合、利用者を特定することができません。アカウントの管理に当たっては、漏洩しないよう適切に管理してください。

- STEP 7** 端末グループの解像度を設定します。「解像度」タブをクリックします。該当する端末グループの解像度をプルダウンリストから選択してください。

端末グループ	解像度
端末グループ-1	1920x1080
端末グループ-2	1366x768
	1920x1080

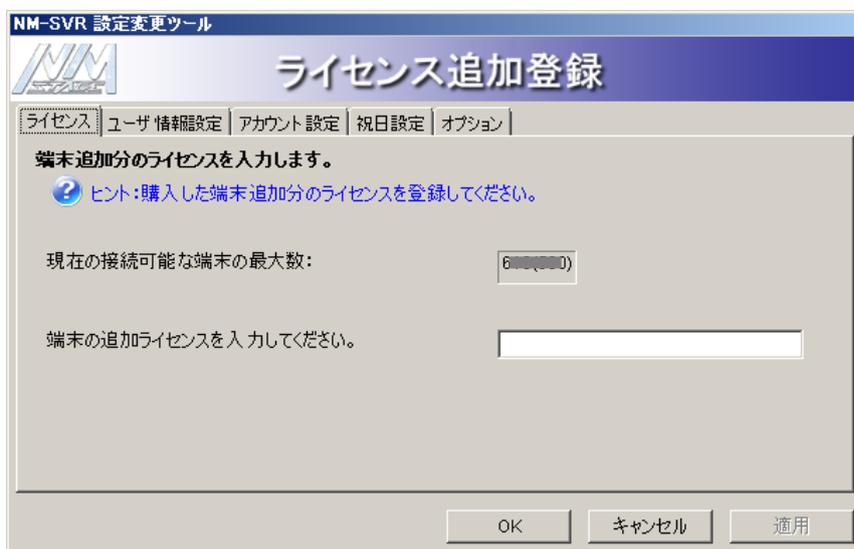
- STEP 8** 設定が完了したら、「OK」をクリックしてください。

**STEP 9**

タブレット端末を NM プレーヤーとしてご利用いただく場合は、NM タブレットプレーヤーライセンスを管理サーバーに登録する必要があります。タブレット端末をご使用にならない場合は、本設定は不要です。

Windows の「スタート」→「すべてのプログラム」→「NMstage」→「NM-SVR 設定変更」の順に選択し、NM-SVR 設定変更ツールを起動します。

端末の追加ライセンス入力ボックスに NM タブレットプレーヤーライセンスを入力し、「適用」ボタンをクリックしてください。



- NM タブレットプレーヤーライセンスが管理サーバーに登録されると「現在の接続可能な端末の最大数」に“管理サーバー全体の端末数(タブレット端末の接続可能台数)”として表示されます。

例)

100(30)の場合 : NM コントローラー+タブレット端末の接続可能台数が 100 台、  
その内タブレット端末の接続可能台数が 30 台を意味します。

**STEP 10**

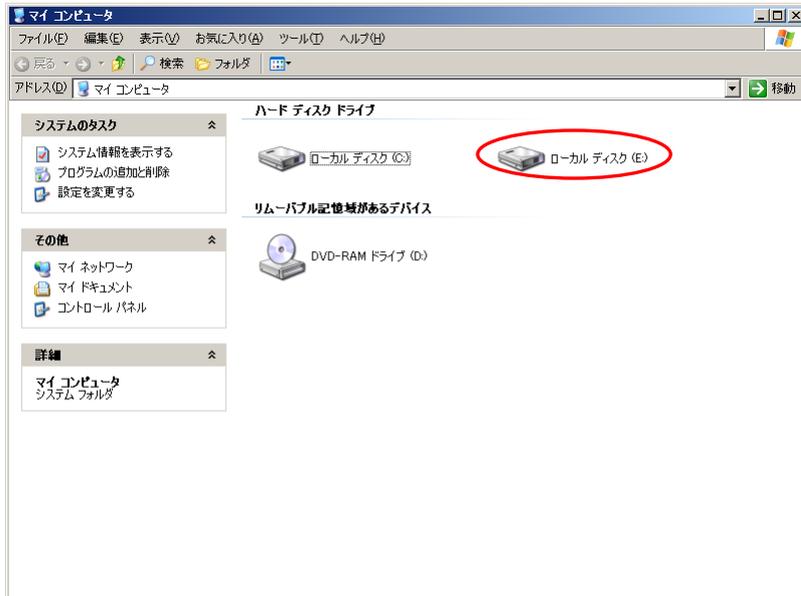
設定が完了したら、「OK」をクリックしてください。

## 3.5 フォルダ共有設定

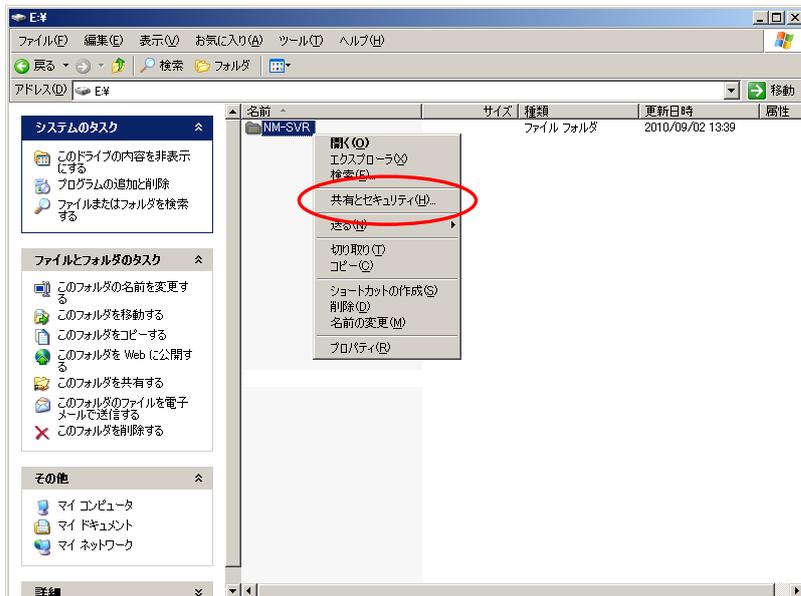
NM-SVR のインストールフォルダは操作端末からも参照されます。以下の手順で共有設定を行ってください。

### 3.5.1 Windows Server 2003 (Windows XP) の場合

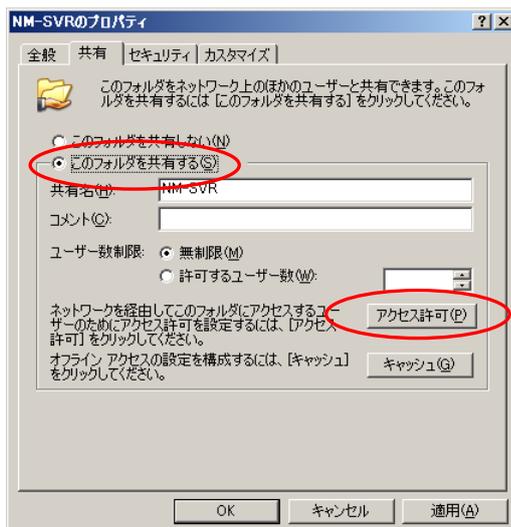
**STEP 1** 「スタート」→「マイ コンピュータ」を選択、「ローカル ディスク (E:)」をダブルクリックして、「NM-SVR」のフォルダを表示します。



**STEP 2** 「NM-SVR」のフォルダの右クリックメニューから、「共有とセキュリティ(H)」を選択します。

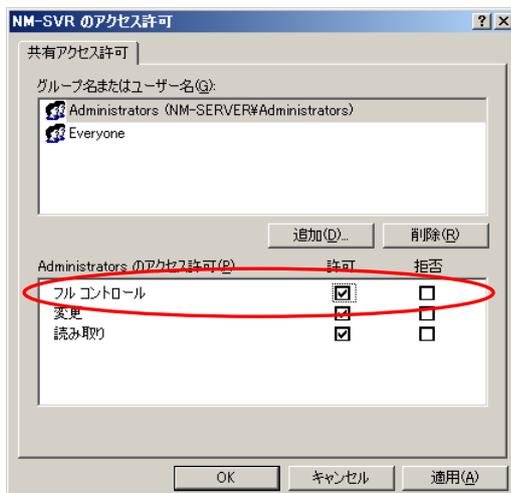


**STEP 3** 「このフォルダを共有する(S)」をチェックし、「アクセス許可(P)」をクリックします。



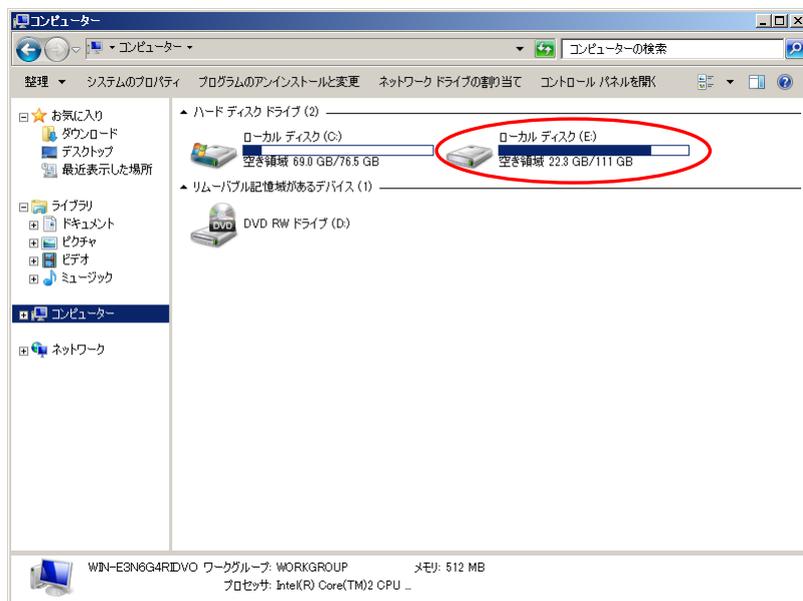
- Windows XPにて上記の画面が表示されない場合は、以下の手順で設定してください。エクスプローラの「ツール(T)」→「フォルダオプション(O)」→「表示」タブを選択→「簡易ファイルの共有を使用する(推奨)」のチェックを外す。

**STEP 4** 「Administrators」を追加し、フルコントロールを許可してください。必要があれば、NM-SVRの環境に合わせて、操作端末から参照可能なよう設定してください。

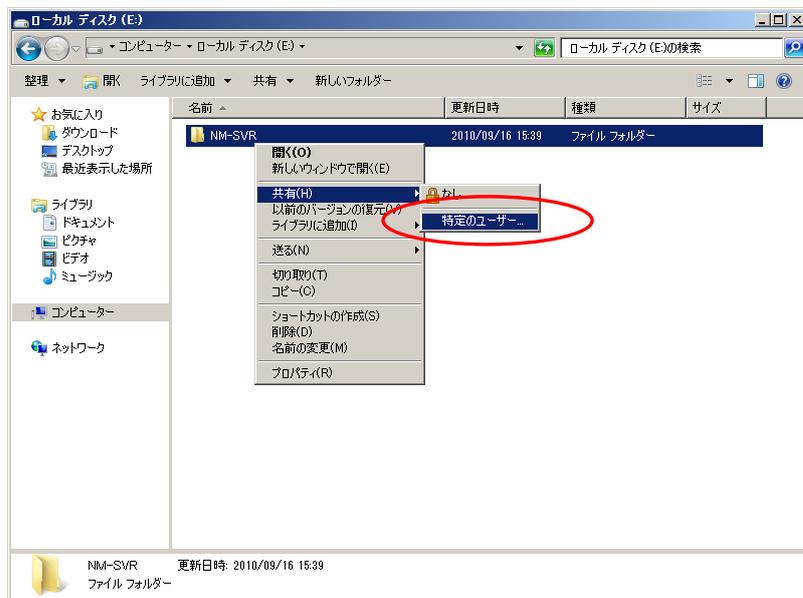


### 3.5.2 Windows Server 2008 (Windows 7) の場合

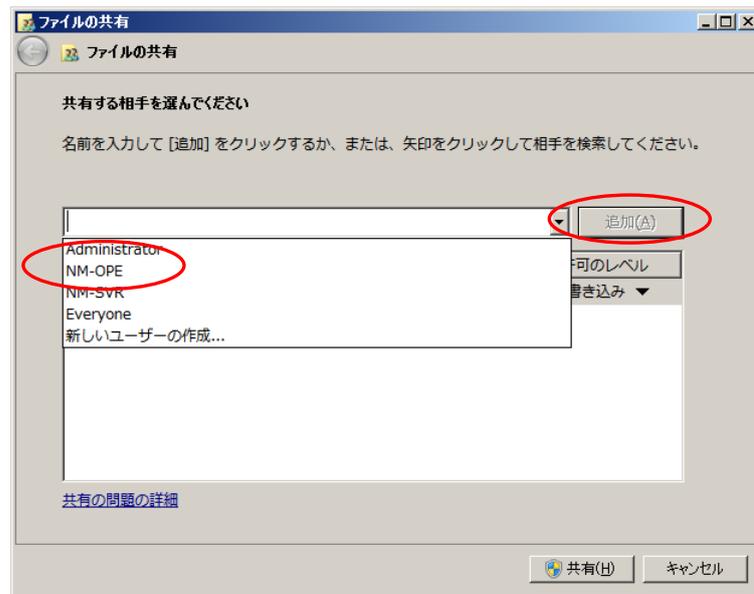
**STEP 1** 「スタート」→「コンピュータ」を選択、「ローカル ディスク (E:)」をダブルクリックして、「NM-SVR」のフォルダを表示します。



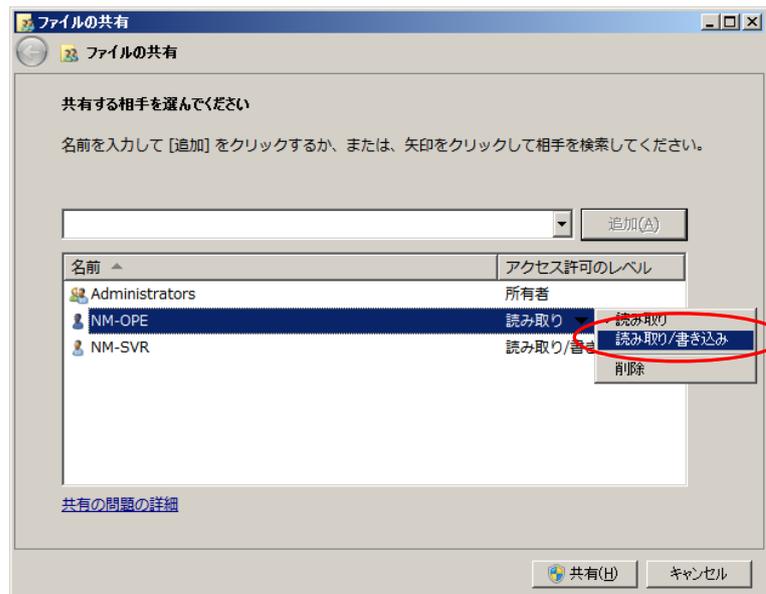
**STEP 2** 「NM-SVR」のフォルダの右クリックメニューから、「共有(H)」→「特定のユーザー...」を選択します。



**STEP 3** 【3.2.3ログオンユーザーの追加】で追加した、NM-OPE リモートアクセス用ログオンユーザーを選択し、「追加(A)」をクリックします。



**STEP 4** 追加したユーザーにカーソルを合わせ、右クリックメニューから、「読み込み/書き込み」を選択してください。設定が完了したら、「共有(H)」をクリックします。



## 4 操作端末のインストール



- NM-SVRとNM-OPEを同一マシンにインストールする場合、NM-SVRの設定と重複する項目の設定は必要ありません。セキュリティポリシーは、ご利用になる OS に合わせて設定を行ってください。

## 4.1 Windows XP Professional へのインストール

Windows XP Professional インストール手順の詳細については「Windows XP Professional ファーストステップガイド」やその他関連ドキュメントを参照してください。ここでは、要点のみ説明します。



- 必ず、新規インストールを行ってください。他の OS からのアップグレード等を行った場合、正常に動作しない場合があります。
- 以降の各種設定は、Administrators 権限を持つユーザーで Windows にログオンして行ってください。
- OS、および各種ソフトウェアの動作が本書の内容と異なる場合、本書記載内容に準じた設定を行ってください。またご不明な点は、当該ソフトウェアの購入先にお問い合わせください。不明点はソフトウェアのマニュアルをご確認ください。

### 4.1.1 プラグインソフトウェアのインストール

プラグインソフトウェアを必要に応じてインストールし、インストール完了後に正常動作をご確認ください。インストール方法は各ソフトウェアの取扱説明書等をご参照ください。

- Adobe Flash Player

Adobe Flash 形式(拡張子 .swf )で作成されたコンテンツのプレビューに必要です。尚、左記コンテンツをご利用にならない場合、インストールは不要です。

Adobe Systems Incorporated のホームページにアクセスし、ダウンロードします。

Adobe Flash Player のムービーを再生し、インストールの完了をご確認ください。

- MPEG2 デコーダソフト

動画(拡張子 .Mpeg .Mpg)コンテンツの再生時間取得・プレビュー・サムネイル作成に必要です。

ご購入された商品の付属マニュアルをご参照ください。

動画を再生し、インストールの完了をご確認ください。

- PowerPoint Viewer

PowerPoint のスライドショー形式(拡張子 .pps)で作成されたコンテンツのフレームプレビューに必要です。尚、左記コンテンツをご利用にならない場合、インストールは不要です。

PowerPoint Viewer は Microsoft Corporation のホームページにアクセスし、ダウンロードします。

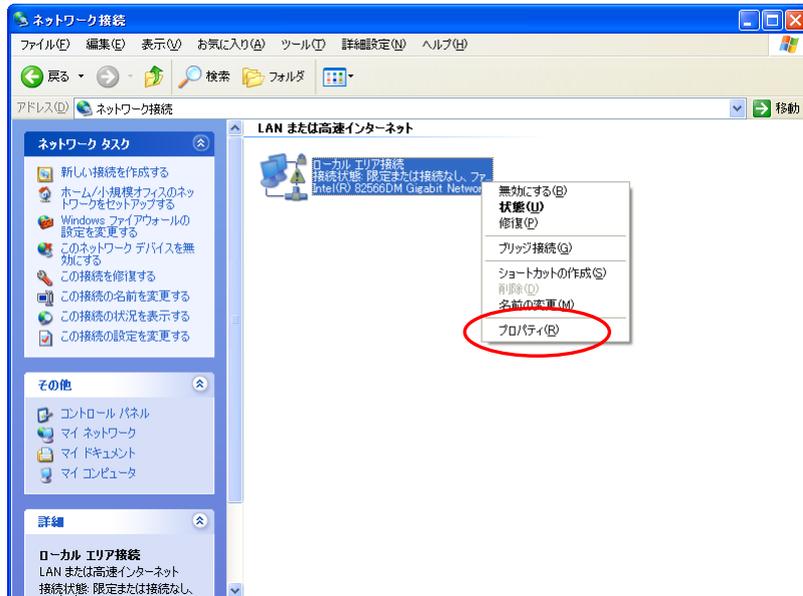
パワーポイントスライドショーを再生し、インストールの完了をご確認ください。

## 4.1.2 ネットワークの設定

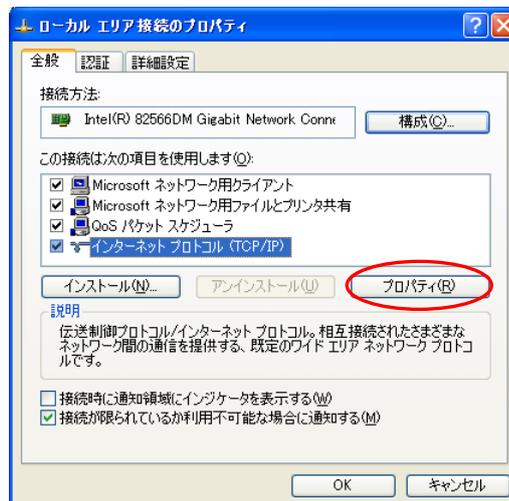
ネットワークの設定を、以下の手順で行ってください。

**STEP 1** 「スタート」→「コントロール パネル(C)」を選択し、「ネットワークとインターネット接続」→「ネットワーク接続」の順にクリックします。

**STEP 2** 「ローカル エリア接続」にカーソルを合わせ、右クリックメニューから、「プロパティ(R)」を選択します。

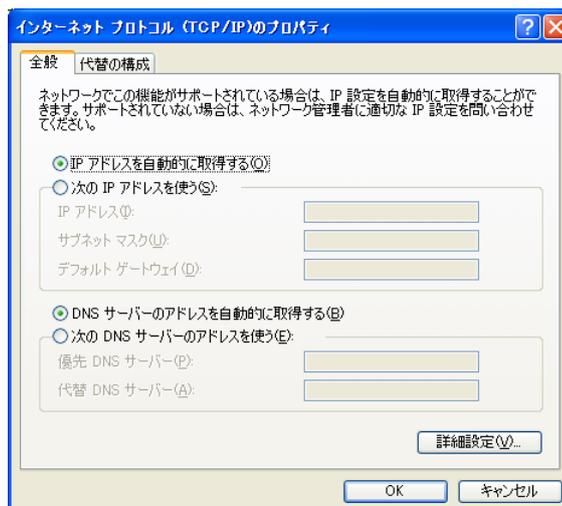


**STEP 3** 「全般」タブを表示し、「インターネット プロトコル (TCP/IP)」を選択し、「プロパティ(R)」をクリックします。



**STEP 4** 「インターネット プロトコル (TCP/IP)のプロパティ」で以下の設定を行ってください。  
設定が完了したら、「OK」をクリックします。

- 固定 IP を使用する場合  
「次の IP アドレスを使う(S)」を選択し、以下の項目を入力します。  
IP アドレス(I) : NM-OPE の IP アドレス  
サブネットマスク(U) : NM-OPE が接続されている環境のサブネットマスク  
デフォルトゲートウェイ(D) : ルーターの IP アドレス
- DHCP サーバーで自動的に付与する場合  
DHCP サーバーに接続されている環境下では、以下の設定でも動作が可能です。  
IP アドレス(I) : IP アドレスを自動的に取得する



### 4.1.3 セキュリティポリシーの設定

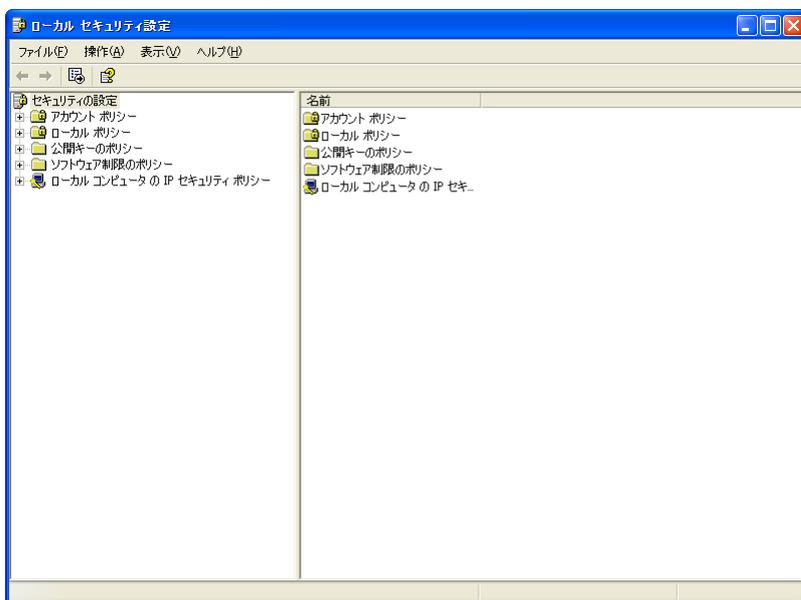
Windows XP Professional のセキュリティ設定を、以下の手順で行ってください。

本システムの運用上、本項の設定は必須ではありませんが、セキュリティ向上のため以下の設定を推奨しております。ただし、NM-OPE 起動用ログオンユーザーの所属グループを「Users」に設定する場合、【4.1.7システム時刻変更のポリシー設定】の設定は必須です。

**STEP 1** 「スタート」→「コントロール パネル(C)」を選択し、「パフォーマンスとメンテナンス」→「管理ツール」の順にクリックします。

**STEP 2** 「ローカルセキュリティポリシー」をダブルクリックします。

**STEP 3** セキュリティポリシーの各項目を設定します。  
次ページ以降に示す表に沿って、セキュリティポリシーの設定を行ってください。  
表には設定値に変更のある項目のみ記載しております。



設定項目		NM-OPE	初期設定	
アカウント ポリシー	パスワード のポリシー	パスワードの有効期間	0 日	42 日
	アカウント ロックアウト のポリシー	アカウントのロックアウトのしきい値	5 回ログオンに失敗	0 回ログオンに失敗
		ロックアウト カウントのリセット	30 分後	該当なし
		ロックアウト期間	99 分	該当なし
ローカル ポリシー	監視ポリシ ー	アカウント ログオンイベントの監査	失敗	成功
		システム イベントの監査	失敗	監査しない
		プロセス追跡の監査	失敗	監査しない
		ログオン イベントの監査	失敗	成功
	ユーザー権 利の割り当 て	サービスとしてログオン	—	NETWORK SERVICE ASP.NET
		システム時刻の変更	Administrators Power Users Users	Administrators Power Users
		セキュリティ監査の生成	Administrators	LOCAL SERVICE NETWORK SERVICE
		ドッキング ステーションからコンピュ ータを削除	Administrators Power Users Users	Administrators Power Users
		バッチジョブとしてログオン	—	LOCAL SERVICE SUPPORT__388945a0
		プロセス レベル トークンの置き換え	—	LOCAL SERVICE NETWORK SERVICE
		ローカルでログオンを拒否する	—	SUPPORT__388945a0
	セキュリティ オプション	システムオブジェクト: Administrator グループのメンバーによ って作成されたオブジェクトの既定の 所有者	Object creator	Administrators Group
		シャットダウン: システムをシャットダウンするのにログ オンを必要としない	有効	無効
		ネットワークセキュリティ: ログオン時間を経過した場合はユーザ ーを強制的にログオフさせる	有効	無効

#### 4.1.4 ウイルス対策機能設定

本ソフトウェアではウイルス対策ソフトと共存した場合の検証を行っていないため、ウイルス対策ソフトの導入によって予期しないエラーが生じる可能性があります。そのため、導入には事前検証が必要になります。その他の詳細設定は、設置先の環境に依存しますので、ネットワーク責任者にお問い合わせください。

#### 4.1.5 ファイアウォール機能設定

本システムの運用上、センター内のファイアウォールの設定は必須ではありません。セキュリティを向上させるため、ファイアウォールを設定する場合は、下表に示す通信を許可するよう設定してください。IP アドレス、ポート番号は、インストール時に設定した内容に合わせてください。設定方法は以下の通りです。

通信の種類	NM-SVR	I/O	NM-OPE
OPE 通信用ポート	10012	←	不定
PRD1 型通信用ポート	50005	←	不定
PRD2 型通信用ポート	50006	←	不定
リモートコマンドポート	30438	←	不定
ネットワークドライブ	139	←	不定

通信の種類	NTP サーバー	I/O	全端末
NTP サーバー用ポート	123	←	123

※ インストーラーで NTP サーバーによる時刻補正を設定した場合のみ必要です。



- 警告ウィンドウが表示される場合、以下の手順でセキュリティセンターのファイアウォール対策設定を変更してください。  
「スタート」→「コントロール パネル(C)」→「セキュリティセンター」の順にクリック、「ファイアウォール」エリアの「推奨される対策案(R)」をクリック、「自分でファイアウォール対策を行い、管理します(I)」にチェックし、「OK」をクリック。

#### 4.1.6 ログオンユーザーの追加

NM-OPE 起動用のログオンユーザーを追加する必要があります。以下の手順で行ってください。



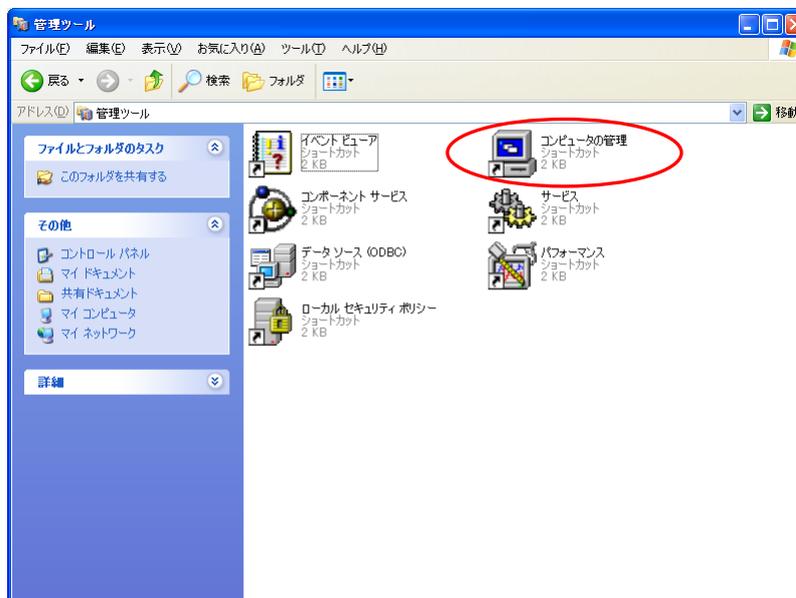
- NM-SVR と NM-OPE を同一マシンにインストールする場合、本項目は必要ありません。

#### ■ 追加するユーザーと所属するグループ

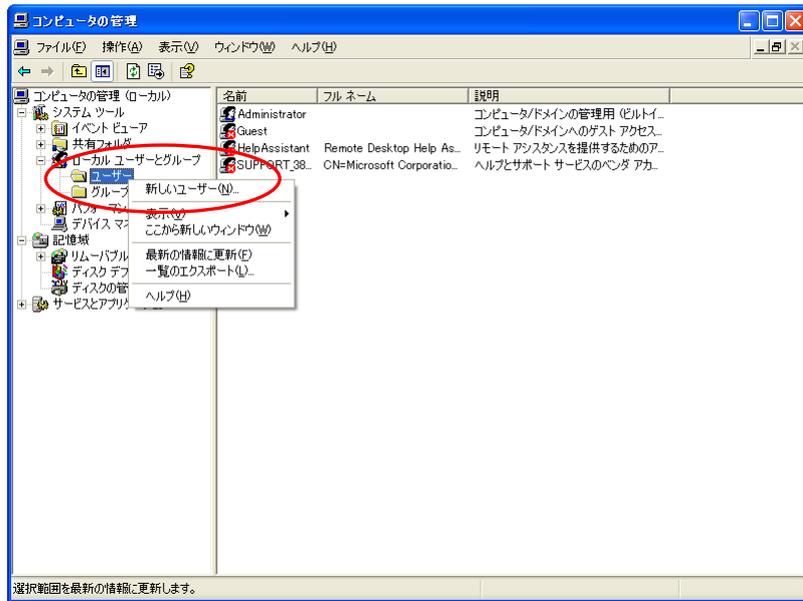
ユーザー	所属グループ	条件
NM-OPE 起動用ログオンユーザー (例: NM-OPE)	Users	NM-SVR・NM-FTP サーバーのリモートアクセス用ログインユーザーと同じ名前・パスワードに設定してください。

**STEP 1** 「スタート」→「コントロール パネル(C)」を選択し、「パフォーマンスとメンテナンス」→「管理ツール」の順にクリックします。

**STEP 2** 「コンピュータの管理」をダブルクリックします。



**STEP 3** 「ローカル ユーザーとグループ」→「ユーザー」にカーソルを合わせ、右クリックメニューから、「新しいユーザー(N)」を選択します。



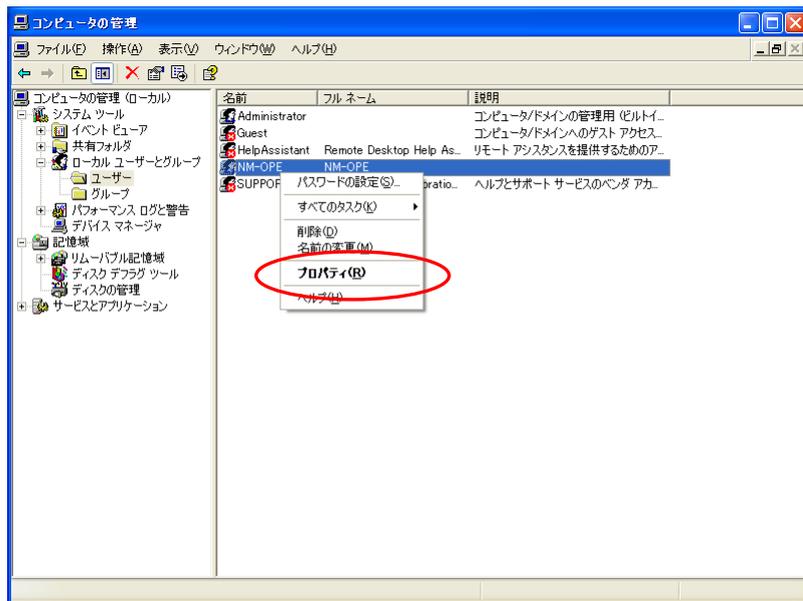
**STEP 4** 「ユーザー名(U)」、「パスワード(P)」を入力し、「パスワードを無期限にする(W)」のみチェックを入れ、「作成(E)」をクリックしてください。作成が完了したら、「閉じる」をクリックします。



- 「フル ネーム(F)」、「説明(D)」は必要に応じて適宜入力します。
- ユーザー名、パスワードは「追加するユーザーと所属するグループ」の条件を考慮して設定し、関係者に通知してください。

The 'New User' dialog box is shown. The 'User name (U):' field contains 'NM-OPE'. The 'Password (P):' and 'Confirm password (C):' fields both contain '\*\*\*\*\*'. The checkbox 'Password never expires (W)' is checked and circled in red. Other checkboxes include 'User must change password at next logon (M)', 'User cannot change password (S)', and 'Account disabled (D)'. The 'Create (E)' and 'Close (Q)' buttons are at the bottom.

**STEP 5** 新しく作られたユーザーにカーソルを合わせ、右クリックメニューから、「プロパティ(R)」を選択します。



**STEP 6** 「所属するグループ」タブを選択し、「追加するユーザーと所属するグループ」の表を参考にして、所属するグループを設定してください。設定が完了したら、「OK」をクリックします。



#### 4.1.7 システム時刻変更のポリシー設定

NM-OPE 起動用ログオンユーザーは「Users」グループに所属しており、ログオンユーザー追加直後の状態ではシステム時刻変更の権限を持ちません。この状態では時刻補正プログラムが正しく動作せず、システムの運用に支障を生じる可能性がありますので、システム時刻変更のポリシーだけ他とは異なる設定にします。

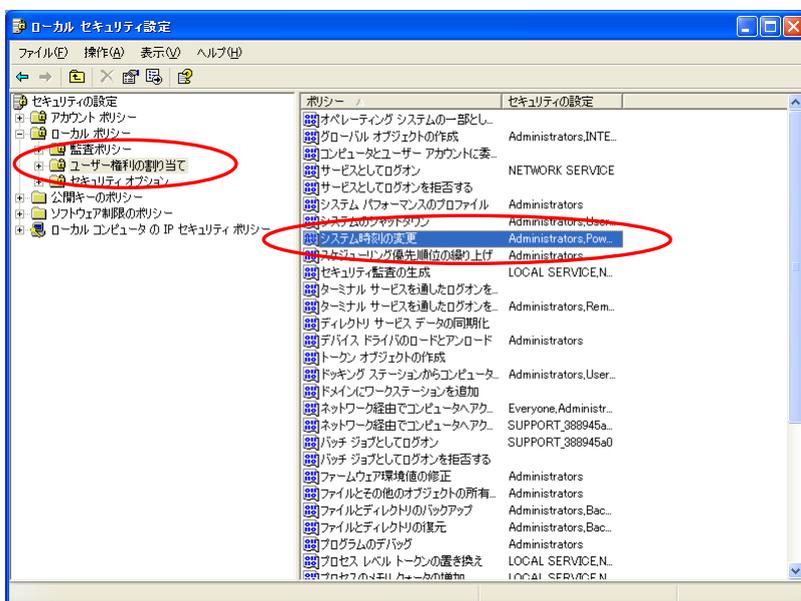


- 本項の設定は、Administrators 権限のログオンユーザーでログオンして実施してください。

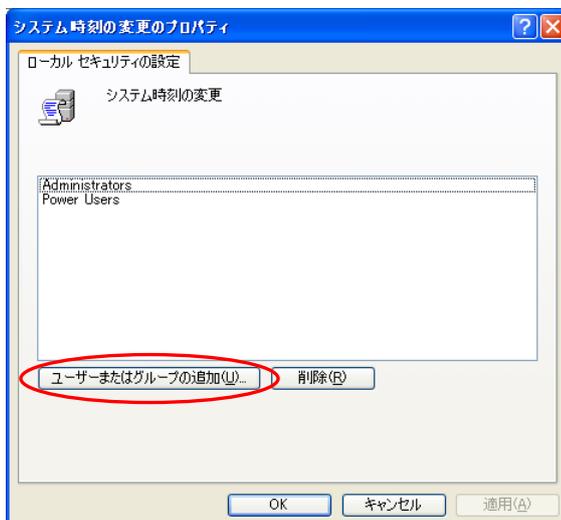
**STEP 1** 「スタート」→「コントロールパネル(C)」を選択し、「パフォーマンスとメンテナンス」→「管理ツール」の順にクリックします。

**STEP 2** 「ローカルセキュリティポリシー」をダブルクリックします。

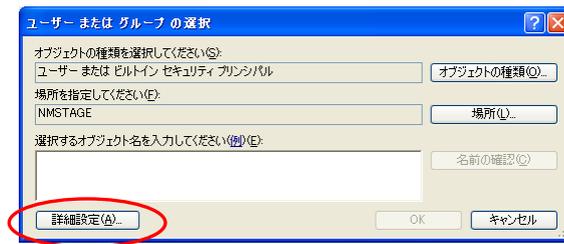
**STEP 3** 「ローカルポリシー」→「ユーザー権利の割り当て」を選択し、「システム時刻の変更」をダブルクリックします。



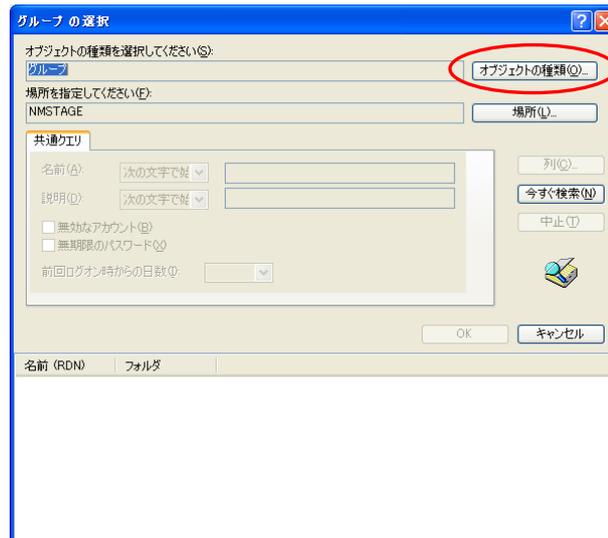
**STEP 4** 「ユーザーまたはグループの追加(U)」をクリックします。



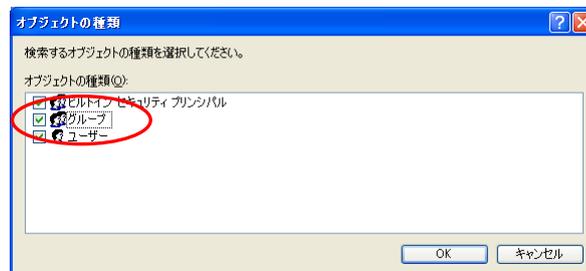
**STEP 5** 「詳細設定(A)」をクリックします。



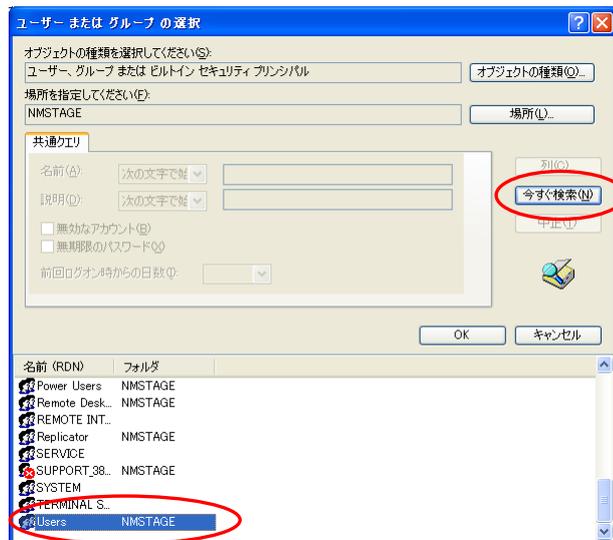
**STEP 6** 「オブジェクトの種類(O)」をクリックします。



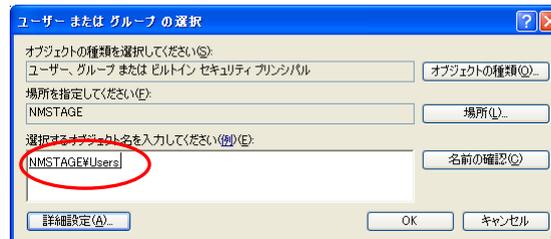
**STEP 7** 「グループ」にチェックを入れ、「OK」をクリックします。



**STEP 8** 「今すぐ検索(N)」をクリックして検索を行い、検索結果から「Users」を選択し、「OK」をクリックします。

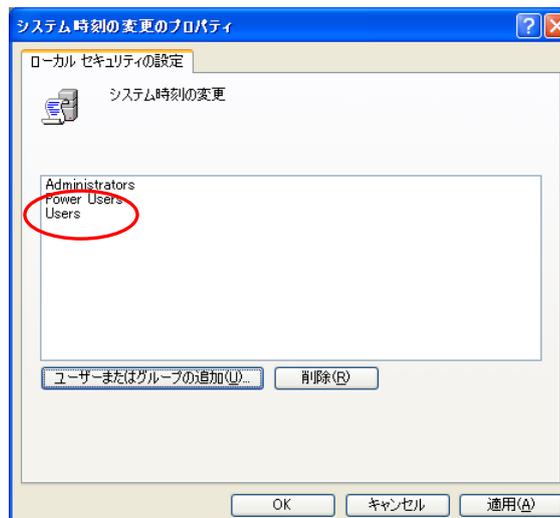


**STEP 9** 「Users」が表示されていることを確認し、「OK」をクリックします。



- 本設定を行うと、Users グループに属するすべてのログオンユーザーにシステム時刻変更の権限が与えられます。NM-OPE 起動用ログオンユーザー以外に権限を与えたくない場合は、上記 **STEP 7** でユーザーを選択し、**STEP 8** で NM-OPE 起動用ログオンユーザーを個別指定してください。

**STEP 10** 「Users」が適用先に追加されたのを確認し、「OK」をクリックします。



## 4.1.8 画面の設定

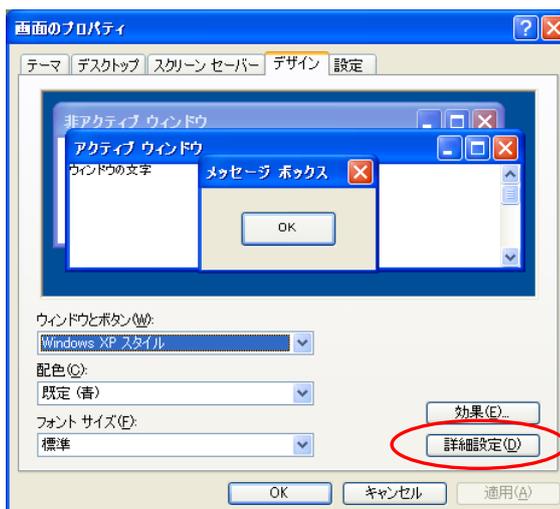
NM-OPE を起動する表示画面の設定を行います。



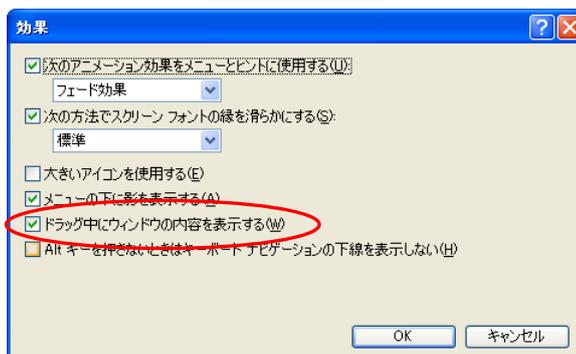
- 本項の設定は、NM-OPE を起動するログオンユーザーでログオンして実施してください。

**STEP 1** 「スタート」→「コントロール パネル(C)」を選択し、「デスクトップの表示とテーマ」→「画面」の順にクリックします。

**STEP 2** 「画面のプロパティ」の「デザイン」タブを表示します。  
「効果(E)」をクリックします。

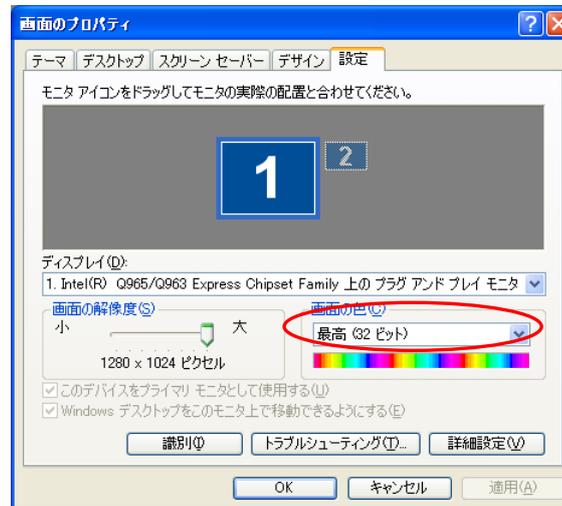


**STEP 3** 「ドラッグ中にウィンドウの内容を表示する(W)」をチェックしてください。設定が完了したら、「OK」をクリックします。



**STEP 4** 「スタート」→「コントロール パネル(C)」を選択し、「デスクトップの表示とテーマ」→「画面」の順にクリックします。

**STEP 5** 「設定」タブを表示します。「画面の色(C)」で「最高(32 ビット)」を選択してください。設定が完了したら、「OK」をクリックします。



## 4.2 Windows 7 Professional へのインストール

Windows 7 Professional インストール手順の詳細については、Windows 7 Professional 付属の関連ドキュメント、インストーラーのヘルプを参照してください。ここでは、要点のみ説明します。



- 必ず、新規インストールを行ってください。他の OS からのアップグレード等を行った場合、正常に動作しない場合があります。
- 以降の各種設定は、Administrators 権限を持つユーザーで Windows にログオンして行ってください。
- OS、および各種ソフトウェアの動作が本書の内容と異なる場合、本書記載内容に準じた設定を行ってください。またご不明な点は、当該ソフトウェアの購入先にお問い合わせください。不明点はソフトウェアのマニュアルをご確認ください。

### 4.2.1 プラグインソフトウェアのインストール

プラグインソフトウェアを必要に応じてインストールし、インストール完了後に正常動作をご確認ください。インストール方法は各ソフトウェアの取扱説明書等をご参照ください。

- Adobe Flash Player

Adobe Flash 形式(拡張子 .swf )で作成されたコンテンツのプレビューに必要です。尚、左記コンテンツをご利用にならない場合、インストールは不要です。

Adobe Systems Incorporated のホームページにアクセスし、ダウンロードします。

Adobe Flash Player のムービーを再生し、インストールの完了をご確認ください。

- PowerPoint Viewer

PowerPoint のスライドショー形式(拡張子 .pps)で作成されたコンテンツのフレームプレビューに必要です。尚、左記コンテンツをご利用にならない場合、インストールは不要です。

PowerPoint Viewer は Microsoft Corporation のホームページにアクセスし、ダウンロードします。

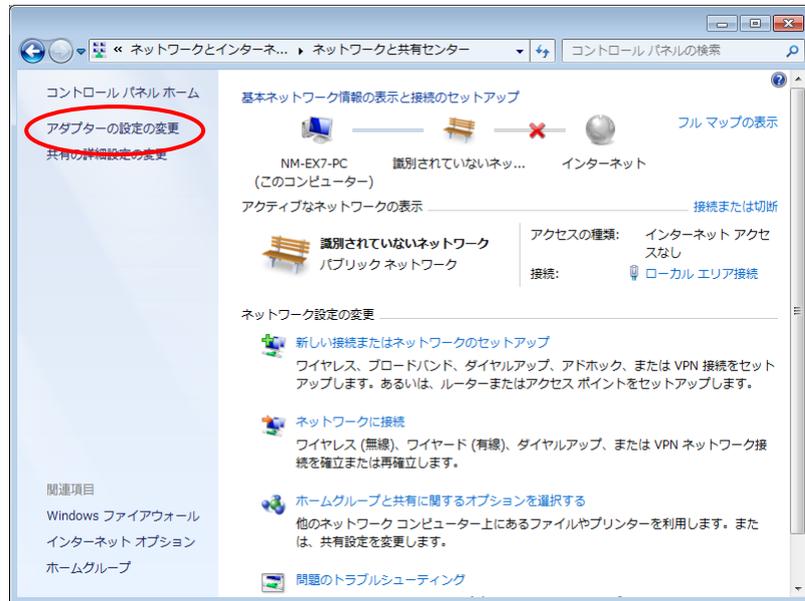
パワーポイントスライドショーを再生し、インストールの完了をご確認ください。

## 4.2.2 ネットワークの設定

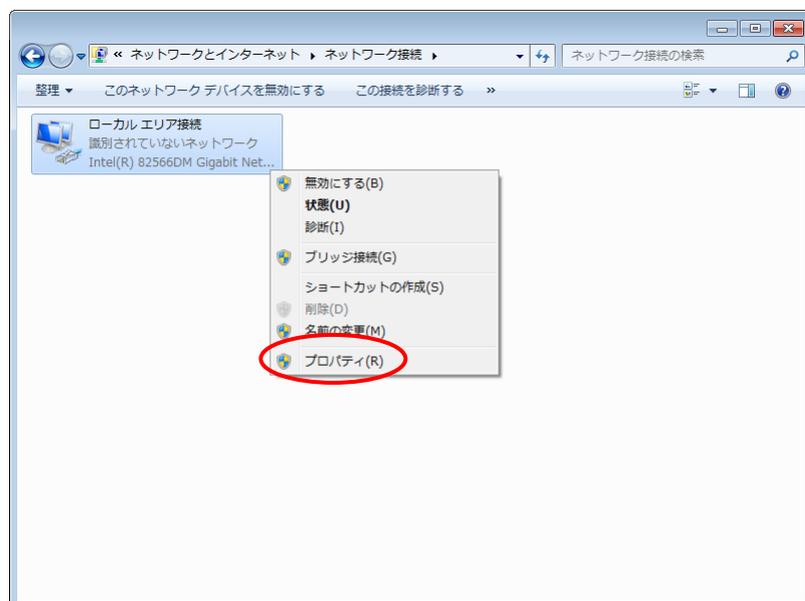
ネットワークの設定を、以下の手順で行ってください。

**STEP 1** 「スタート」→「コントロールパネル」を選択し、「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」の順にクリックします。

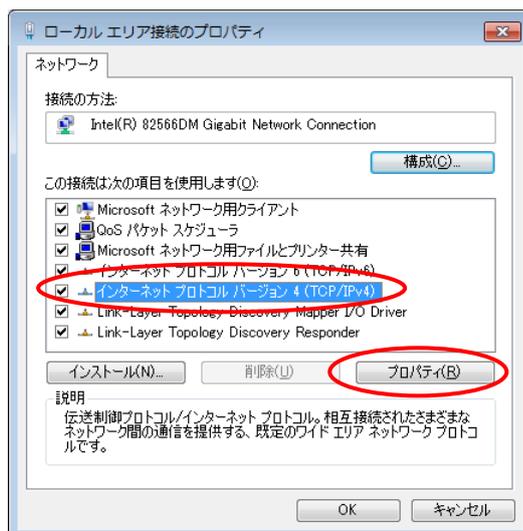
**STEP 2** 「アダプター設定の変更」をクリックします。



**STEP 3** 「ローカル エリア接続」にカーソルを合わせ、右クリックメニューから、「プロパティ(R)」を選択します。

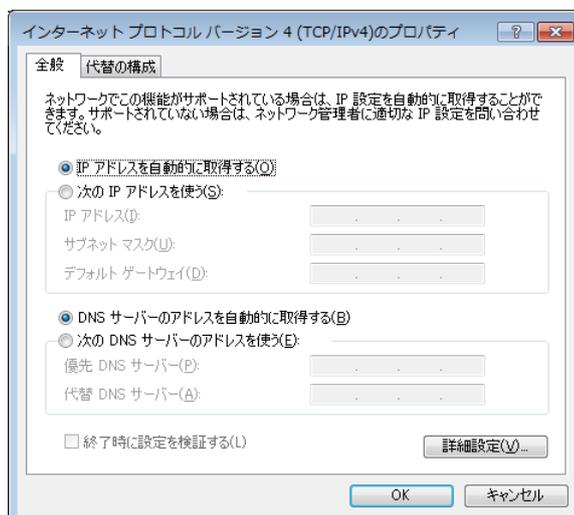


**STEP 5** 「インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ(R)」をクリックします。



**STEP 6** 「インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)のプロパティ」で以下の設定を行ってください。設定が完了したら、「OK」をクリックします。

- 固定 IP アドレスを付与する場合  
「次の IP アドレスを使う(S)」を選択し、以下の項目を入力します。  
IP アドレス(I) : コントローラー端末の IP アドレス  
サブネットマスク(U) : コントローラー端末が接続されている環境のサブネットマスク  
デフォルトゲートウェイ(D) : ルーターの IP アドレス
- DHCP サーバーで自動的に付与する場合  
DHCP サーバーに接続されている環境下では、以下の設定でも動作が可能です。  
「IP アドレスを自動的に取得する(O)」を選択します。



### 4.2.3 セキュリティポリシーの設定

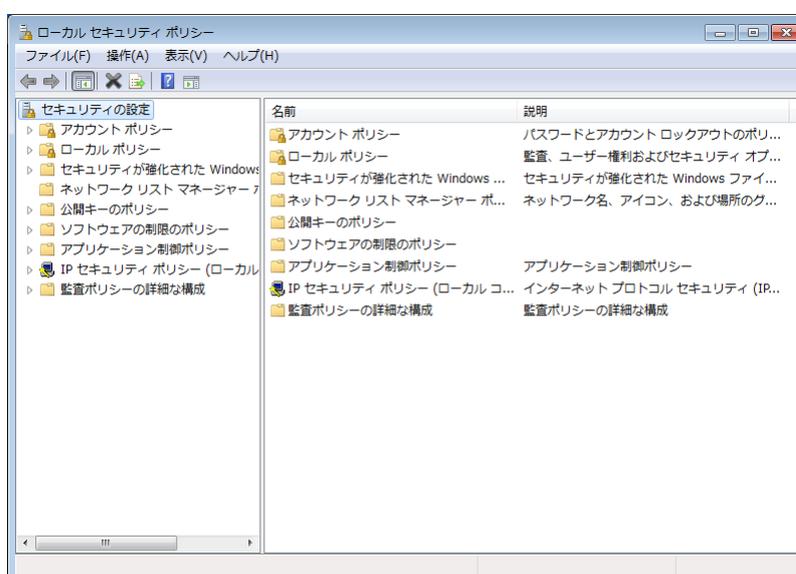
Windows 7 Professional のセキュリティ設定を、以下の手順で行ってください。

本システムの運用上、本項の設定は必須ではありませんが、セキュリティ向上のため以下の設定を推奨しております。ただし、NM-OPE 起動用ログオンユーザーの所属グループを「Users」に設定する場合、【4.2.7システム時刻変更のポリシー設定】の設定は必須です。

**STEP 1** 「スタート」→「コントロール パネル」を選択し、「システムとセキュリティ」→「管理ツール」の順にクリックします。

**STEP 2** 「ローカルセキュリティポリシー」をダブルクリックします。

**STEP 3** セキュリティポリシーの各項目を設定します。  
次ページ以降に示す表に沿って、セキュリティポリシーの設定を行ってください。  
表には設定値に変更のある項目のみ記載しております。



設定項目		NM-OPE	初期設定	
アカウントポリシー	パスワードのポリシー	パスワードの有効期間	0 日	42 日
	アカウントロックアウトのポリシー	アカウントのロックアウトのしきい値	5 回ログオンに失敗	0 回ログオンに失敗
		ロックアウト カウントのリセット	30 分後	該当なし
		ロックアウト期間	99 分以上	該当なし
ローカルポリシー	監視ポリシー	アカウント ログオンイベントの監査	失敗	監査しない
		システム イベントの監査	失敗	監査しない
		プロセス追跡の監査	失敗	監査しない
		ログオン イベントの監査	失敗	監査しない
	ユーザー権利の割り当て	サービスとしてログオン	—	NT SERVICE ¥ALL SERVICE
		システム時刻の変更	Administrators Power Users Users	Administrators LOCAL SERVICE
		セキュリティ監査の生成	Administrators	LOCAL SERVICE NETWORK SERVICE
		ドッキング ステーションからコンピュータを削除	Administrators Power Users Users	Administrators Users
		バッチジョブとしてログオン	—	Administrators, Backup Operators, Performance Log Users,
		プロセス レベル トークンの置き換え	—	LOCAL SERVICE NETWORK SERVICE
		ローカルでログオンを拒否する	—	Guest
	セキュリティオプション	シャットダウン: システムをシャットダウンするのにログオンを必要としない	有効	有効
		ネットワークセキュリティ: ログオン時間を経過した場合はユーザーを強制的にログオフさせる	有効	無効

#### 4.2.4 ウイルス対策機能設定

本ソフトウェアではウイルス対策ソフトと共存した場合の検証を行っていないため、ウイルス対策ソフトの導入によって予期しないエラーが生じる可能性があります。そのため、導入には事前検証が必要になります。その他の詳細設定は、設置先の環境に依存しますので、ネットワーク責任者にお問い合わせください。

#### 4.2.5 ファイアウォール機能設定

本システムの運用上、センター内のファイアウォールの設定は必須ではありません。セキュリティを向上させるため、ファイアウォールを設定する場合は、下表に示す通信を許可するよう設定してください。IP アドレス、ポート番号は、インストール時に設定した内容に合わせてください。設定方法は以下の通りです。

通信の種類	NM-SVR	I/O	NM-OPE
OPE 通信用ポート	10012	←	不定
PRD1 型通信用ポート	50005	←	不定
PRD2 型通信用ポート	50006	←	不定
リモートコマンドポート	30438	←	不定
ネットワークドライブ	139	←	不定

通信の種類	NTP サーバー	I/O	全端末
NTP サーバー用ポート	123	←	123

※ インストーラーで NTP サーバーによる時刻補正を設定した場合のみ必要です。

#### 4.2.6 ログオンユーザーの追加

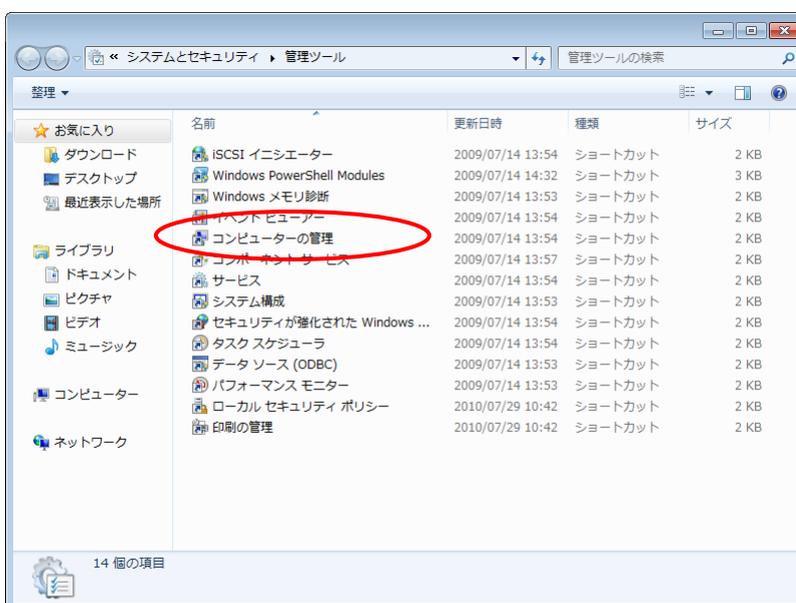
NM-OPE 起動用のログオンユーザーを追加する必要があります。以下の手順で行ってください。(※NM-SVR と NM-OPE を同一マシンにインストールする場合、本項目の設定は必要ありません。)

##### ■ 追加するユーザーと所属するグループ

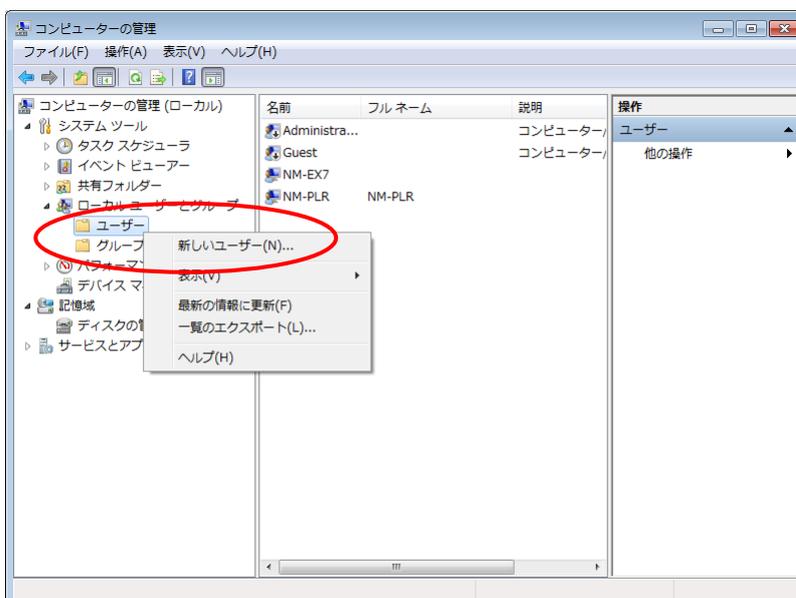
ユーザー	所属グループ	条件
NM-OPE 起動用ログオンユーザー (例: NM-OPE)	Users	NM-SVR・NM-FTP サーバーのリモートアクセス用ログインユーザーと同じ名前・パスワードに設定してください。

**STEP 1** 「スタート」→「コントロールパネル」を選択し、「システムとセキュリティ」→「管理ツール」の順にクリックします。

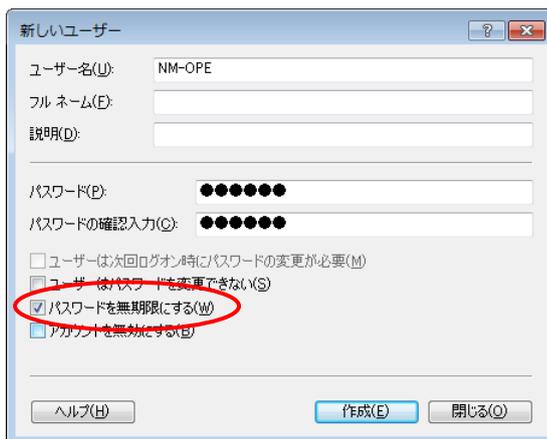
**STEP 2** 「コンピューターの管理」をダブルクリックします。



**STEP 3** 「システムツール」→「ローカル ユーザーとグループ」→「ユーザー」にカーソルを合わせ、右クリックメニューから、「新しいユーザー(N)」を選択します。

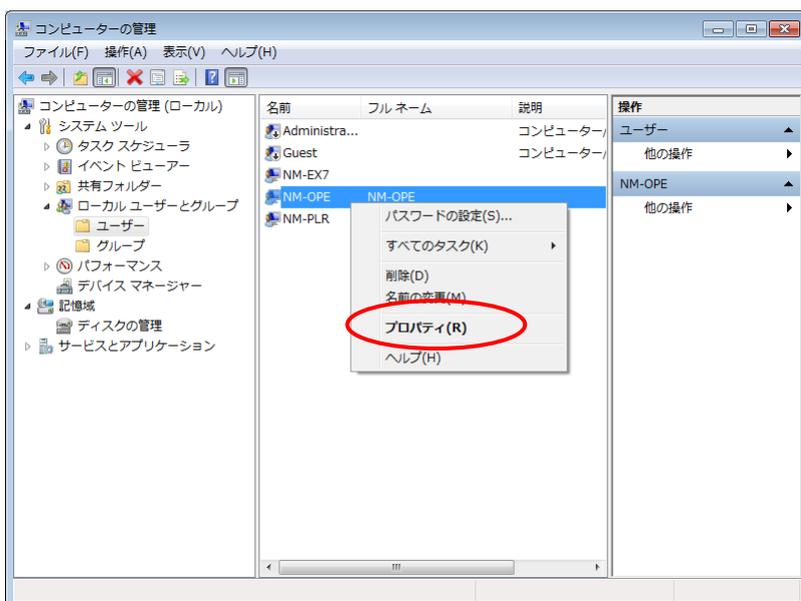


**STEP 4** 「ユーザー名(U)」、「パスワード(P)」を入力し、「パスワードを無期限にする(W)」のみチェックを入し、「作成(E)」をクリックしてください。作成が完了したら、「閉じる(O)」をクリックします。

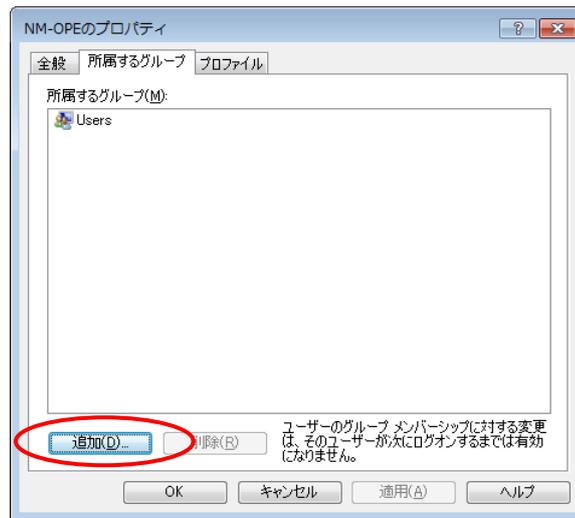


- 「フル ネーム(F)」、「説明(D)」は必要に応じて適宜入力します。ユーザー名、パスワードは「追加するユーザーと所属するグループ」の条件を考慮して設定し、関係者に通知してください。

**STEP 5** 新しく作られたユーザーにカーソルを合わせ、右クリックメニューから、「プロパティ(R)」を選択します。



**STEP 6** 「所属するグループ」タブを選択し、「追加するユーザーと所属するグループ」の表を参考にして、所属するグループを設定してください。設定が完了したら、「OK」をクリックします。



## 4.2.7 システム時刻変更のポリシー設定

NM-OPE 起動用ログオンユーザーは「Users」グループに所属しており、ログオンユーザー追加直後の状態ではシステム時刻変更の権限を持ちません。この状態では時刻補正プログラムが正しく動作せず、システムの運用に支障を生じる可能性がありますので、システム時刻変更のポリシーだけ他とは異なる設定にします。

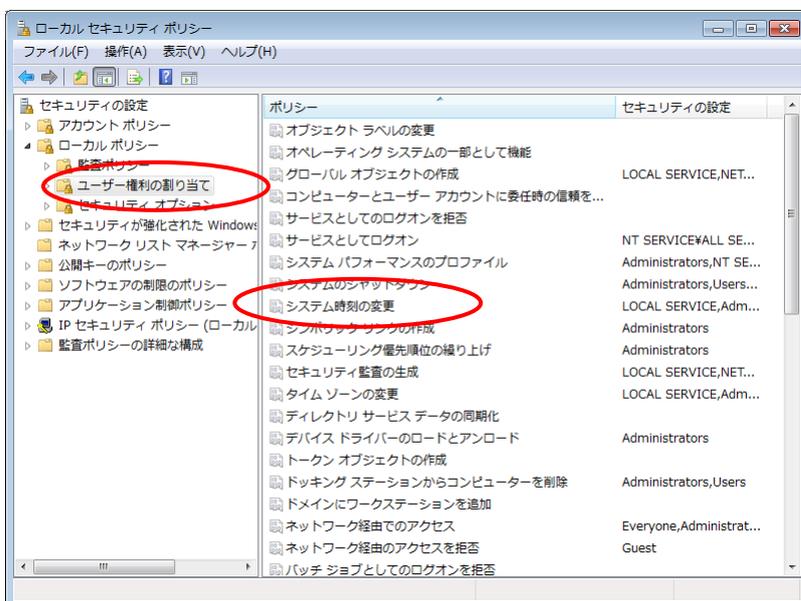


- 本項の設定は、Administrators 権限のログオンユーザーでログオンして実施してください。

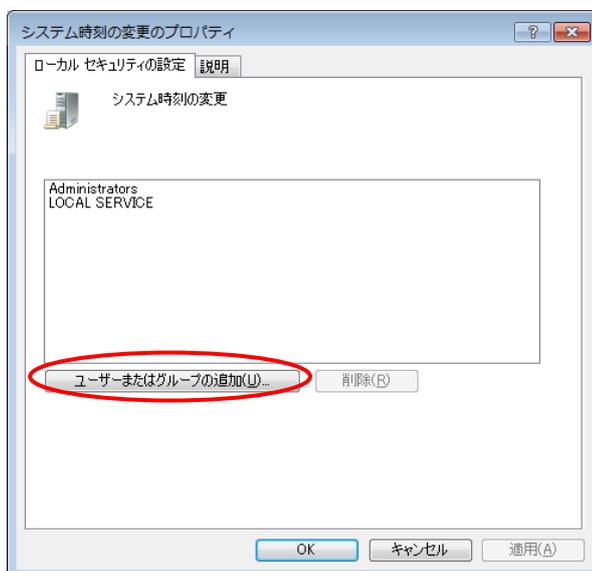
**STEP 1** 「スタート」→「コントロールパネル」を選択し、「システムとセキュリティ」→「管理ツール」の順にクリックします。

**STEP 2** 「ローカルセキュリティポリシー」をダブルクリックします。

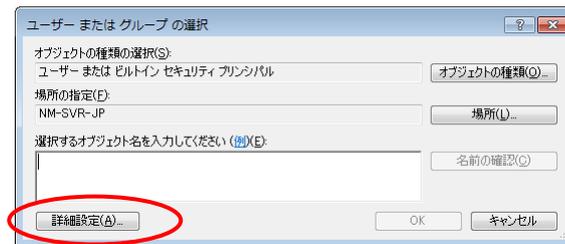
**STEP 3** 「ローカルポリシー」→「ユーザー権利の割り当て」を選択し、「システム時刻の変更」をダブルクリックします。



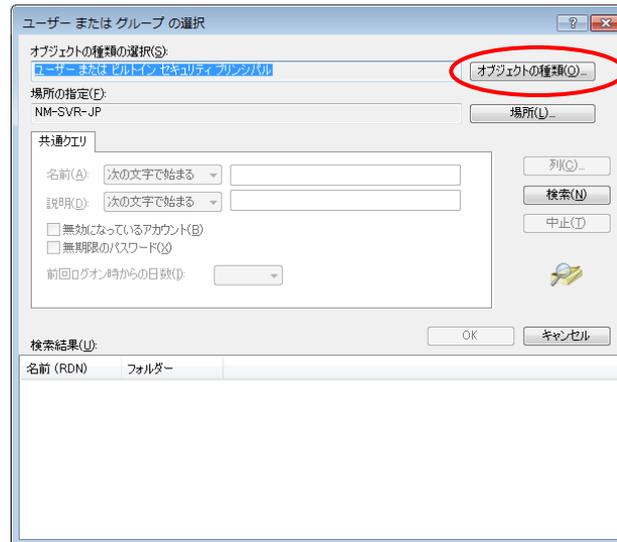
**STEP 4** 「ユーザーまたはグループの追加(U)」をクリックします。



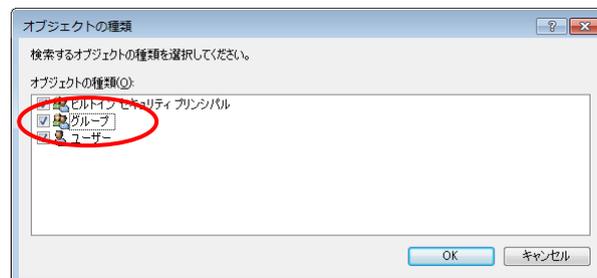
**STEP 5** 「詳細設定(A)」をクリックします。



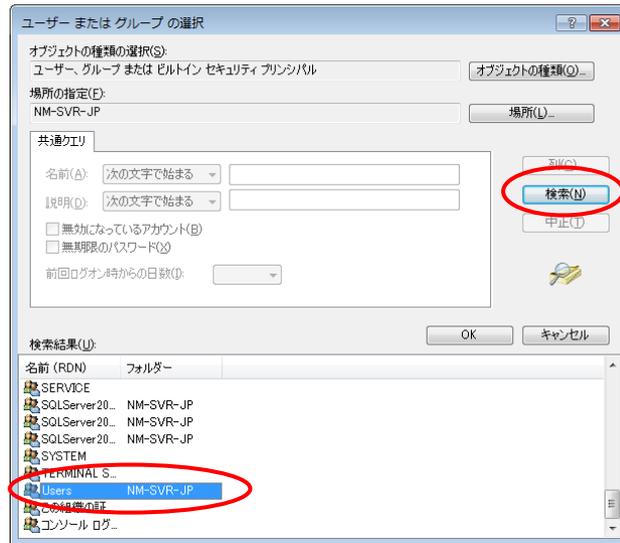
**STEP 6** 「オブジェクトの種類(O)」をクリックします。



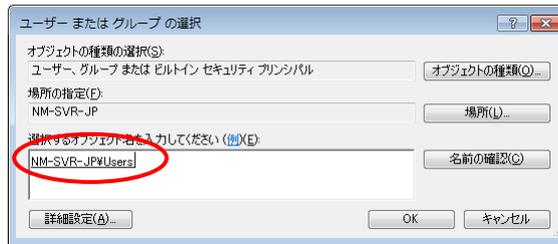
**STEP 7** 「グループ」にチェックし、「OK」をクリックします。



**STEP 8** 「検索(N)」をクリックして検索を行い、検索結果から「Users」を選択し、「OK」をクリックします。

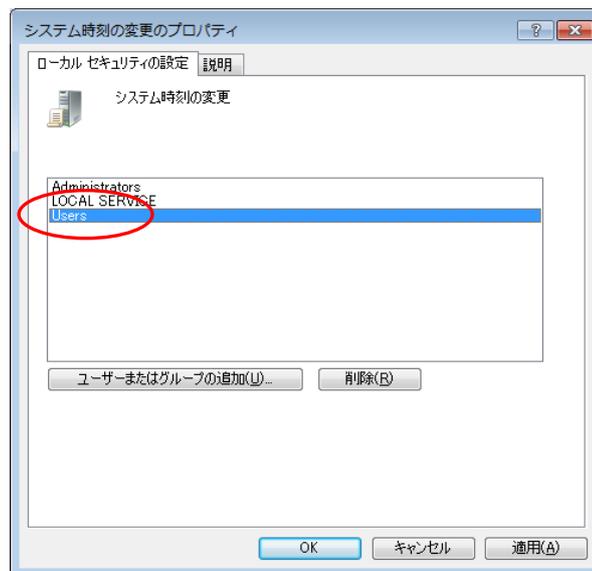


**STEP 9** 「Users」が表示されていることを確認し、「OK」をクリックします。



- 本設定を行うと、Users グループに属するすべてのログオンユーザーにシステム時刻変更の権限が与えられます。NM-OPE 起動用ログオンユーザー以外に権限を与えたくない場合は、上記 **STEP 7** でユーザーを選択し、**STEP 8** で NM-OPE 起動用ログオンユーザーを個別指定してください。

**STEP 10** 「Users」が適用先に追加されたのを確認し、「OK」をクリックします。



## 4.2.8 画面の設定

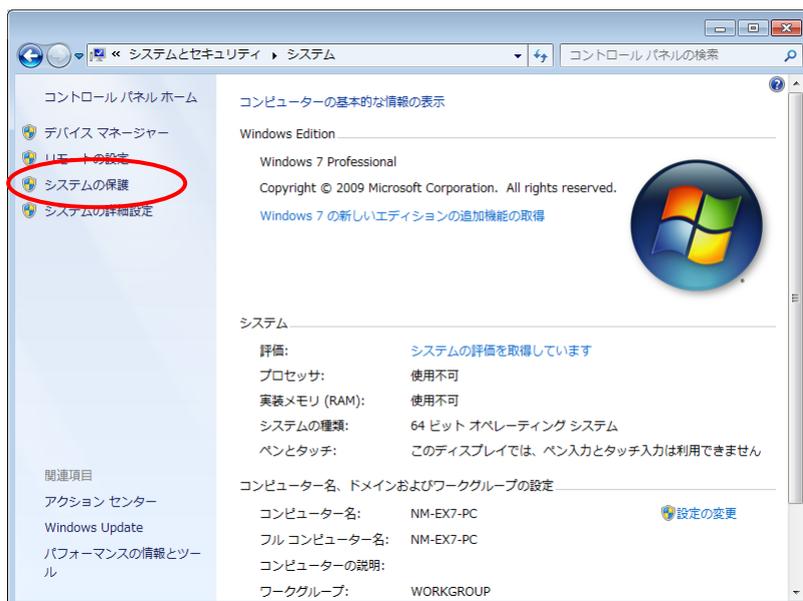
NM-OPE を起動する表示画面の設定を行います。



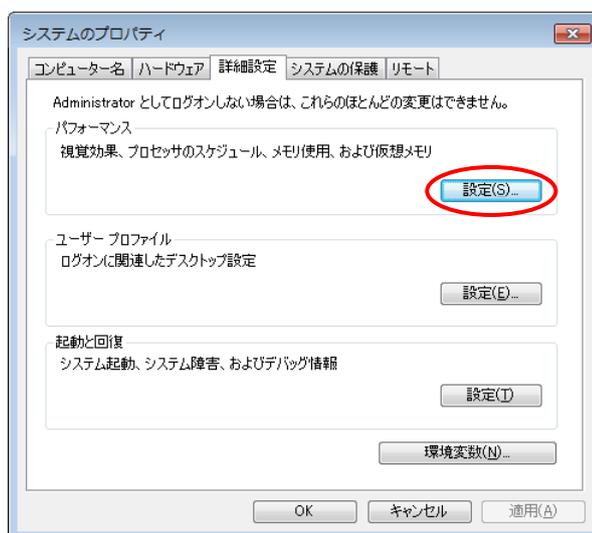
- 本項の設定は、NM-OPE を起動するログオンユーザーでログオンして実施してください。

**STEP 1** 「スタート」→「コントロールパネル」を選択し、「システムとセキュリティ」→「システム」の順にクリックします。

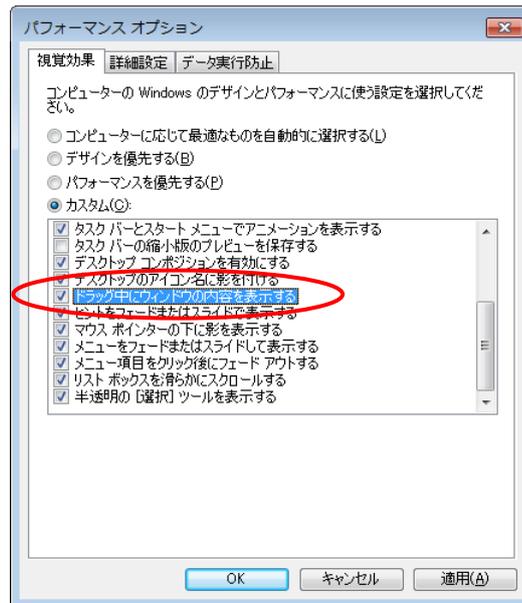
**STEP 2** 「システムの詳細設定」をクリックします。



**STEP 3** 「詳細設定」タブを表示します。「パフォーマンス」エリアの「設定(S)...」をクリックします。

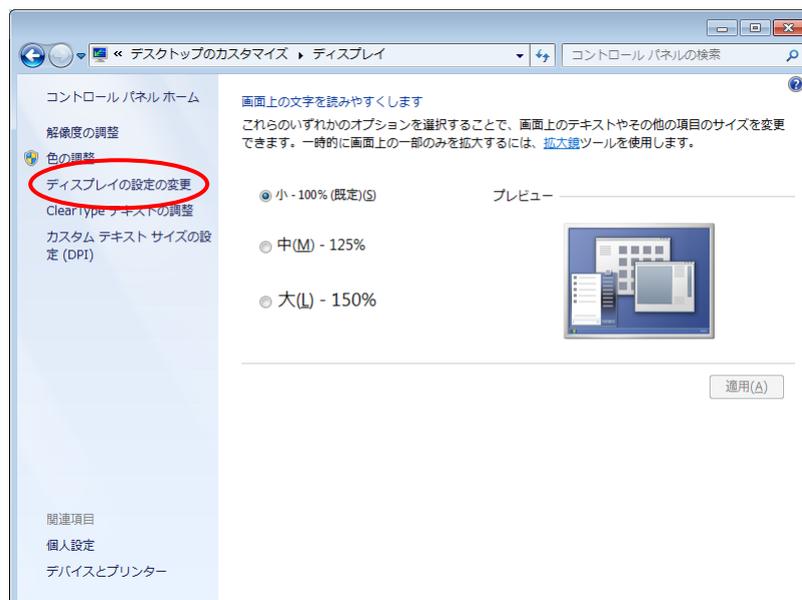


**STEP 4** 「ドラッグ中にウィンドウの内容を表示する(W)」をチェックし、OK をクリックします。

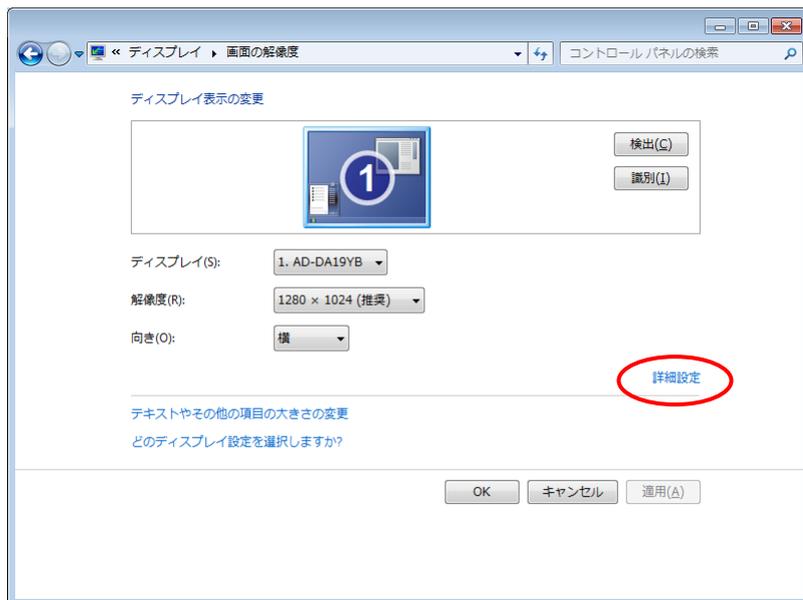


**STEP 5** 「スタート」→「コントロールパネル」を選択し、「デスクトップのカスタマイズ」→「ディスプレイ」の順にクリックします。

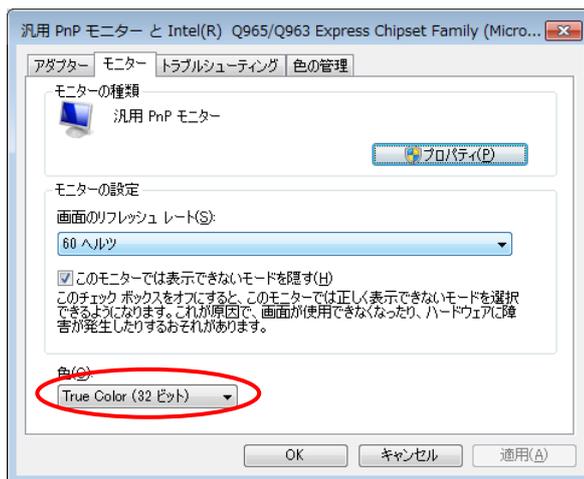
**STEP 6** 「ディスプレイの設定の変更」をクリックします。



**STEP 7** 「詳細設定」をクリックします。



**STEP 8** 「モニター」タブを表示します。「色(C)」で「True Color(32 ビット)」を選択してください。設定が完了したら、「OK」をクリックします。



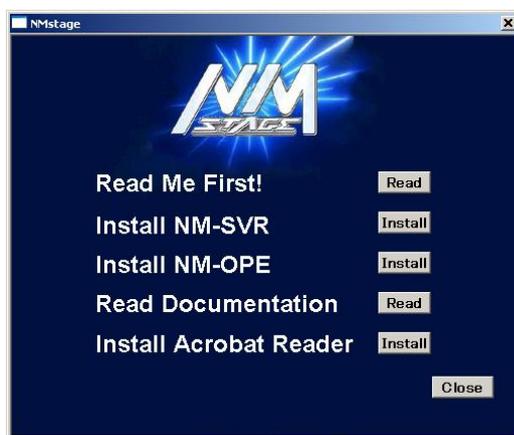
## 4.3 NM-OPE のインストール

NM-OPE のインストールを、以下の手順で行います。



- Administrators 権限のログオンユーザーでログオンし、NM-OPE のインストールを行ってください。インストール後は、NM-OPE 起動用ログオンユーザーでログオンし NM-OPE を起動してください。
- インストールには.NET Framework が必要です。.NET Framework がインストールされていない端末に NM-OPE をインストールする場合、インストール途中に.NET Framework のインストーラーが起動しますので、画面の指示に従ってインストール処理を実行してください。
- 初回以降の新規インストール時に、NM-OPE フォルダ(以前の環境)が残っている場合は、NM-OPE フォルダを削除し、インストールを実行してください。

**STEP 1** NM-OPE の CD-ROM を CD ドライブに挿入すると以下の画面が自動的に表示されます。この画面上の Install NM-OPE の「Install」ボタンをクリックしてください。



**STEP 2** インストール準備が終了すると、以下の画面が表示されます。実行中のプログラム等があれば終了させてから「次へ」をクリックしてください。



**STEP 3** ソフトウェア使用許諾契約書の内容をご確認の上、「はい」をクリックしてください。



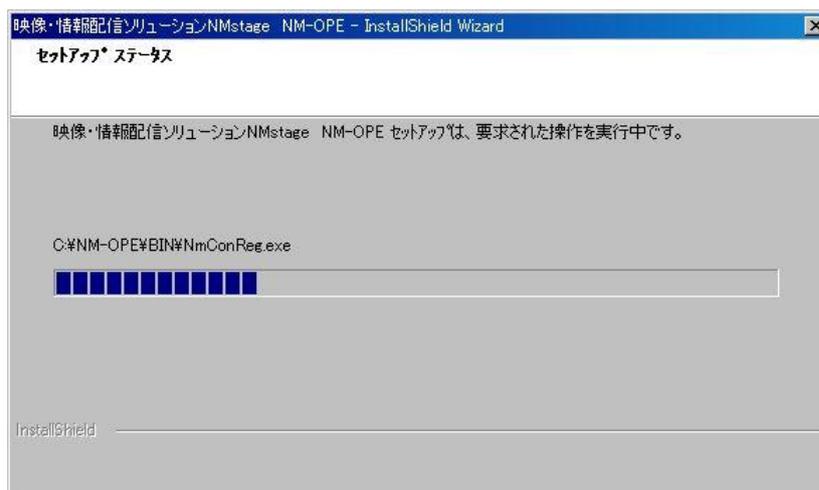
**STEP 4** インストール先のフォルダを選択します。インストール先を確認し、「次へ>」をクリックしてください。



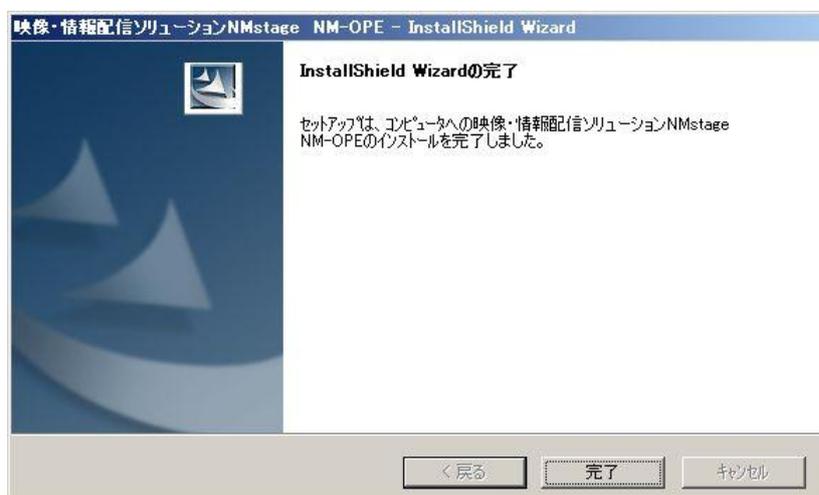
**STEP 5** インストールを開始します。「インストール」をクリックしてください。



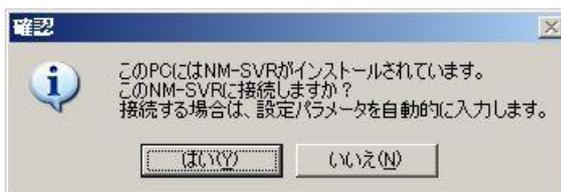
**STEP 6** 以下の画面が表示されインストールが実行されます。その間、何も操作を行わないでください。次画面の表示までは数分間かかる場合があります。



**STEP 7** 以上でインストール完了です。「完了」をクリックしてください。設定変更ツールが起動されますので、引き続き、環境設定を行ってください。

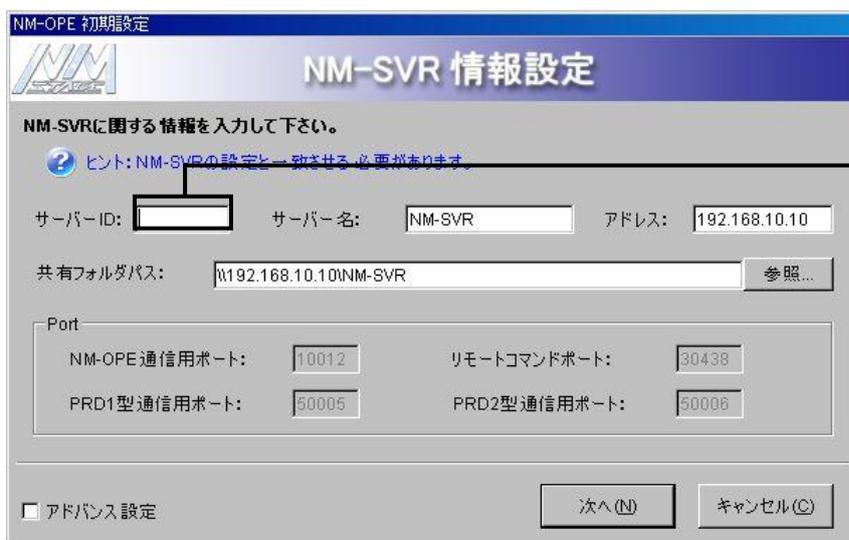


**STEP 8** NM-SVR の情報設定を行います。以下を参考に情報を入力し、「次へ(N)」をクリックしてください。既に NM-SVR がインストールされている場合、以下のメッセージが表示されます。「はい(Y)」をクリックすると NM-SVR の情報が自動で設定されます。「サーバー名」は任意で変更が可能です。



#### NM-SVR 情報

管理サーバーの設定と一致させる必要があります。必要があれば「アドバンス設定」をチェックすることですべての値を変更することが可能ですが、通常は初期値で構いません。



Ex. SVR10001

入力項目	解説
サーバーID	NM-SVR のユーザコードと端末 ID を続けて入力
サーバー名	任意
アドレス	IP アドレスまたはホスト名 ※1
共有フォルダパス	¥¥<ホスト名または IP アドレス>¥¥<共有フォルダ名>
NM-OPE 通信用ポート	管理サーバーと操作端末間の通信ポート番号
リモートコマンドポート	同上
PRD1 型通信用ポート	同上
PRD2 型通信用ポート	同上

※1 管理サーバーと同一機器にインストールする場合は「Localhost」が自動で設定されます。

**STEP 9** 時刻補正時に参照する NTP サーバーのアドレス、またはホスト名を入力し、「次へ(N)」をクリックしてください。NTP サーバーがない場合は初期値を適用してください。

NM-OPE 初期設定

### NTP サーバー情報設定

NTP(時刻補正)サーバーに関する情報を入力して下さい。

ヒント: NTPサーバーがない場合は初期設定の値を適用して下さい。

アドレス1:

戻る(B) 次へ(N) キャンセル(C)

**STEP 10** 「保存(S)」をクリックしてください。保存の確認メッセージが表示されますので、「OK」をクリックしてください。  
以上でインストールは完了です。

NM-OPE 初期設定

### 設定の保存

【保存】ボタンをクリックして下さい。

戻る(B) 保存(S) キャンセル(C)

# 5 各機器の操作方法

## 5.1 NM-SVR の操作方法

NM-SVR の操作方法について説明します。

### 5.1.1 起動方法

電源を投入し、NM-SVR 起動用ユーザーでログオンします。自動的に NM-SVR が起動され、以下のようにタスクバーにアイコンが表示されます。通常の場合、システム運用中に NM-SVR を直接操作する必要はありません。



### 5.1.2 終了方法

#### i) アイコンから終了

タスクバー上の JOBCONTROL アイコン  にマウスカーソルを合わせ、右クリックすると、以下のメニューが表示されます。メニューを選択してください。

- Allend(sysend)  
NM-SVR のプロセス群をすべて終了します。
- Shutdown  
管理サーバーをシャットダウンします。
- Reboot  
管理サーバーを再起動します。



#### ii) キーボード操作による終了

**Ctrl** + **Alt** + **E**、**N**、**D** (**Ctrl** と **Alt** を押しながら、**END**) と押すと、NM-SVR のプロセス群がすべて終了します。

### 5.1.3 設定変更

お客様の環境に合わせて、NM-SVR で使用するユーザ情報設定、アカウント設定、祝日設定、情報分析時刻を変更することが可能です。

**STEP 1** 「スタート」→「すべてのプログラム(P)」→「NMstage」→「NM-SVR 設定変更」を選択します。



- NM-SVR 設定の変更は、必ず NM-SVR を終了した状態で行ってください。正常に動作しなくなる可能性があります。NM-SVR の終了方法については、【5.1.2 終了方法】を参考にしてください。

- STEP 2** ユーザコードを変更する場合は、「ユーザ情報設定」タブを選択します。追加する場合は、「追加(A)」をクリックし、ユーザコードを半角英数字 4 文字(半角英字は大文字)と、ユーザ名(任意)を入力してください。

ユーザコード	ユーザ名	サーバー専用
SV01	NMUser	<input checked="" type="checkbox"/>
NMV3	NMV3	<input type="checkbox"/>



- ユーザコードを管理サーバー専用にする場合は「サーバー専用」にチェックしてください。
- 必要があれば、複数のユーザを登録し、コンテンツやスケジュールなどすべての情報をユーザ毎に別管理することが可能です。ASP サービスを行うような場合に使用しますが、通常運用ではユーザを複数登録する必要はありません。

- STEP 3** 削除する場合は、削除したいユーザコードの行を選択し、「削除(D)」をクリックしてください。通常は、確認ダイアログで、「はい(Y)」をクリックしてください。



- 登録済みのユーザコードを編集した場合、ユーザコードの変更ではなく、既存のユーザが削除され、編集したユーザが新規に作成されます。ただし、上記のダイアログで「いいえ」を選択すると、管理サーバー上のデータは削除されません。
- 追加登録されたユーザコードを変更するとそのユーザに登録されているコンテンツやスケジュール情報が使用できなくなりますので、ユーザコードを変更する場合は、十分にご注意ください。

**STEP 3** アカウントを編集する場合は、「アカウント設定」タブを選択します。追加する場合は、「追加(A)」をクリックし、ログイン名、パスワードを追加します。権限はプルダウンから選択してください。削除する場合は、該当データを選択し、「削除(D)」をクリックします。



- アカウント情報はお客様の運用に合わせて、システム管理者が安全性を確保した上で管理してください。



- アカウントとは、操作端末でログインする名前です。
- 操作端末のアカウント毎に権限を設定することが可能です。以下の画面を操作することが可能です。  
 管理者：すべての機能画面  
 編集者：コンテンツ、プレイリスト、スケジュール、カレンダー、配信管理、ログ参照画面  
 監視者：端末監視画面のみ

NM-SVR 設定変更ツール

### アカウント情報設定

ユーザ情報設定 | **アカウント設定** | 祝日設定 | オプション

アカウント名とパスワードを入力して下さい。

ヒント: アカウントとは操作端末でログインする名前です。

アカウント名	パスワード	権限
nmstage	*****	管理者

追加(A) 削除(D)

OK キャンセル 適用

**STEP 4** 祝日を編集する場合は、「祝日設定」タブを選択します。追加する場合は、「追加(A)」をクリックし、月日を入力します。毎年繰り返す祝日とする場合は、「毎年」にチェックしてください。削除する場合は、該当データを選択し、「削除(D)」をクリックします。「前年度複写(O)」をクリックすると、前年度の祝日が複写されます。設定が完了したら、「適用」をクリックしてください。

NM-SVR 設定変更ツール

### 祝日設定

ユーザ情報設定 | アカウント設定 | **祝日設定** | オプション

祝日のカレンダーを設定して下さい。

ヒント: 祝日となる日を登録して下さい。

対象年: 2007

祝日(M/D)	毎年
1/1	<input checked="" type="checkbox"/>
1/8	<input type="checkbox"/>
2/12	<input type="checkbox"/>
3/21	<input type="checkbox"/>
4/30	<input type="checkbox"/>
5/3	<input type="checkbox"/>
5/4	<input type="checkbox"/>
5/5	<input type="checkbox"/>
7/16	<input type="checkbox"/>

追加(A) 削除(D) 前年度複写(O)

OK キャンセル 適用

**STEP 5** 情報分析時刻を編集する場合は、「オプション設定」タブを選択します。24 時間表記で半角数字を入力、または上下ボタンで設定します。設定が完了したら、「適用」をクリックしてください。



- 情報分析時刻とは、1 日 1 回、自動的に情報分析を実行する時刻のことです。登録されている端末数により、管理サーバーに負荷がかかりますので、運用に支障のない時刻を設定してください。

**STEP 6** 設定が完了したら、「OK」をクリックしてください。

## 5.2 NM-OPE の操作方法

NM-OPE の詳細な操作方法については、CD-ROM 内の「NM-SVR 取扱説明書 操作編」をご参照ください。ここでは端末の新規登録、接続を確認する方法のみ記載します。

### 5.2.1 起動方法

**STEP 1** 電源投入を行い、NM-OPE 起動用ログオンユーザーでログインを行い、以下のアイコンをダブルクリックします。



**STEP 2** NM-OPE のログイン画面が表示されます。必要項目を選択、または入力します。

- 管理サーバー : 接続する管理サーバーを選択
- ユーザコード : ユーザ(顧客)を選択。選択したユーザ配下の端末のみ操作可能
- ログイン名 : 管理サーバーのインストール時に設定した NM-OPE ログイン名
- パスワード : 管理サーバーのインストール時に設定した NM-OPE ログインパスワード

### 5.2.2 コントローラー端末の接続確認方法

自動コンフィグレーション機能を使用する場合は、**STEP 5** で該当暫定端末のアイコンをご確認ください。手動の場合は、以下の方法で、端末を新規に登録します。詳細は「NM-SVR 取扱説明書 操作編 4.14 端末登録」をご参照ください。

**STEP 1** ランチャーボタンの「端末登録」をクリックします。

**STEP 2** 基本情報入力(入力必須)を選択し、種別で端末の種類を選択します。  
コントローラー端末 : NM-PLR

**STEP 3** 「新規登録」アイコンをクリックし、以下の情報を入力します。また、詳細設定を開き、「自動コンフィグレーションを使用しない」にチェックします。  
端末コード : インストール時に設定した端末コード  
端末名 : 操作端末上で各端末を表示させるときの表示名称(任意)  
端末グループ : 操作端末上で各端末を表示させるときのシステム運用上のグループ(任意)



- 端末 ID は端末のインストール時の設定と一致させる必要があります。
- 稼動監視タイムアウトは、端末の状態送信間隔(初期値 60 秒)よりも長く設定する必要があります。システム規模により、状態送信間隔を変更する場合がありますので、設置先の環境に合わせて設定してください。

**STEP 4** 「保存」アイコンをクリックします。

**STEP 5** ランチャーボタンの「端末監視」をクリックします。登録した端末名の端末アイコン、または暫定端末の端末アイコンが表示されます。アイコンの背景色が、運用中を示す緑色になったら接続完了です。



- ネットワークの状況などにより、表示色が緑色に変化するまでに数分かかる場合があります。

### 5.2.3 終了方法

**STEP 1** ランチャーのタイトルボタン(右上)の、「終了」ボタンをクリックすると、終了確認画面が表示されます。



**STEP 2** 終了確認画面で「はい」をクリックすると、終了します。

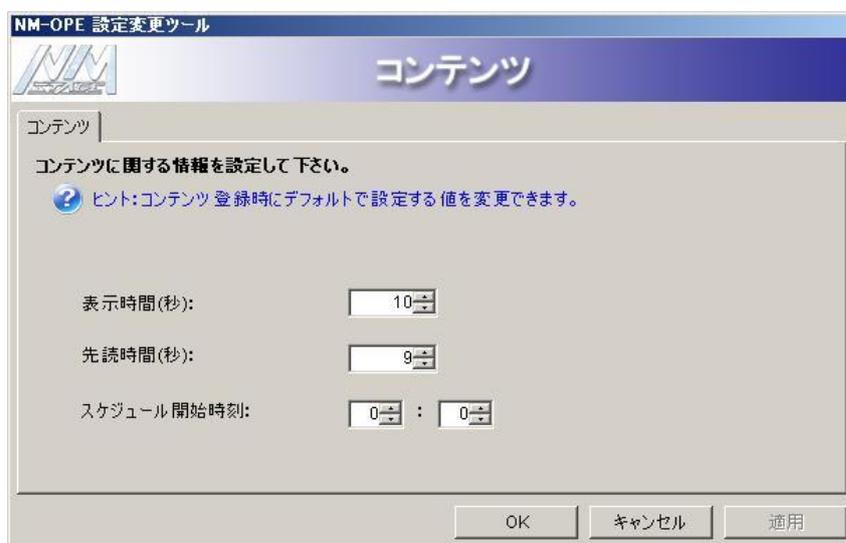
## 5.2.4 設定変更

お客様の環境に合わせて、NM-OPE で使用するコンテンツ登録時のデフォルト設定やスケジュール編集時のデフォルト値を変更することが可能です。

**STEP 1** 「スタート」→「すべてのプログラム(P)」→「NMstage」→「NM-OPE 設定変更」を選択します。



**STEP 2** コンテンツ機能画面の登録時に表示される「表示時間(秒)」、「先読時間(秒)」、スケジュール機能画面の「スケジュール開始時刻」の初期値を変更することが可能です。



表示時間	:	コンテンツ登録時のデフォルト表示時間を変更します。最小表示時間は、10 秒です。本設定での変更後もコンテンツ登録時に都度変更することは可能です。
先読時間	:	コンテンツ登録時の先読時間のデフォルト値を変更します。0～9 秒までの設定が可能です。先読時間をなしにする場合、0 を設定してください。
スケジュール開始時刻	:	スケジュール開始時刻は、スケジュール編集時の先頭プレイリストを貼り込んだ際に表示する開始時刻を意味しており、デフォルトでは 0:00 に設定されています。運用環境に応じて変更してください。



- 本ツールで先読時間を変更しても、動画コンテンツの場合は自動的に3秒が設定されません。

**STEP 3** 設定が完了したら、「OK」をクリックしてください。

## 6 トラブルシューティング

本システムで、運用中に管理サーバーと操作端末でトラブルになりやすい現象とその対処方法です。ハードウェア異常・ハードウェア設定に関しては、ハードウェア購入先もしくはご契約されているハードウェア保守会社にお問い合わせの上、修理・交換を行ってください。ソフトウェア異常・設定に関しては、まず以下の対策を行ってください。それでも解決しない場合は購入先にお問い合わせください。

No.	現象	原因	対策
1	NM-OPE でログインできない	ログイン ID/パスワードの入力を間違えている	正しいログイン ID/パスワードを入力してください。 参考: NM-OPE アカウント設定は NM-SVR のインストール時に設定します。正しいログイン ID/パスワードが不明な場合はシステム管理者にお問い合わせください。
2		管理サーバーが正常に起動されていない	管理サーバーを再起動、または NM-SVR を起動してください。
3		管理サーバーと正しく接続されていない	ネットワーク設定を確認してください。
4	端末の登録ができない	管理サーバーのライセンスが不正、または接続可能な台数が既に登録されている	正規のライセンスを入手してください。接続台数が最大の場合は不要な端末を撤去してください。またはライセンスの追加購入が必要です。
5	・動画の再生時間が取得されない ・動画のプレビューが再生されない	動画コンテンツを再生できるソフトウェアがインストールされていない	操作端末にデコーダソフトをインストールしてください。
6	コンテンツの登録ができない	管理サーバーのフォルダ共有が正しく設定されていない	管理サーバーでフォルダ共有設定を行う必要があります。詳細は本文の【4.9 フォルダ共有設定】をご参照ください。
7	スクリーンモニタで、「取得中…」が表示されたままの状態になり実行できない	管理サーバーのフォルダ共有が正しく設定されていない	管理サーバーでフォルダ共有設定を行う必要があります。詳細は本文の【4.9 フォルダ共有設定】をご参照ください。
8	インストール時に「既に NM-SVR(または NM-OPE)がインストールされています。新規にインストールするためには、アンインストール作業が必要です。」と表示され、インストールできない	NM-SVR、または NM-OPE がインストール済み	該当ソフトウェアが既にインストールされている場合はアンインストールしてください。

# 7 付録

NM-SVR、NM-OPE以外の各種ソフトウェアのインストール方法について記述します。本書と合わせ、当該ソフトウェアの取扱説明書やオンラインマニュアル・リリースノート等も必ずお読みください。

本章の内容は、弊社の手元にあるソフトウェアを参考にして作成したものであり、予告無しに変更される場合があります。

ソフトウェアの動作が本書の内容と異なる場合、本書記載内容に準じた設定を行ってください。またご不明な点は、当該ソフトウェアの購入先にお問い合わせください。

## 7.1 Adobe Acrobat Reader インストール

Adobe Acrobat Reader はドキュメントの閲覧に必要です。インストールは、以下の手順で行います。

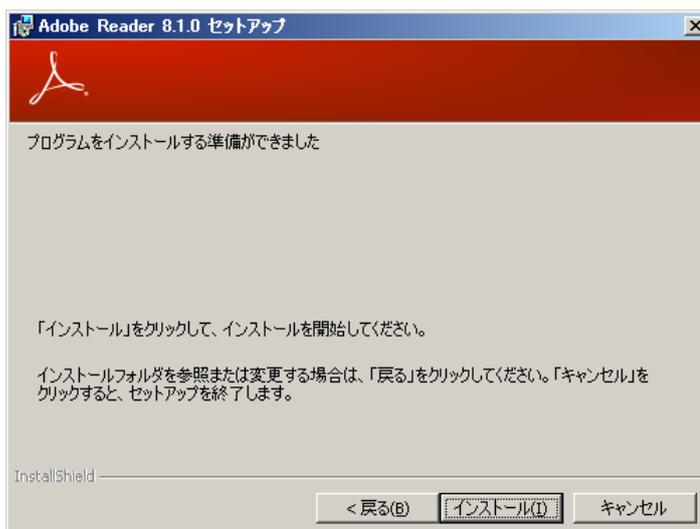
**STEP 1** NM-SVR の CD-ROM を CD ドライブに挿入すると以下の画面が自動的に表示されます。Install Acrobat Reader の「Install」ボタンをクリックしてください。



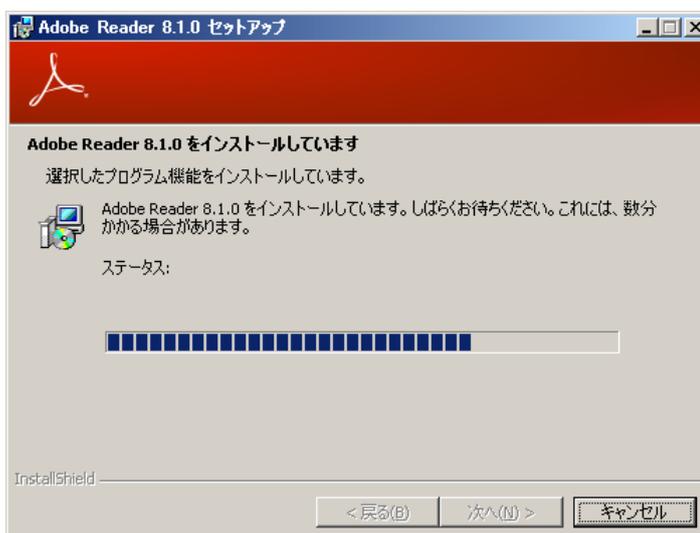
**STEP 2** セットアップ画面が表示されます。インストール先を確認し、「次へ(N)>」をクリックします。



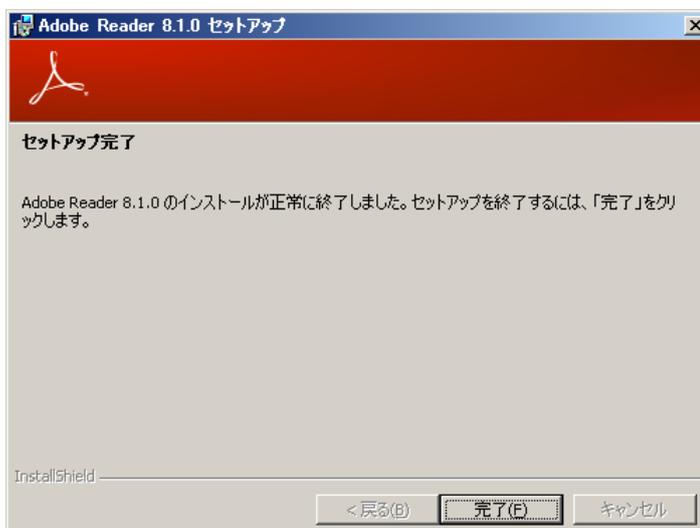
**STEP 3** インストールを開始します。「インストール(I)」をクリックします。



**STEP 4** 以下の画面が表示されインストールが実行されます。何も操作を行わないでください。次画面の表示までは数分間かかる場合があります。



**STEP 5** 以上で Adobe Acrobat Reader のインストールが完了しました。「完了(F)」をクリックします。



■当社製品のご購入・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

フリー  
ダイヤル  **0120-878-410**

受付時間：9時～17時30分(土曜・日曜・祝祭日は受付のみ)

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

**【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】**

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。

また、折り返し電話をさせていただくためのために発信番号を通知いただいております。

なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。

個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

## パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2012